

ACCESS MAP

交通のご案内

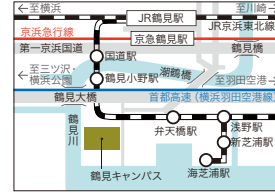
■ 舞岡キャンパス(木原生物学研究所)



- 国際総合科学部
生命環境コース
- 大学院
生命ナノシステム科学研究科
[生命環境システム科学専攻]
- 木原生物学研究所

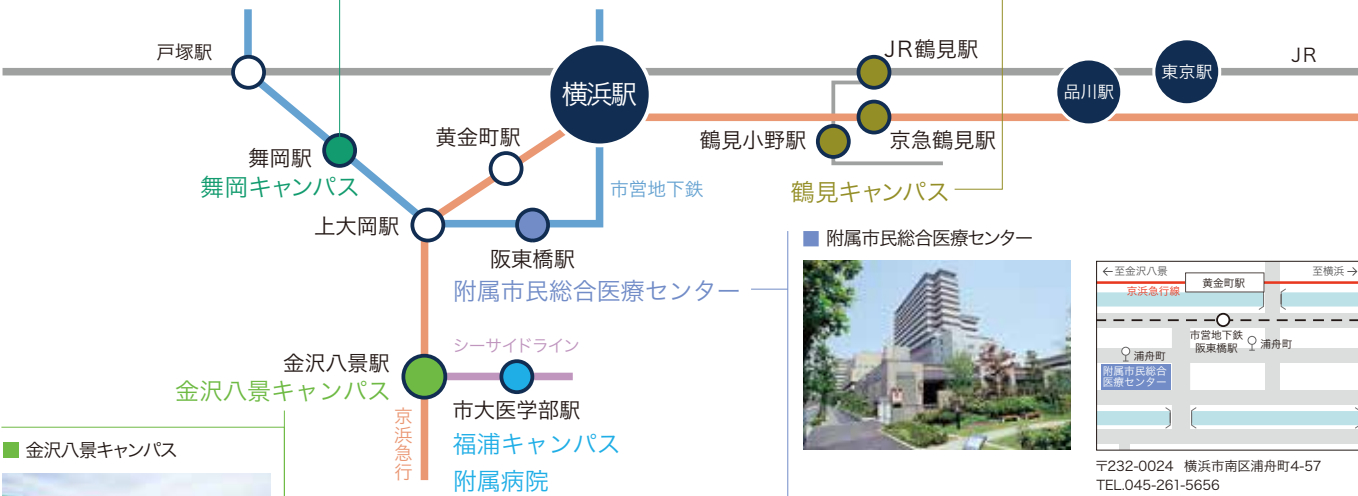
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12
TEL.045-820-1900
●市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

■ 鶴見キャンパス



- 国際総合科学部
生命医科学コース
- 大学院
生命医科学研究科
[生命医科学専攻]

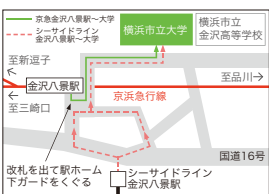
〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29
TEL.045-508-7201~7203
●JR京浜東北線「鶴見駅」東口および京浜急行「京急鶴見駅」前の8番バス乗り場から、川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行きで約15分「理研・市大大学院前」下車
●JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分



■ 金沢八景キャンパス

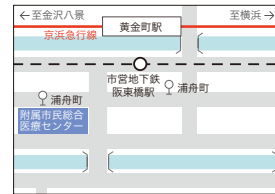


- 国際総合科学部
- データサイエンス学部
- 医学部(医学科・看護学科)※1年次
- 大学院
都市社会文化研究科
[都市社会文化専攻]
国際マネジメント研究科
[国際マネジメント専攻]
生命ナノシステム科学研究科
[物質システム科学専攻]
[生命環境システム科学専攻]



〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL.045-787-2311
●京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
●シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩7分

■ 附属市民総合医療センター

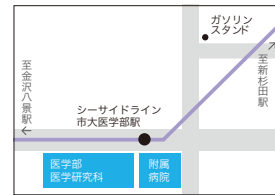


〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57
TEL.045-261-5656
●京浜急行「黄金町駅」下車徒歩10分
●市営地下鉄「阪東橋駅」下車徒歩5分
●市営バス「浦舟町」下車徒歩1分

■ 福浦キャンパス



- 医学部(医学科・看護学科)
- 大学院
医学研究科
[医科学専攻][看護学専攻]
- 先端医科学研究センター



〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
福浦キャンパス TEL.045-787-2511
附属病院 TEL.045-787-2800
●シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

2018



- Twitter @YCU_koho
- LINE@ @yokoichi
- Facebook YokohamaCityUniv
- Instagram yokohama_city_university

横浜市立大学 アドミッションズセンター
〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸 22-2
TEL.045-787-2055 FAX.045-787-2057
www.yokohama-cu.ac.jp



※デバイスによっては読み取れない場合があります

【編集・発行】横浜市立大学 広報室 2017.06

革新的に進化する YCU 世界へつながる学びが ここにある

大学の学びで何が変わるだろう。
誰かが答えを与えてくれるわけじゃない。
自ら考え、動くことで、ようやく見えてくる道がある。
多様な人に出会い、多面的な考えを知り、
多くのことを吸収して私たちは成長する。
常に進化し続ける環境が、成長を加速させる。

自由に、果敢に、懸命に、学びを重ねよう。
自らの可能性を拓け、世界へと大きく羽ばたくために。

国際都市横浜とともに歩む **横浜市立大学**

GO ヨコハマから世界へ
GLOBAL.
Start in YOKOHAMA.



すべては このステージからはじまる

GO ヨコハマから世界へ
GLOBAL.
Start in YOKOHAMA.



自らを大きく変える、新たな舞台YCU。
これまで考えもしなかった新しいことに、
日々私たちは出会う。
それは、限りなく好奇心を生み出し、
絶えず高みへと心を突き動かす。
だれもが自分の枠を超えて挑もうとする環境。
間違いなく、私たちはここで変わることができる。

YCUの源流は、明治初頭に設立された横浜商法学校、仮病院にまでさかのぼる。
以来、商学と医学の道を究め、横浜の開港とともに歩んできた。
その伝統を継いだ門の先には、真新しい「YCUスクエア」が顔を見せる。
グループ学修を促すスチューデントオフィスを有す、YCUの新たな象徴だ。
隣には、創立75周年を記念してOBたちが建てた「いちょうの館」が佇む。

すべては、重厚な歴史と洗練性をあわせ持つステージからはじまる。

地域を生かす 行動力を発揮する



社会の役に立つお菓子プロジェクト



空き家活用プロジェクト



Aozora Factory



Yokohama Dream Catchers



みんなで作る麦畑



いのちの授業

YCUがその実力を発揮できるのは、
ヨコハマというフィールドがあるから。
地に根付いているからこそ、生活しているからこそ、
横浜の街が好きだからこそ、さまざまな課題が見えてくる。
ひとりでは限られているから、
地域の人とともに手を携え、問題に挑む。
行動するチカラを地域で存分に発揮しよう。

産学連携による商品企画を通して社会に貢献する「社会の役に立つお菓子プロジェクト」、
横浜市内の空き家の利活用を提案する「空き家活用プロジェクト」、
医療機関の役割や医療の知識を伝えることで「医育」を目指す「Yokohama Dream Catchers」、
「学生×企業×街」をコンセプトにワークショップを実施する「Aozora Factory」、
横浜みなとみらいで市民と一緒に麦畑を作る「みんなで作る麦畑」、
子ども達に命の大切さを教える「いのちの授業」。
いつでも、ヨコハマという街が私たちのキャンパスだ。

世界を相手に 話せる語学力を手に入れる

GO ヨコハマから世界へ
GLOBAL.
Start in YOKOHAMA.



これから私たちが活躍するフィールドは、日本とは限らない。
気持ちを伝えるにも、物事を理解するにも
まずは言葉が大切になってくる。
YCUで手に入れる新しい言葉が
自分自身を表現するための心強い武器になる。
社会のスタートラインに立つ前に
世界を相手にできるだけ、言葉のチカラを手に入れよう。

世界に羽ばたくために必要な学びがYCUには揃っている。

- 国際水準の英語によるコミュニケーション能力を身に付ける
「Practical English」
TOEFL-ITP500点相当の最低達成水準を設定し、習熟度別にクラス編成
- 英語だけでなく、中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、
スペイン語を選択履修する「初習外国語」

これらが学びを深化させ、自信へと変えてくれる。
そして、活躍の場を見出すためのチカラを蓄えていく。

- 英語のみで行う「多文化交流ゼミ」
- 文理融合型のゼミやカリキュラムを学部初年度から履修
- “大学で何を学ぶか”という問いから自分なりの答えを見出す過程を
模索していく「教養ゼミ」

世界に挑戦する 対応力を育てる

GO ヨコハマから世界へ
GLOBAL.
Start in YOKOHAMA.



semester留学プログラム (アメリカ)



海外フィールドワーク (スウェーデン)

YCUには、各国から学生を受け入れ、世界の大学とつながり、世界へ踏み出すための、絶好の環境がある。
ここで言葉というチカラを手に入れたら、次はヨコハマから飛び出し、世界というフィールドで、自分を試してみよう。柔軟に対応するチカラを身に付けるために。

■ 長期留学プログラム 〈参加者の紹介〉



留学先: アメリカ (カリフォルニア州立大学チコ校)

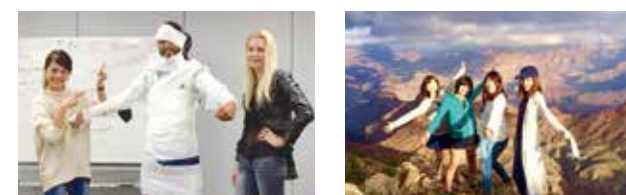
「英語を思考のツールとするため
留学プログラムを活用する。」

期 間 2016年3月から約10カ月

国際総合科学部 国際教養学系 人間科学コース4年
茨城県立日立第一高等学校卒

上 坏 結 子 Yuiko Kamiakutsu

「英語を思考のツールとするためには、英語に囲まれた環境で生活することが効果的であると考え、参加を決意しました」という人間科学コース4年の上坏さん。「つたない英語でも聞いてくれる人を見つけて積極的に話しかける」と決意して臨んだ結果、心からポジティブに会話を楽しめるようになり、帰国後はTOEICのスコアが150点アップした。将来は英語教育に携わる仕事につき、英語をインプットすると同時にアウトプットする機会を提供できるような教育システムづくりを目指す。



■ 海外フィールドワーク支援プログラム 〈参加者の紹介〉



渡航先: スウェーデン (ストックホルム、ウプサラ) / ラトビア (リガ)

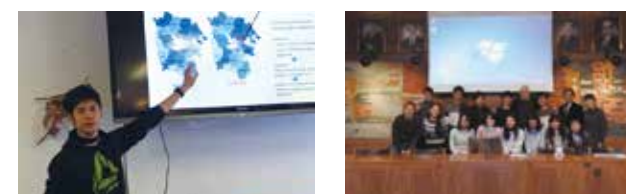
「自分の殻を破ることで
見えてくるものがある。」

科目名 演習Ⅱ・Ⅳ、卒論演習 (地域政策コース共同)

国際総合科学部 国際都市学系 地域政策コース3年
広島県立広島皆実高等学校卒

後 藤 健 介 Kensuke Goto

地域政策コース3年の後藤さんが所属するゼミでは、2年~4年生が毎年度ヨーロッパのフィールドワークに参加。「初めての海外でプレゼンテーションスキルや語学力に不安がありました。しかし、実践的な学びのなかで、思い切って自分の殻を破り、多くの人とコミュニケーションを取ったことで、研究テーマである環境問題について新しい視点を得ることができました」と語る。今後の学生生活でも「何事にも積極的にチャレンジしていきたい」と、決意を新たにする。



可能性を拓げるための 実践力を培う



ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム (アメリカ)



国際ボランティア (ベトナム)



海外インターンシップ (インド)

世界は、果てしなく広い。
歴史も文化も、日本とはまったく異なる国々。
その目で見て、感じ、体験したことは、
何ものにも代えがたい財産となる。
臆することは何もない。
想いと行動はYCUが支えてくれる。
世界で通用するチカラを培うために。

■ ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム (参加者の紹介)



留学先: アメリカ (バレンシア大学)

「期待を超える」ことで
将来の選択肢が広がった。」

期間 2016年8月から約5カ月

国際総合科学部 国際都市学系 グローバル協力コース4年
神奈川県立横浜平沼高等学校卒

海老原 しおり Shiori Ebihara

「英語力をもっと磨きたい、さまざまな国の人と交流したい」という思いから、ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラムに参加したグローバル協力コース4年の海老原さん。ディズニーでのインターンシップを通し、「Beyond their expectation」(期待を超える)という信念を学ぶことができた。「まずはお客様の気持ちに寄り添い、何を求めているのか察知することが大切だと感じました」。海外での接遇経験から、今まで考えていなかったグローバル企業で働くことも視野に入れるようになったという。「将来はエアラインなどサービス業界に就職し、お客さまに最高のサービスを届けたいです」と語る。



■ 海外インターンシップ (参加者の紹介)



渡航先: オーストラリア (シドニー)

「海外インターンシップで
グローバルビジネスの面白さを知る。」

期間 2016年8月から約1カ月

国際総合科学部 経営科学系 経済学コース4年
栃木県立大田原高等学校卒

菊地 将弘 Masahiro Kikuchi

経済学コース4年の菊地さんは、これまで培ってきた英語を活用する力を向上させること、働くことのビジョンを広げることが目的に、日本旅行シドニー支店の海外インターンシップに参加。海外の文化やワークスタイルにふれることを通して外国語を活用しながら、他者と協働することの大切さを痛感し、グローバルビジネスの面白さを知ることができた。「キャリア形成における選択肢が何倍にも広がりました。今回の経験で、日本と海外を結ぶ仕事に魅力を感じました。英語をはじめとする外国語に、常に向上心をもって取り組んでいきたいです」と語る。



世界のあらゆる分野で 貢献・活躍するOB・OG

File no.1 国際総合科学部 国際文化創造コース* 2013年卒業



「多様性を受け入れ他者と協働する力は、
学生時代に身に付けた、かけがえのない財産。」



日産自動車株式会社
共同購買本部 塗料・インダストリアル・物流調達部

関 洋一郎 Yoichiro Seki

■目標達成には多様性の理解と密な連携が不可欠

高校生の頃から「海外と関わる仕事に就きたい」と考えていたという関さん。現在は日産自動車株式会社で車体部品や資材を調達する共同購買本部に所属し、すべての車種の塗料調達を担当している。「主に発注するサプライヤー(原料の供給元)の選定やコスト最適化に向けた原価低減活動を行っています。現在アジアを中心に担当していますが、他の地域のサポートを行うこともあり、非常にグローバルなポジションでやりがいを感じています」。部署はチーム制で、関さん自身も5人編成のチームに所属。チームのみならず、他部署や社外と密にコミュニケーションを取りながら目標を達成していく過程において、YCUで主将を務めたグランドホッケー部での経験が生きている。加えて、上海での海外留学プログラムに参加したことも役立っているという。「プログラムでは文化背景の異なるさまざまな国々から留学生が集い、中国語の修得に勤しみました。今の職場でも外国人が当たり前のように働いている。上海で学んだ多様性を受け入れ、協働していく力は、かけがえのない財産となっています」。

■目的意識が大学生活を左右する

国際的に開かれた大学でありながら、一方で「大規模校にないアットホームな雰囲気もYCUの魅力」と続ける関さん。それだけに、環境に甘えずに行動することも大切と襟を正す。「大学生活は自由な時間が増える分、やりたいことをしっかり意識して取り組まないと流されてしまいます。明確な目的をもって取捨選択をしていくことが、有意義な学生生活を送るポイントです」。



(※) 2011年度入学者まで

File no.2 医学部 医学科 2011年卒業



「臓器移植に代わる再生医療の実現と、
新たな学問領域『広告医学』の普及を目指す。」

横浜市立大学 医学部 臓器再生医学
准教授

武部 貴則 Takanori Takebe

■多臓器同時再生の概念についても研究

小学生の時に父が脳卒中で倒れ、奇跡的に生還したことから医学の道を目指した武部准教授。「学生時代は9時から5時まで授業、その後研究室に行き夜中まで研究活動に没頭する毎日でした。「すべてを切り捨てても医学に貢献したい」という強い気持ちは今も同じです」。「臓器移植」に出会い研鑽を重ねるうちに、臓器移植にかわる「再生医療」に着目し、肝臓の効果的な治療法を研究。2013年に、iPS細胞から血管構造を持つ機能的なヒト臓器を世界で初めて創り出すことに成功し、注目を集めた。「今後は、肝臓の周りの臓器との関係性をふまえた多臓器同時再生の概念についても研究していきたいと思います」。また、現在はこれらの研究の成果をもとに、クロスアポイントメント制度によって米国オハイオ州のシンシナティ小児病院の准教授として研究室を構え、活躍の場を世界へと広げている。

■病気にかかる人の数を少しでも減らしていきたい

もうひとつ力を注いでいるのが、「広告医学」という新しい学問領域を普及させること。広告医学とは、デザインやコピーといった広告的手法を用いて健康行動を誘発したり、医療についてわかりやすく伝えようというもの。「シーサイドライン 金沢八景駅と市大医学部駅にユニークなイラストを施した『上りたくなる階段』が、その一例です。楽しみながら階段を上ることで、日頃の運動不足を解消するのがねらいです」。今後は、「企業とのコラボレーションなどを通して広告医学の概念を広く知ってもらい、人々のモチベーションに働きかけて日々の行動や健康についての考え方を変えていきたい。病気にかかる人の数を少しでも減らしていくことが目標です」。



世界のあらゆる分野で 貢献・活躍するOB・OG

GO ヨコハマから世界へ
GLOBAL.
Start in YOKOHAMA.

File no.3 商学部 経営学科^{※1} 2008年卒業



2008年、商学部経営学科を卒業した向井さんは、株式会社オリエンタルランドに入社し現在は経営戦略部に所属。東京ディズニーリゾート全体の長期戦略や、新たな成長の軸となる事業の検討業務に携わる。「年間約3,000万人が来園する東京ディズニーリゾートの体験価値をさらに高めるためには、時代や社会の変化をとらえ先読みする力が欠かせません。常にゲストの期待を裏切らず、東京ディズニーリゾートのブランド価値を保ち続けられるよう、日々仕事に取り組んでいます」。社会人になってからは、学生時代の人とのつながりを強く実感するという。「小規模だからこそ、教授や仲間との距離が近く、密なコミュニティを作ることができました」。社会人になった今でも、切磋琢磨できる仲間と交流を続けている。「YCUには、あらゆることに全力で打ち込むことができる環境と仲間がいます。自身の力で可能性を追求していきましょう」。

(※1) 2004年度入学者まで

File no.5 医学部 医学科 2001年卒業



血液免疫感染症内科学の講師として、リウマチ・膠原病の診療と研究、医学生や研修医の指導を行う桐野さん。「リウマチ・膠原病は、長年にわたって悩まされる患者さんが多い慢性疾患です。現在は、日々の診療に励むとともに、原因の解明や新しい治療法の開発につながるような研究を続け、その成果を社会へ還元することを目標としています」。桐野さんは、YCU大学院修了後、米国国立衛生研究所に留学し、主にパーचेット病についての遺伝学的な研究を行った。「留学中は、YCUから多くの研究者が来ていることに勇気づけられました。また、留学を通じ、YCUは世界で通用する臨床・基礎研究を行っていることを実感しました。今後は医療にかぎらず、どの分野でもグローバルに活躍する人材が求められるという。「それには、難題に立ち向かい、自ら解決する能力を養うことが必要不可欠。皆さんにもYCUで自分の行くべき道を見つけ、世界へ羽ばたいてほしいと思います」。

File no.4 国際総合科学部 ヨコハマ起業戦略コース^{※2} 2015年卒業



佐久間さんが「グローバル」に興味を抱いたきっかけは、高校生の時。出身地である千葉市の国際交流事業に参加し、カナダで3週間のホームステイを経験。その翌年にはホストファミリーとしてカナダの学生を受け入れた。YCU在学時には海外インターンシッププログラムを活用し、インドのIT企業で1ヵ月ほどインターンを経験。就職活動でも「グローバルに活躍できること」を軸に企業選びを行った。現在は富士ゼロックスに勤務。世界中に販売チャネルを持つ製品の取扱説明書の多言語翻訳など、海外担当者となり取りしなが、品質や納期をチェックするプロダクトマネジメントを行う。「各国の法規制への対応等難しい点もありますが、ユーザーの方に安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、常にお客様目線を忘れないようにしたい」と話す。「大学時代は人生で最もフレキシブルに動ける時間。挑戦すればするほど自分の視野が広がります。ぜひさまざまなことに挑戦してください」。

(※2) 2011年度入学者まで

File no.6 医学部 看護学科 2012年卒業



1年次の授業で聞いた「あなたのその手が、数年後に誰かを癒す」という言葉が心に残り、「今でも思い返すたびに、初心に戻ることができる」と話す小笠原さん。YCUの4年間で、看護の基礎から専門分野まで体系的に学んだのち、2012年に横浜市立大学附属市民総合医療センターに入職してから約5年間、泌尿器科・婦人科が中心の混合病棟で勤務。「術後の患者さんの急性期看護はもちろん、終末期の患者さんやご家族との関わりからさまざまなことを学びました。臨床実習指導者も経験し、看護師を目指す学生たちと『看護とは何か』について考える貴重な経験ができました」という。2017年春、NICU・GCU（新生児集中治療室）に異動。「言葉を話さない赤ちゃんだからこそ、今まで以上に観察力が必要となり、赤ちゃんを迎え入れるご家族への支援もとても大切。初めて経験することはばかりですが、YCUの授業で聞いた言葉を思い返し、一から学ぶ気持ちで日々業務に取り組んでいます」。

データサイエンス学部が育てるのは、文理融合の「知」を持った人材です。

データサイエンス学部では、データを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション力や、イノベーションを起こす発想力、次世代に通用するビジネス力を養成。日々データが生まれ蓄積される今、そこから新たな社会的価値を創造できる人材を養成します。

2018年4月 首都圏初の データサイエンス学部誕生

School of Data Science



皆さんが社会人となって活躍する2020年代には、今は存在しない新たな職業が生まれているかもしれません。そんな未来のカギを握る学びとして注目を集めるのが「データサイエンス」です。

ビッグデータから「未来の芽」を見つけ出し、新たな価値を創造するデータサイエンスのスペシャリストは、AI(人工知能)などの次世代テクノロジーも駆使しながら、社会を劇的に変えていくことに挑戦し、その活躍の場はデータが生まれるすべての現場へと広がっています。

想定される卒業後の進路

卒業後は、時代をリードする幅広い分野での活躍が期待されます。もしかしたら、それはまだ存在していない職業かもしれません。

- **金融(銀行、証券会社、生命保険・損害保険会社など)**
(データコンサルタント、データアナリスト)
- **IT企業(インターネット関連会社、ネットショッピング運営会社など)**
(製品開発、データマイニングエンジニア)
- **製造業(電機メーカーなど)**
(製品開発、データマイニングエンジニア)
- **広告代理店、総合商社**
(アカウントマネジャー、マーケティング担当)
- **製薬メーカー、大学病院**
(臨床研究専門家)
- **公務員**
(オープンデータに基づくアナリスト)
- **今はまだ存在していない職業**

データサイエンスの可能性



Case 1

医療ビッグデータを解析し、病気のリスクの発見や、難病治療に役立てる

電子カルテの記録や画像診断データ等、蓄積する膨大な医療ビッグデータが次世代医療を解くカギに。



Case 2

その時、人々はどこに行き、何をしたか。災害時の行動を次の防災につなげる

災害発生時の帰宅困難者数をスマホの位置情報から想定するなど、災害対策でのビッグデータ活用は今や必須。



Case 3

あなたの何気ないつぶやきで、景気動向がわかる

SNSのつぶやきもビッグデータのひとつ。これを解析して株式市場の動向を予測する試みが、既に始まっている。

文系の力も、理系の力も。データサイエンスに必要なのは、これまでにない発想力。

データサイエンス学部は、文系・理系を問わず受験ができる学部です。データサイエンスに必要なのは、膨大なデータの中に埋もれた新しい価値を見つけ出し、世の中を変えることができる能力。そこに求められるのは、文系・理系の枠組みを越えた、知力と分析力、発想力なのです。

●たとえばこんな方にオススメ!

- TYPE 1 AI(人工知能)を駆使する、新ジャンルのエンジニアになりたい!
- TYPE 2 ビッグデータを駆使して社会の課題を発掘し、解決したい!
- TYPE 3 コミュニケーションを大切にしながら、人や社会に貢献したい!
- TYPE 4 データのチカラをベースに、発想力で勝負する経営者になりたい!

●データサイエンス学部概要

学科名	データサイエンス学科
学位	学士(データサイエンス)
入学定員	60名
収容定員	240名
キャンパス	金沢八景キャンパス

企業の声

データで、ワンランク上のレベルを目指す

横浜マリノス株式会社 FRM事業部 FRM&デジタルマーケティング課 担当部長
永井 紘氏 Hiroshi Nagai

スポーツ界のデータ解析は、競技のデータから得点率を上げるための予測を行うだけでなく、ビジネス面でも活用しています。チケット購入にあたっては、購入者の過去の動向や志向から、それぞれに応じたプロモーションを展開することで、購入率をあげる工夫をしています。ファンクラブ運営では、ユニフォームをご購入いただいた方々の年齢や性別、居住地域等から、ニーズに合うサービス情報を提供する等、ファンの行動を先読みすることで、クラブの信頼性を高めています。ただ、データ分析はあくまで手段。ファンの興味・関心を分析し、潜在的なニーズを見つけ出し、さらにファンの期待に応えられるクラブを目指しています。それらを実現するためにはデータを扱う人材が不可欠。データをビジネスにつなげ、スポーツ界を盛り立ててくれる人材に期待しています。



ビジネスチャンスは、データで無限に広がる

東日本電信電話株式会社 神奈川事業部 コラボレーション推進部 部長
相原 朋子氏 Tomoko Aihara

通信インフラの基盤をつくり、データ流通を支える企業として、個人情報を守ることはもちろん、通信環境で蓄積されるデータに基づいて、お客様のビジネス拡大を支援するサービスを提供しています。例えば飲食店や観光施設では、外国人旅行者を誘引するため、Wi-Fiを設置されるお客様が非常に増えています。ここではWi-Fiの設置に留まらず、Wi-Fiのアクセスログから来訪者が求めるものを分析し、店舗の売り上げを高める等、データをもとにした付加価値を提供しています。このような新しい価値を生み出す視点は、文系・理系出身者関係なく、すべての現場で求められています。データを使ってお客様のビジネスをどのように広げることができるか、それらを考え実現できる人材が活躍の場を広げています。



数字で見る YCU

留学生数
111人

17カ国・地域

本学に在籍している外国人留学生の数 (2017年5月1日現在)



留学・海外研修参加者

2,920人
(2017年3月31日現在)



就職率

98.7%
国際総合科学部の就職実績 (全国平均) 97.6%
(2016年度実績)

男子 **41%**
女子 **59%**
男女比

男子1,709人、
女子2,452人で少し女子が多い環境です。
(2017年5月1日現在 学部生数)

国際ボランティアプログラム

30カ国

横浜市立大学で体験できる国際教育交換協議会が提供する国際ボランティア・プログラムの数
(2017年5月1日現在)



16位
世界大学ランキング

(THE world's best small universities 2016の発表を元に掲載)

学生数 5,000 人未満の世界大学ランキングにて世界で16位。日本では2位。

日本 **2**位



部活動・サークル数

146団体
(2017年5月現在)
運動系団体: 53団体
文化系団体: 58団体
その他サークル: 35団体
※金沢八景キャンパス・福浦キャンパスの合計

看護師国家試験
合格率 (2016年度実績)

99.1%
(全国平均) 88.5%

横浜から
18分
横浜駅から京急線金沢八景駅までの快特・特急の乗車時間

横浜から **18**分

TOEFL-ITP500点相当以上の学生

90%以上
Practical Englishの最低達成条件をクリアしている学生の割合 (2017年5月1日現在)

海外の交流協定締結大学・研究所等

35校

海外の交流協定締結を結び現在交流を行っている大学や研究所の数

医師国家試験合格率
(2016年度実績)

97.7%
(全国平均) 91.8%
※新卒のみ



横浜から世界へ

YCUは豊かな人間性と高い専門能力を備えた「横浜から世界へ羽ばたく」人材を育成します。



YCU President's Message

横浜は幕末の開港以来、新しいものを積極的に取り入れ、ダイナミックに発展してきたわが国最大の政令指定都市であり、世界有数の国際都市です。YCUは開学以来「横浜とともに歩む大学」として、実学と医療を中心に国際的なセンスを身に付けた優秀な人材を世に送り出してきました。そして、今まさに時代が求める力を育むフィールドがYCUにはあります。

YCUの教育の特徴は、作業言語としての英語力の強化、あらゆる専門の基盤となる教養教育、そして横浜をフィールドにした学びです。国際社会において、英語をコミュニケーションの道具として使いこなすことは必須です。それらを「Practical English」や「Advanced Practical English」で鍛えるとともに、海外フィールドワークや海外インターンシップ、多彩な留学プログラムなど、自らの英語によるコミュニケーションを磨くための国際経験の場を多数用意しています。

また、真のグローバル人材には「自律した“自己”を確立」することが求められています。変化が目まぐるしく、多様な価値観を持つ人々が共生する社会においては、まず自己を確立し、その上で「自ら課題を見つけ、解決する力」が必要です。YCUの共通教養では、この力をつけ専門教育の土台となる教養教育を、少人数かつきめ細かなプログラムにより提供しています。

そして、YCUには横浜市をフィールドにした実践的でダイナミックな学びの機会があります。国際都市横浜に存在するさまざまな都市課題を、充実した専門教育で培った知識をもとに考え、行動する経験を通じて、国際社会におけるさまざまな課題を解決する力を養うことができます。

一方、YCUでは世界トップレベルの研究や高度で先進的な医療の研究、開発が行われ、その成果を日々世界へと発信し続けています。その高い研究力に裏打ちされた質の高い教育により、広く社会や世界に貢献・活躍していける人材、医療者、研究者を創造する学びの場がここYCUにはあります。この横浜から世界に羽ばたく人材を一人でも多く輩出する、これこそがYCUの目指す人材育成です。

横浜市立大学 学長 窪田 吉信



窪田 吉信 Yoshinobu Kubota

1949年1月生まれ。専門は泌尿器科学。1974年横浜市立大学医学部卒業。横浜市立大学医学部附属病院、横浜市立市民病院、南カリフォルニア大学がんセンターなどを経て、2001年横浜市立大学医学部教授。附属病院副院長、副学長を歴任した後、2014年4月より現職。医学博士。

横浜市立大学の3つの特徴

教育プログラム

広い視野と知識から、
自らの専門性を切り拓く

- すべての学生が1年次の共通教養で、専門教養の基盤となる知識、姿勢、思考法を学ぶ
- Practical EnglishやAdvanced Practical Englishで、英語によるコミュニケーション力を鍛える
- 少人数の演習形式、多彩な教授陣による専門教育と領域横断型のプログラム



地域貢献とグローバル

国際都市横浜で学び、
世界に通用する力を身に付ける

- 横浜というフィールドで課題を発見し、解決策の実践を通して地域や世界の問題を学ぶ
- 駐日大使の講演会や国際イベントへの参加など、横浜にしながら多様な国際経験を積む
- 海外フィールドワークや留学、海外インターンシップで、世界へと飛び出し、自分を試す



きめ細かな学生支援

コンパクトだから、
温かい距離感

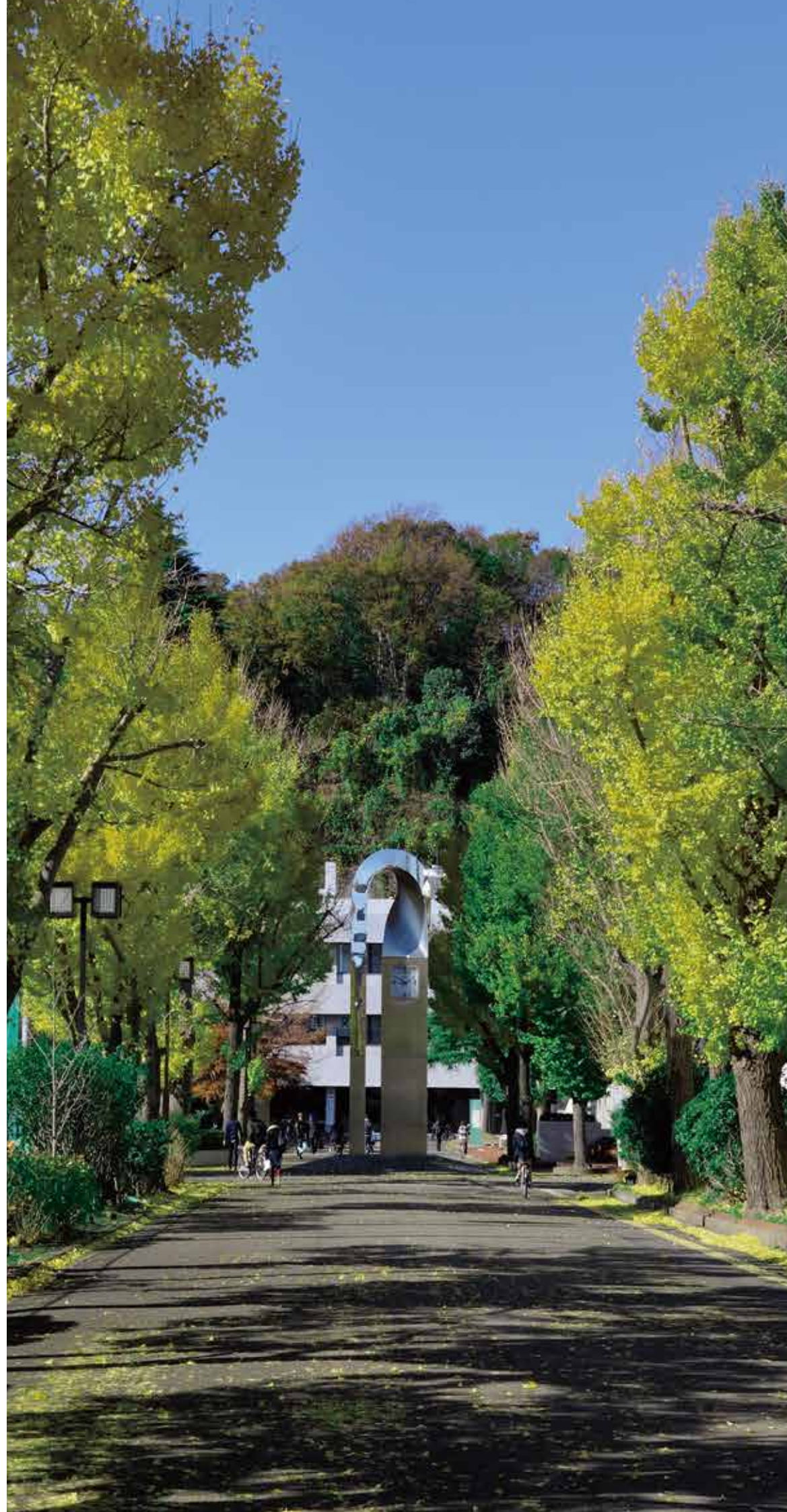
- 教養ゼミやPractical English、専門での演習など、少人数クラスで自ら、能動的に学ぶ
- 学生数5,000人に満たない規模だからこそ、教員との距離が近く、親身な指導が受けられる
- 履修や課外活動、留学や就職相談など、一本化した窓口で、職員が手厚くサポート



横浜市立大学の歴史

横浜市立大学の源流は、明治初頭に設立された横浜商法学校、仮病院までさかのぼります。明治の早い時期に商業学校や病院が設立されたのは、横浜が当時の日本における第一の貿易港であり、国際商業都市であったことによります。その後、横浜市立横浜商業専門学校（Y専）、横浜市立医学専門学校を経て、1949（昭和24）年に新制大学として横浜市立大学が発足。以来、開国・開港の地である横浜にふさわしい、開放的で国際性・進取性に富む学風は横浜市立大学の伝統として受け継がれ、数多くの優れた人材を輩出しています。

沿革



金沢八景駅前（1960年）

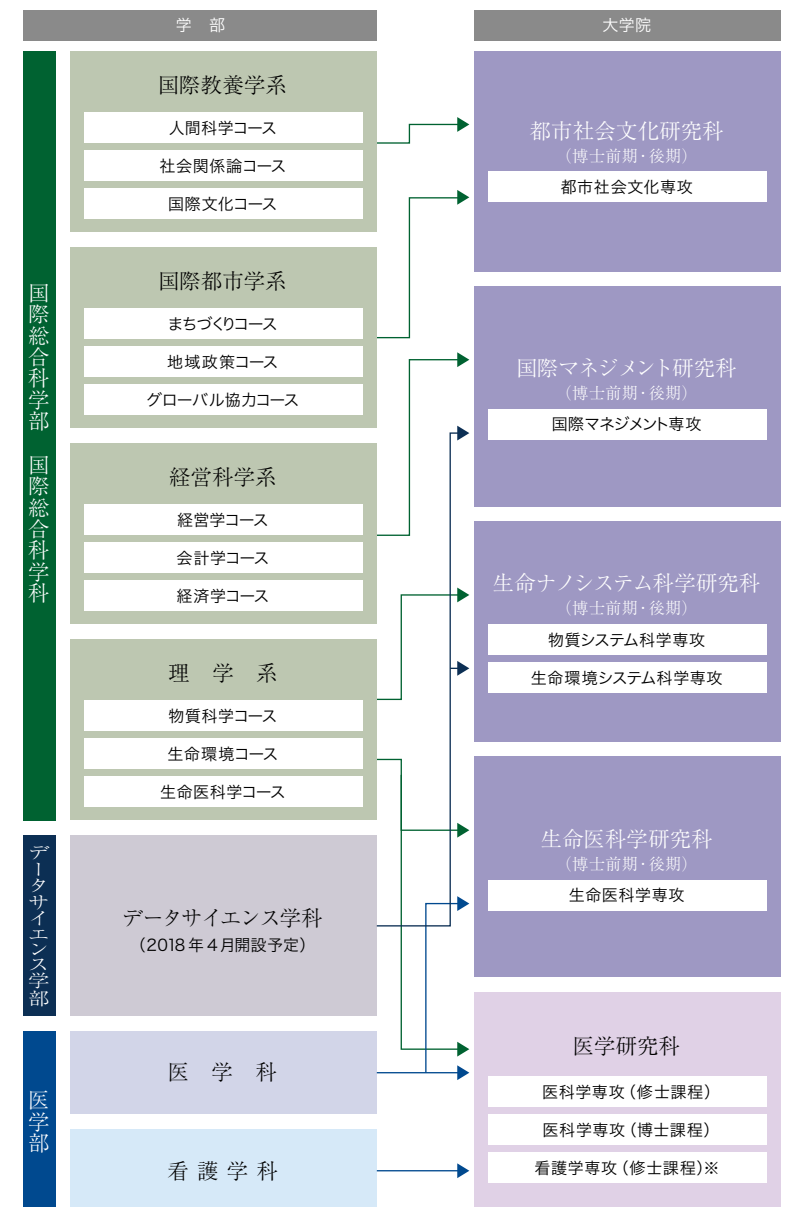


横浜市立大学医学部病院（1958年）

◎いちよう並木の由来

金沢八景キャンパスの象徴でもあるいちよう並木は、1948年に医学部の前身である横浜医科大学予科の学生達が植えたものです。

学部・大学院構成



【大学院沿革】

医学研究科（1961～）、経営学研究科・経済学研究科（1970）、総合理学研究科（1989）、総合理学研究科 - 連携大学院 / 生体超分子システム科学専攻（2001）、国際文化研究科（1993）を統合して国際総合科学研究科を設置（2005～2009）、国際総合科学研究科を再編し、都市社会文化研究科・国際マネジメント研究科・生命ナノシステム科学研究科を設置（2009～）、医学研究科看護学専攻を設置（2010～）、生命医学研究科を設置（2013～）

※看護学専攻（博士後期課程）2018年4月開設に向け設置認可申請中。認可後、修士課程は博士前期課程となります。

INDEX

■ 横浜から世界へ羽ばたく学びのフィールド

国際総合科学部 p.38

- 国際教養学系
 - ・人間科学コース
 - ・社会関係論コース
 - ・国際文化コース
- 国際都市学系
 - ・まちづくりコース
 - ・地域政策コース
 - ・グローバル協カコース
- 経営科学系
 - ・経営学コース
 - ・会計学コース
 - ・経済学コース
- 理学系
 - ・物質科学コース
 - ・生命環境コース
 - ・生命医科学コース

データサイエンス学部 p.58

- データサイエンス学科 (2018年4月開設予定)

医学部 p.60

- 医学科
- 看護学科
- 附属病院・附属市民総合医療センター

大学院／研究施設 p.80

- 都市社会文化研究科
 - ・都市社会文化専攻
- 国際マネジメント研究科
 - ・国際マネジメント専攻
- 生命ナノシステム科学研究科
 - ・物質システム科学専攻
 - ・生命環境システム科学専攻
- 生命医科学研究科
 - ・生命医科学専攻
- 医学研究科
 - ・医科学専攻
 - ・看護学専攻
- 研究施設・連携研究機関

プロローグ p.2

- ヨコハマから世界へ
- YCUトピック
- 数字で見るYCU
- 学長メッセージ
- 横浜市立大学の歴史

教育の特徴 p.26

- キャリア形成プログラム
- YCUの共通教養

グローバル教育 p.32

- YCUの国際交流ネットワーク
- 短期留学プログラム
- 長期留学プログラム
- 交換留学プログラム
- 海外フィールドワーク支援プログラム

キャリアサポート／
学生支援 p.86

- 夢を実現するキャリアサポート
- 国際総合科学部の進路状況
- 内定者インタビュー
- 医学部の進路状況
- 図書館

キャンパスライフ p.96

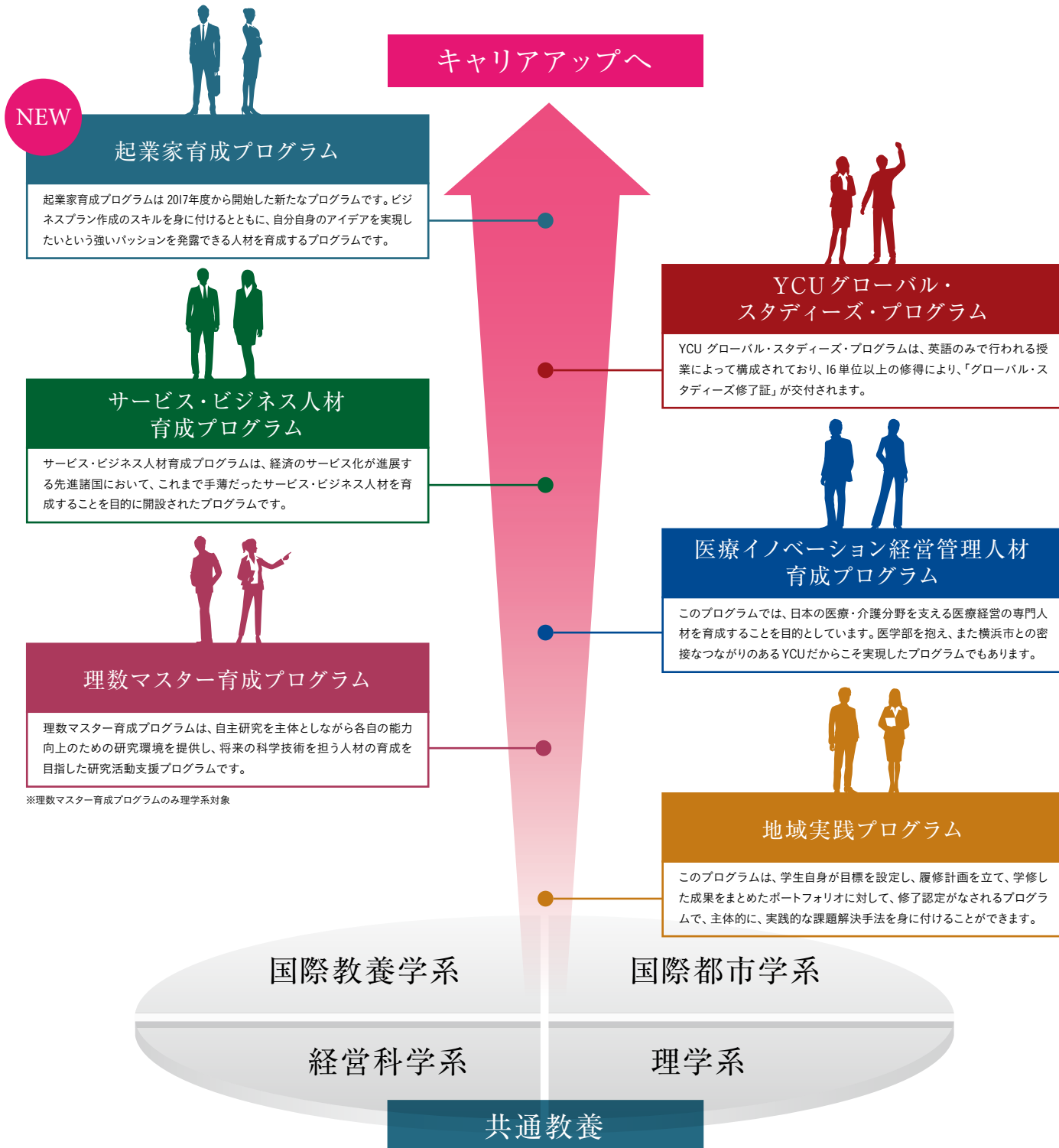
- YCUのキャンパスライフ
- 実家暮らし・一人暮らし
- 部活・サークル
- 金沢八景キャンパス
- 福浦キャンパス

入試情報／学費・奨学金 p.106

- 2018年度入試情報
- 2017年度入試結果
- 学費・奨学金
- Q&A
- 知る見る学ぶYCU

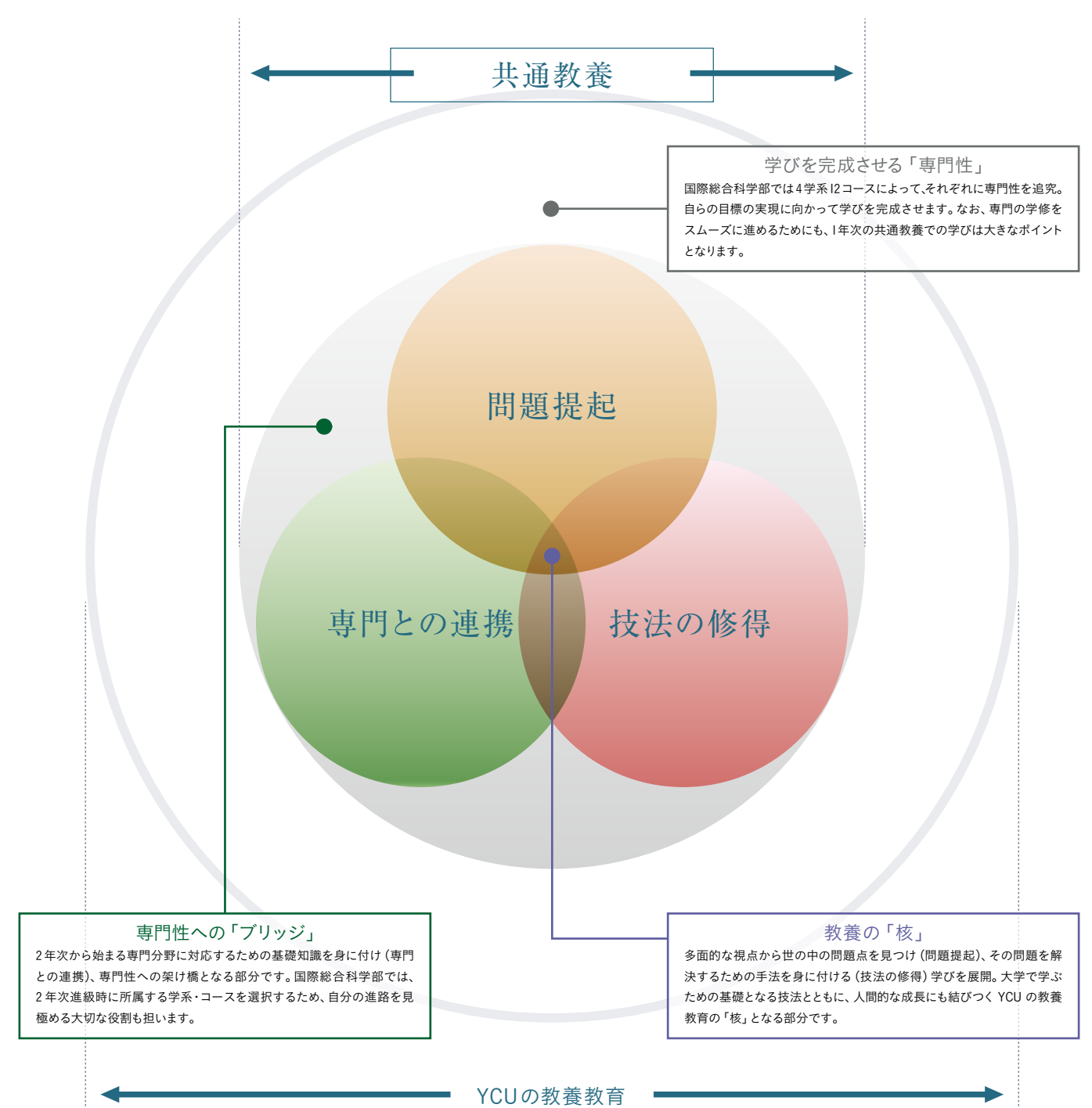
YCUならではの キャリア形成プログラム

国際総合科学部では、共通教養の学修を基盤にして、国際教養学系、国際都市学系、経営科学系、そして理学系の4学系に分かれて専門性を究めています。専門性を究めるといことは、ともすると視野が狭まってしまうという側面があります。そこで、本学部の総合性を生かし、広範な視野を備えつつ、体系だった知識を身に付けた人材を育成するための各種プログラムが設けられています。



自ら問題を発見し、解決する YCUの共通教養

共通教養は、YCUの目指す教養教育の土台であり、教養ゼミや総合講義、実践科目などを通じて、全学生の「自ら問題を発見して解決する力」を育てていくことを目標としています。問題の解決には、情報の質を見極め、主体的に選別する能力や技術が必要になり、ときには高い専門性が求められる場面もあります。このような社会のニーズ・背景を踏まえ、YCUの共通教養科目は、「問題提起科目」「技法の修得科目」「専門との連携科目」という大きく3つの科目群で構成されています。全学部の学生は、入学後1年次よりこれらの科目群を通して学ぶ姿勢を身に付け、さらには問題の発見・課題解決の力を修得していきます。



問題解決能力を養う共通教養

■ 問題提起科目群

総合講義 | 特定のテーマについて、さまざまな講師を招いて話を聞き、現状や問題点を多面的に学ぶ授業です。

- 現代社会とジェンダー
- 横浜学事始
- 国際関係論
- 環境論入門
- まちづくり学入門
- 横浜と産業
- 横浜から世界へ
- 連携特別講座「国際協力事業」
- 企業家に学ぶ
- 企業と会計
- 科学技術の創成
- 生命科学と環境
- 自然災害とリスクマネジメント
- 医療と社会
- Education in the World
- 多文化社会を考える
- 鎌倉・金沢を知る

多文化交流ゼミ | Practical English 合格者を対象に、英語で議論し、英語で考えを表現することを学びます。

- 現代アジア・太平洋地域事情
- 外国人の日本研究
- Comparing Education in the World
- Global Communications
- 横浜のなかにある外国人コミュニティ
- 世界で報道される日本
- Japan from Foreigners' View

実践科目 | 実践することで、考えるだけではわからなかった問題を理解するきっかけをつかみます。

- キャリア形成実習
- キャリアデザイン
- インターンシップ
- 福祉施設実習
- 環境保全農業実習
- 自然体験実習
- 健康スポーツ実習
- 春期・秋期スポーツ種目
- ウエルネスライフ実習
- アクティブプランニング実習
- 長期海外研修
- 短期海外研修

■ 技法の修得科目群

★ 必修科目

ゼミ

- ★ 教養ゼミ
- ★ 基礎ゼミ (国際総合科学部のみ必修)

語学

- ★ Practical English
- ★ Essential Practical English
- ★ Advanced Practical English I～V
- ★ 看護英語

初習外国語 | Practical English 合格者対象の科目です。中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語があります。 ※国際教養学系のみ必修

- 中国語教養基礎 I・II
- 中国語教養実践A～C
- 中国語中級
- 韓国・朝鮮語教養基礎 I・II
- 韓国・朝鮮語教養実践A～C
- 韓国・朝鮮語中級
- ドイツ語教養基礎 I・II
- ドイツ語教養実践
- ドイツ語中級
- フランス語教養基礎 I・II
- フランス語教養実践
- フランス語中級
- スペイン語教養基礎 I・II
- スペイン語教養実践
- スペイン語中級
- 日本語 I・II
- 日本事情 I・II
- ※留学生・帰国生対象
- 特別講座 (入門日本語 I・II)
- ※留学生・帰国生対象

情報コミュニケーション

- ★ 情報コミュニケーション入門
- ★ プログラミング基礎
- ★ マルチメディア表現基礎
- ★ 情報検索基礎
- ★ データ分析基礎

■ 専門との連携科目群

- 歴史学入門
- 社会学入門
- 地理学入門
- 心理学入門
- 文化研究入門
- 思想研究入門
- 文学研究入門
- 政治学入門
- 行政学入門
- 国際社会論入門
- 経済学入門 I・II
- 簿記入門 I・II
- 経営学入門 I・II
- 法学入門
- 民法入門
- 社会統計学 I・II
- 社会システム入門
- 微分と積分
- 微分と積分演習
- 行列とベクトル
- 行列とベクトル演習
- 力と運動
- 力と運動演習
- 電気と磁気
- 電気と磁気演習
- 化学結合と構造
- 環境の基礎化学
- 生命の機能
- 自然科学基礎実験A～C
- 統計と確率
- リメディアル講座
- 基礎物理学
- 基礎生物学
- 医学科基礎物理学
- 英米文化理解A・B
- 課題探究科目
- 現代人の哲学
- 歴史から今を知る
- 芸術作品を読む
- 地域事情
- 現代社会の見方
- 企業の経済学
- ライフサイクルの経済学
- 社会調査法入門
- 科学技術行政
- 健康スポーツ科学
- 地域課題の解決
- Japanese Globalization in Comparative Context
- Japan Studies
- Risk Management
- History of Modern Japan
- 心を科学する
- Introduction to Psychology
- Topics in Modern Psychopathology
- 日本史の方法
- 世界史の方法
- 倫理学
- 英語学A・B
- 英米文学A・B
- 日本事情 I・II
- ※留学生・帰国生対象
- English Grammar for Higher Education
- 日本国憲法
- 反応の化学
- 生体分子と細胞
- 遺伝と進化
- 科学史
- 病気を科学する

Message from a professor

知的体力の基礎を築く教養教育

共通教養長

佐藤 響子 Kyoko Satoh ■ コミュニケーション論

激動の時代を生き抜くのに必要な力とは、適切に問題を把握する力とその問題を適切に解決する力です。問題を把握し解決するためには他者への情報発信、他者との交渉も必要です。そのためには情報コミュニケーション力も欠かせません。YCUの共通教養では、このような能力を養うプログラムを用意しています。問題発見から試行錯誤を重ねて問題解決に至るプロセスを積み重ねることで、知的体力をつけていきましょう。そうして、専門の勉強にスムーズに移行できる基礎を築きます。



Practical English



国際水準の英語によるコミュニケーション能力を身に付ける

Practical English の目的は、大学における知的活動を英語によって行えるレベルのコミュニケーション能力を身に付け、それぞれの専門分野を学んでいくためのスターティングポイントに立つことにあります。授業は、4つの基本的なスキル(読む・書く・話す・聞く)を使いながらすべて英語で進められ、英語を使うこと、英語で考えること、英語で学ぶことを修得します。到達度を客観的な基準 (TOEFL-ITP) で測り、500点相当を最低達成水準として設定しているほか、単位の取得には、授業への8割以上の出席も求められます。授業カリキュラムの作成と運営、個別カウンセリングなどをはじめ、さまざまな学生のサポートは Practical English Centerが行います。

教養ゼミ



Advanced Practical English

PEクリアは、ゴールではなくスタート



Practical Englishで到達したTOEFL-ITP 500点という水準は、あくまでもスタート地点です。Advanced Practical Englishでは、このスタート地点に立った学生が、留学や国際協力といったさまざまな活動を本格的に行うことができる力を身に付けられるよう、レベル別、目的別のクラスを用意しています。また、YCUで提供している学生海外派遣プログラムとも連携し、TOEFL-IBTの受験や、英語圏の大学学部レベルの授業に必要なスキルの養成にも対応。英語を使って世界に羽ばたく学生をサポートします。

徹底的に「考える力」を体得する

教養ゼミの目的は、「考えをカタチにする力」を身に付けてもらうこと。なぜなら、受け身の勉強が中心だった高等学校とは異なり、大学では自らの疑問から「問い」を設定し、それを考察・研究していくことが求められるからです。そのためにまず、さまざまな考え方があり、ひとつの事柄についてもいろいろな角度から捉えられることを理解してもらいます。そして、信頼性のあるデータを集め、専門的な知識に基づいて核心に迫り、自分の考えを発表する力を育成します。教養ゼミでは少人数制教育のもと、専門の異なる教員2名と学部の異なる学生でクラスを形成し、自由に、活発に議論を交わすことができる環境を整えています。

自ら学ぶ力を得る共通教養



■ 多文化交流ゼミ

グローバル人材、はじめの一歩

Practical EnglishとAdvanced Practical Englishで培った英語力を生かす場としての多文化交流ゼミ。使用言語はすべて英語。ゲストスピーカーによる講義、グループでテーマに沿ったリサーチ、プレゼンテーション、クラスディスカッションの流れを繰り返しながら、大学レベルでの実践的英語力を身に付けると同時に、広い視野に立った思考力と発信力を養います。



■ 初習外国語

母語 + 英語 + もうひとつの外国語

英語の授業に加えて、外国語の授業を中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語から選択して履修することができます。グローバル化がますます進展するこれからの社会、複数の外国語・文化に習熟することは、複雑化するさまざまな文脈のなかで自分を生かす力=生きる力を形づくることです。まず最初に週3回の授業に積極的に取り組めば、生活上の基礎的な運用能力を身に付けることが可能です。続いてそれぞれの専門領域における社会活動や、学術研究活動での実践的な受信・発信能力を養成します。海外の大学へ留学できる道も開かれています。



■ 基礎科学講義

知識を学問に変える準備

基礎科学講義の大きな柱は2つ。その分野を勉強するために必要な基本概念の修得を目指す入門科目と事象を主体的かつ批判的に分析する思考方法を身に付ける課題探求科目です。さらには、実験を通じて自然科学の基礎を修得する科目、高等学校での知識を補うリメディアル講座も用意されています。これらは共通教養の科目なので、所属する学系やコースにかかわらず、自分の問題意識にあったものを履修することができます。



■ キャリア形成実習

キャリア教育のスタート

これから先の人生(キャリア)をスタートする準備を行うのがキャリア形成実習です。インターンシップでは、自分の将来のキャリアと照らし合わせ、実際に就業体験を行うことで、進路についての理解を深めます。国内に限らず、海外でのインターンシップも推進しています。インターンシップに参加、報告を行うことで、卒業単位として認定されます。



学生の声

共通教養での学びが、
自分自身のキャリアを考える
よい機会となりました。

国際総合科学部 国際都市学系2年
神奈川県 私立山手学院高等学校卒
山室 仁美 Hitomi Yamamuro

共通教養科目のひとつである「総合講義」では、国際連合や JICA、外務省、ベンチャービジネス創業者など第一線で活躍している方々のお話を聞く機会がありました。日本や世界の現状、問題点を多面的に学び、自分の興味・関心を明らかにすることが、自分のキャリアを考えるきっかけとなり、人間的な成長につながったと感じています。共通教養科目を通して学んだ知識を基盤に、「総合講義」で身に付けることができた問題発見から解決に至るまでのさまざまな手法を生かし、自分のタイムマネジメントから身近な組織運営、そして社会における課題解決へと少しずつ対象を広げていき、取り組んでいこうと考えています。



学生の声

共通教養でプレゼン能力、
柔軟な発想力など
幅広く学ぶことができました。

医学部 医学科2年
東京都 国立筑波大学附属駒場高等学校卒
西尾 祐紀 Yuki Nishio

前期に開講される教養ゼミでは、他学部の学生のさまざまな考え方にふれることができたのに加え、レポートのフォーマットについてのルールや伝わりやすいプレゼンテーションの方法などについて学ぶことができました。また、「生命のしくみを考える」「生命の機能」など医学を学ぶ上で不可欠な生物系の授業は、物理で受験した自分自身の知識の穴を埋める助けになり、生命へのさらなる興味がかきたてられました。教養ゼミで学んだ「読ませる」文章のルールや柔軟な発想力は、将来、臨床や研究の分野においても必要不可欠な要素であると考えています。共通教養科目で修得した幅広い知識を基盤にして、今後はさらに深く質の高い医学知識や高度な思考力を蓄えていきたいと思っています。

海外で学ぶ 海外で実践する

世界各国の大学・研究所等と国際的な交流を推進するYCUでは、その中の19の国・地域の大学と学生交流を実施し、学生間の交流を深めています。夏季または春季の休暇を利用した短期留学プログラムの他、長期派遣プログラムや交換留学プログラム、海外フィールドワーク支援プログラムなどがあり、毎年多くの学生が世界の各地で国際性を磨きながら成長しています。



YCUの国際交流ネットワーク

世界19ヵ国・地域の大学・研究所等とのネットワーク

ヨーロッパ

- イタリア
 - ベネチア大学
- オーストリア
 - ウィーン大学
- ドイツ
 - ゲーテ大学
- フランス
 - リヨン第3大学
 - パリ公立病院連合 (AP-HP)
- ルーマニア
 - ブカレスト大学

北アメリカ

- アメリカ
 - カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)
 - UCSD 海洋研究所 (Scripps)
 - サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所
 - テキサス州立大学MDアンダーソンがんセンター
 - ラホヤアレルギー免疫研究所
- カナダ
 - プリティッシュコロンビア大学 (UBC)
 - マニトバ大学

中南米

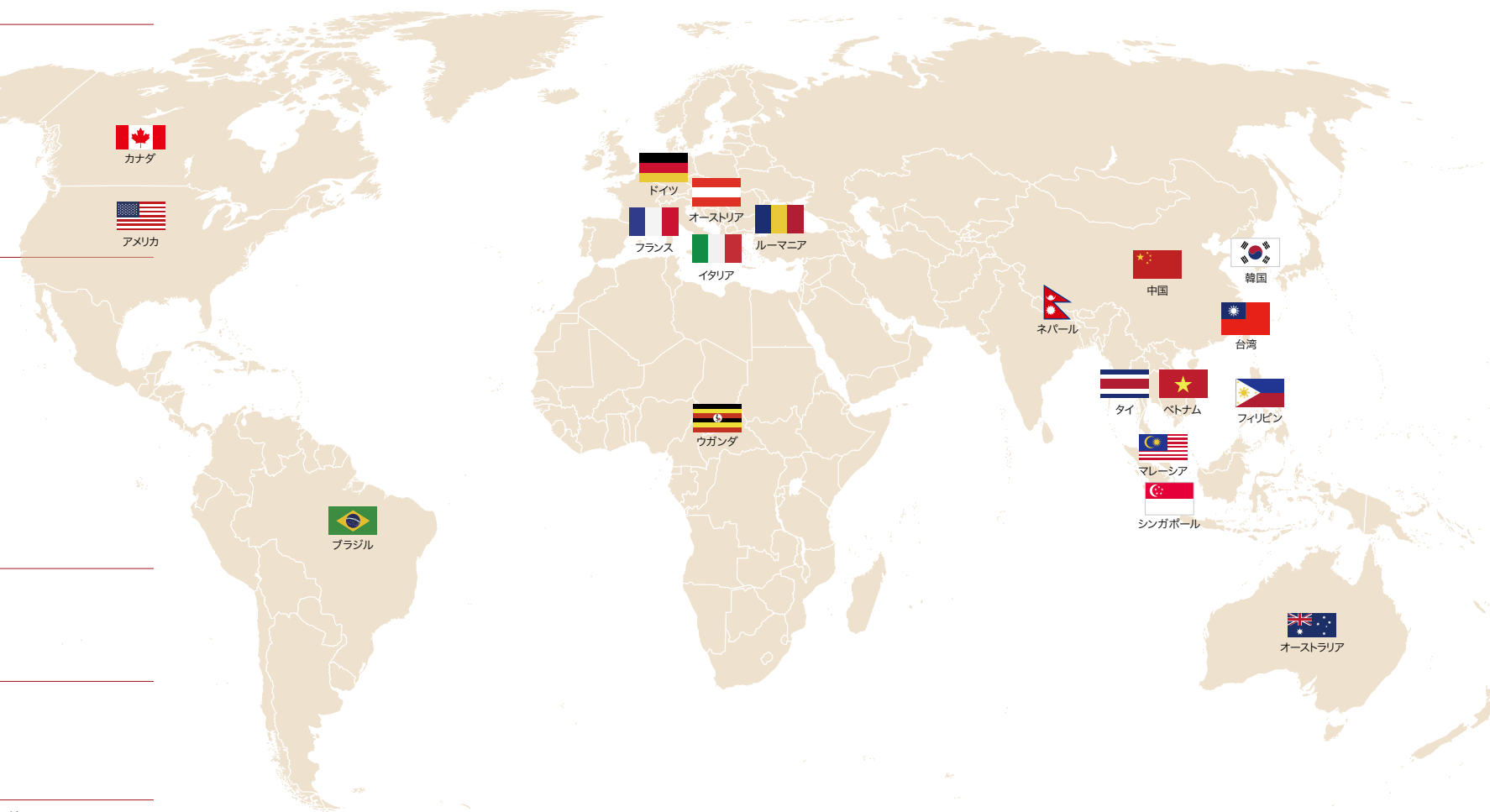
- ブラジル
 - リオグランデ・ド・スル連邦大学

アフリカ

- ウガンダ
 - マケレレ大学

アジア・オセアニア

- オーストラリア
 - ディーキン大学
- シンガポール
 - シンガポール国立大学
- タイ
 - タマサート大学
 - チェンマイ大学
- ネパール
 - クオバ工科大学
 - トリバン大学
- フィリピン
 - フィリピン大学
- ベトナム
 - 貿易大学
 - ベトナム国家大学ホーチミン市校
- マレーシア
 - マレーシア科学大学
- 中国
 - 上海師範大学
 - 上海交通大学
- 台湾
 - 台湾師範大学
 - 東海大学
- 韓国
 - 仁川大校
 - 世明大校
 - 光州科学技術院
 - ソウル国立大学
 - 浦項工科大学校
 - 高麗大校 (世宗キャンパス)



◎国際交流実績



地球規模の課題を海外の現場で学び、考え、分析し、解決する

■アカデミックコンソーシアム

YCUは、アジア各国のトップ大学と協働で都市の課題解決を目指す国際的な大学間ネットワーク「アカデミックコンソーシアム (IACSC※1)」を2009年に創設し、横浜市および JICA・アジア開発銀行 (ADB)・CITYNET等の国際的機関と連携しながらグローバルな研究や教育を推進しています。IACSCでは「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の3分野を中心に据え、①年次総会・国際シンポジウムの運営 (2017年度はタイ・タマサート大学で開催予定)、②国際共同研究の推進、③持続可能な都市づくり共通教育プログラム (SUDP※2) の実施、④JICA 革の根技術協力事業、⑤海外フィールドワークやサマープログラムによる国際学生交流、といった多岐にわたる活動を各国で展開しています。YCUの「グローバル都市協力研究センター (GCI※3)」は2011年に設立され、IACSC ネットワーク全体の事務局として上記の諸活動の企画立案、各加盟大学との交渉や調整、研究・教育プログラムの実施を担当しています。YCUの学生は、IACSCの活動に積極的に参加し、海外大学の学生との交流や現地での学びの機会を得ることで、国際化する社会で要求される行動力、交渉力、思考・分析力、発信力を身に付けています。GCIは、学生が国内や海外のフィールドに出て、都市の現場が抱える現状と課題に向き合い、新たな知識と経験を得て実践的に課題解決を目指すことのできるグローバル人材の育成を支援していきます。

※1 IACSC: International Academic Consortium for Sustainable Cities
 ※2 SUDP: Sustainable Urban Development Program
 ※3 GCI: Global Cooperation Institute for Sustainable Cities

【アカデミックコンソーシアム (IACSC)】



- 【主な参加大学・協力機関等】※ 総会・国際シンポジウム開催校
- ・マレーシア科学大学 *
 - ・タマサート大学 (タイ) *
 - ・フィリピン大学 *
 - ・ベトナム国家大学 *
 - ・ハサヌディン大学 (インドネシア)
 - ・横浜市
 - ・独立行政法人国際協力機構 (JICA)
 - ・公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)
 - ・アジア太平洋都市間協力ネットワーク (CITYNET)
 - ・アジア開発銀行 (ADB)

短期・長期・交換 留学プログラム

YCUの留学プログラムは、
外国の文化、言語、自然、社会等に関する知識を修得し、
現地での交流を通して豊かな国際感覚を
養うことを目的としています。

■ 短期留学プログラム【全学年対象】

夏季・春季の休暇期間などを利用して参加するプログラム。
渡航先・言語・プログラム内容から選ぶことができます。

(2017年度参考)

名称	国名	留学先大学等	参加要件	プログラム期間	費用
夏季語学研修	オーストラリア	ディーキン大学	TOEFL-ITP480以上またはTOEIC600以上	8月中旬より約4週間	45~60万円
	イギリス	サセックス大学	TOEFL-ITP500以上またはTOEIC600以上	8月初旬より約3週間	45~60万円
	イギリス	アングリア・ラスキン大学	TOEFL-ITP500以上またはTOEIC600以上	8月初旬より約3週間	45~60万円
	カナダ	サイモンフレーザー大学	TOEFL-ITP500以上またはTOEIC600以上	8月初旬より約4週間	45~60万円
	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	TOEFL-ITP500以上またはTOEIC600以上	8月下旬より約3週間	45~60万円
	アイルランド	ダブリンシティユニバーシティ	TOEFL-ITP500以上またはTOEIC600以上	8月中旬より約4週間	45~60万円
	フランス	トゥーレーヌ語学学院	フランス語初級程度	8月初旬より約4週間	45~60万円
春季語学研修	アメリカ	UCSD 春季アカデミックスキル研修 (カリフォルニア大学サンディエゴ校)	TOEFL-ITP500以上またはTOEIC600以上	2月中~下旬より約4週間	45~60万円
	カナダ	ビクトリア大学	TOEFL-ITP500以上またはTOEIC600以上	3月下旬より約4週間	45~60万円
	アイルランド	ダブリンシティユニバーシティ	TOEFL-ITP500以上またはTOEIC600以上	2月中旬より5週間	45~60万円
	中国	上海師範大学	中国語初級程度	2~3月より約4週間	30万円
夏季講座	アメリカ	UCSD (カリフォルニア大学サンディエゴ校)	TOEFL-iBT90以上 (TOEFL-ITPは受付不可) / IELTS 7.5以上 等	8月初旬より約5週間	130万円
	アメリカ	UCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校)	TOEFL-iBT79以上 (TOEFL-ITPは受付不可) / IELTS 6.5以上 等	8月初旬より約6週間	100万円

■ 長期留学プログラム【出発時に学部2年以上】

(2017年度参考)

国名	プログラム名	参加要件	プログラム期間	費用
アメリカ	ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム	PE取得以上 / TOEIC600相当以上 (他の英語力試験において相当であれば選考対象)	2月~8月 / 8月~1月 (年2回派遣)	100~200万円
オーストラリア、 アメリカ、イギリス等	ブリッジプログラム (語学+学部授業)	TOEFL-iBT61以上または、IELTS5.5以上	2,3月または4月より1年	300~500万円
アメリカ、カナダ イギリス等	セメスター留学 (学部授業)	TOEFL-iBT71以上または、IELTS6.0以上 但し派遣先による	8月~9月より半年または1年	350~950万円

■ 交換留学プログラム【出発時に学部2年以上】

大学間の協定に基づき派遣される交換留学プログラム。
姉妹都市等に所在する10大学から選ぶことができます。

(2017年度参考)

国名	留学先大学等	参加要件	プログラム期間	費用
タイ	タマサート大学	TOEFL-iBT61以上または、IELTS6.0以上	8月中旬より1年	80万円
マレーシア	マレーシア科学大学	TOEFL-iBT61以上または、IELTS5.5以上	8月下旬より1年	70万円
中国	上海師範大学	応募書類、面接で確認	9月初旬より半年または1年	110万円 (1年間の場合)
台湾	東海大学	中国語: 面接で確認 英語プログラム: TOEFL-iBT61以上または、IELTS5.5以上	9月中旬より1年	90万円
韓国	仁川大学校	応募書類、面接で確認	8月下旬または2月下旬より 半年または1年	80万円
韓国	高麗大学校 (世宗キャンパス)	韓国語: 面接で確認 英語プログラム: TOEFL-iBT61以上、IELTS5.5以上	9月より1年	70万円
イタリア	ベネチア大学	TOEFL-iBT71以上または、IELTS6.0以上	9月初旬より1年	150万円
フランス	リヨン第3大学	応募書類、面接で確認	8月下旬より1年	160万円
オーストリア	ウィーン大学	応募書類、面接で確認	3月初旬より1年	160万円
ドイツ	ゲーテ大学	詳細はWebサイトで確認してください。	9月下旬より1年	150万円

※経費概算は2016年11月8日の為替レートにもとづく旅費・保険等を含んだ目安です。



長期留学体験者インタビュー

留学先: アメリカ合衆国 (アメリカン大学 2016年8月~12月)

将来の夢に一步近づくことが できたと思います。

国際総合科学部 国際都市学系 グローバル協力コース4年
長野県上田築谷丘高等学校卒

高橋 真理奈 Marina Takahashi

「国籍や宗教の異なる学生と議論し、英語力と論理的思考力を伸ばしたい」「海外で生活することで行動力を身に付けたい」と思い、アメリカ留学を決意。留学先では、グローバル経済を学び経済政策の役割と理論について学びました。また、国際教育 NGO でインターンを経験し、国際協力に携わりたいという将来の夢に一步近づくことができました。留学先で世界の優秀な学生に出会ったことも、大きな刺激です。卒業後は、英語と専門分野の勉強を深めるため、海外に進学することを検討しています。留学で身に付けた、どんな環境でも挑戦できる強さを武器に、今後も自分を成長させていきたいと思っています。



短期留学体験者インタビュー

留学先: オーストラリア (ディーキン大学 2016年8月~9月)

異文化経験から、困難を乗り越える 強さを身に付けました。

国際総合科学部 理学系 生命科学コース4年
愛知県 私立名古屋高等学校卒

村瀬 賢十 Kento Murase

高校時代、海外のサッカーやドラマに夢中になり、大学では留学したいと考えていました。入学後は勉強や部活が忙しく、一度はあきらめました。「留学に挑戦できるのは今が最後のチャンス」と思い、参加しました。留学先では、最初は思うように言葉が通じず、殻に閉じこもりがちでしたが、自分を奮い立たせて積極的にホストファミリーに話しかけることで、徐々に会話が通じるようになり、力がついてきたことを実感しました。短期留学を経て、「物事をネガティブにとらえず積極的、自発的に行動すれば、困難なことでも乗り越えられる」ということを学びました。将来は、海外で働くことに興味を持つようになったのも大きな変化です。



海外フィールドワーク 支援プログラム

YCUでは、国際的な視野を持った人材を育成するために、海外での実践的な教育活動を支援する「海外フィールドワーク支援プログラム」を行っています。授業の一環として実施する、海外での実践的な教育研究活動を支援するため、経費の経済的補助を行っています。

■ 海外フィールドワーク支援プログラム一覧

より実践的な教育研究活動ができるように各学部、コース・学科・専攻によって異なるフィールドワークがあり、それぞれプログラム期間は異なります。(2016年度参考)

学部 研究科	コース・学科・専攻	科目名	渡航先	概要
国際総合科学部	共通教養	ドイツ語教養基礎Ⅱ、教養実践、中級	オーストリア(ウィーン)	ドイツ語の背後にある豊かな歴史文化と出会い、ヨーロッパへの理解を深める。
		Advanced Practical English I~V	台湾(高雄)	台湾 文豪外語大学の学生との意見交換、現地の方との交流や文化遺産訪問などを通じ、異文化体験・交流を行う。
国際総合科学部	国際文化コース	演習Ⅲ(イギリス文学・イギリス文化論)	イギリス(オクスフォード、ロンドン)	文学作品に関わる資料や情報を収集し、ナショナル・トラストの管理する環境保護区域や文化財を訪問調査する。
		演習Ⅰ・Ⅱ	中国(北京)	中国国家博物館など見学を通じ、古代の文物や漢字の遺物について学ぶ。また、北京師範大学で中国人教授の講義を聴講し、中国人学生と交流する。
		演習Ⅱ・Ⅳ、卒論演習Ⅱ(フランス文化)	フランス(パリ、ヴェルサイユ、リヨン)	フランス文化に触れ、フランス語圏の生活のなかでフランス語を使う機会を得る。また、絵画や舞台芸術、歴史的建造物を通して、フランスが培ってきた豊かな文化遺産とヨーロッパの歴史を体験的に理解するきっかけを作る。
	地域政策コース	演習Ⅱ・Ⅳ、卒論演習Ⅱ(青ゼミ、大島ゼミ、大塚ゼミ、影山ゼミ、木村ゼミ、廣田ゼミ)	スウェーデン(ウプサラ、ストックホルム)・ラトビア(リガ)	先進的環境取組の現状や自然災害に強い街づくり、再生可能なエネルギーの導入経緯と実績等について、政府機関、地方自治体、大学等を訪問し、現状把握及び意見交換を行う。
		グローバル協カコース	海外調査実習C(国際協力)c	ベトナム(ハロン、ハノイ)
	海外調査実習C(国際協力)b		カンボジア(シェムリアップ、プノンペン)	パリ和平合意後において国際社会や我が国がカンボジアの国家再建に果たしてきた役割を、実際のプロジェクト視察や関係者との意見交換を通じ理解する。
	海外調査実習C(国際協力)a		ウガンダ(カンバラ、バララ、ムプロ)	開発援助における政府と民間の役割や課題を総合的に理解する。また、観光開発を通じた雇用創造や産品開発、地域波及効果を検証する。
	海外調査実習B(国連)		アメリカ(ニューヨーク)	国連の現場たるニューヨークに赴き、具体的な政策形成や活動を行っている国際機関や国連代表部、国際 NGO の方々の話を聴き、議論を深める。
	経営学コース	演習Ⅰ・Ⅲ、卒論演習Ⅰ	フィリピン(セブ)	現地で開催される「益踊り(日本祭)」に出店する。疑似的に会社を設立し、事業計画を作成する等、現地メンバーと共同での会社経営を通じ、この一連の実践的な学びの場から「グローバル人材の育成」を目指す。
		演習Ⅲ	ベトナム(ホーチミン)、タイ(バンコク、サムットプラカーン県)	ベトナム社会主義共和国に進出している日系企業へのヒアリング調査を通じて、国際的な観点から人的資源管理や経営組織論を学ぶ。また、タイの現地大学と学生間交流を行う。
演習Ⅰ・Ⅲ、卒論演習Ⅰ		ラオス(ビエンチャン)、タイ(バンコク)	新興国における日系企業のオペレーションを見学し、アジアにおける現地化の実態を学ぶ。また、タイのチュラロンコン大学を訪問し、現地学生と交流し現地消費市場にかかる実態調査を行い、レポートを作成する。	
演習Ⅰ・Ⅲ		アメリカ(ニューヨーク)	米国のサービスビジネスや商業施設、コロンビア大学、NY大学等を訪問し、セミナー参加やビジネス専攻の学生と交流し、現地で調査研究を行う。デロイト社、ギャップ社を訪問し、最先端のビジネスを学ぶ。	
演習Ⅲ、卒論演習Ⅰ(財政学)		韓国(ソウル、仁川、水源)	サムスン電子、行政自治部(日本の自治省に相当)、ローファームなどの見学を行い、韓国の代表企業や韓国経済への理解を深める。	
生命環境コース	資源生物利用学、総合講義「地球環境と生命」	メキシコ(メキシコシティ、テスココ、カンクン)	国際トモロコシ小麦改良センター、INIFAP(メキシコ国)にて、栽培植物の起源地での遺伝子多様性、乾地農業地域の環境と育種、食安全に関するフィールド研修を行い、国際舞台で活躍する研究者、国際人材の姿を体感する。	
	看護学科	看護の統合と実践Ⅲ	ブラジル(南リオグランデ州)	在伯日系永住者を対象とした生活習慣病予防のための巡回診療健診に参加し、日本語による健診・保健指導ならびに地域特性を把握することにより、医療機関へのアクセスが制限された地域保健医療のあり方について学ぶ。
国際看護学Ⅰ		フィリピン(イロイロ)	JICA やセントラルフィリピン大学附属病院、地域保健医療施設等の訪問を通じて開発途上国における母子保健の現状について体験し、学生の医療人としての視野拡大に役立てる。	
生命科学部	物質システム科学専攻	国際リトリート	台湾(台北)	国立台湾大学・国立台湾師範大学にて学生同士の研究交流ワークショップを開催し、各々が15分程度の研究発表を行い議論する。後に個々の専門に沿った研究室を訪問し、今後の発展について話し合う。
生命科学部	生命医科学専攻	生命医科学特別演習	韓国(光州、浦項)	光州科学技術院(GIST)との研究交流による学生の国際化を図る。また、研究発表や専門分野に沿った研究室訪問を行い、韓国放射光施設 PLS の見学では、韓国最先端の研究者による研究体験を行う。



海外フィールドワーク参加者インタビュー

渡航先:ラオス(ビエンチャン)・タイ(バンコク)

自分の目で見て感じることで、考え方が変わりました。

国際総合科学部 経営科学系 経営学コース4年
長野県諏訪清陵高等学校卒

森口 直人 Naoto Moriguchi

企業の海外進出やグローバル経営について学ぶ中で海外フィールドワークに参加し、日本企業がラオスに持つ縫製品工場や衣服品工場を訪問しました。約1週間の実習では、工場でのオペレーションを見学した他、現地にあるタイの企業訪問や学生との交流も行いました。インターネットで手に入る情報と、実際に自分の目で見て感じることは大きく異なります。その一つが工場見学で、企業が抱える問題においても、海外と日本では性質が全く異なっていました。自ら海外に足を運んだことで、考え方や知識の幅を広げることができると実感しました。将来は、海外で働くことも視野にいれながら、就職活動を進めていきたいと思っています。



海外フィールドワーク参加者インタビュー

渡航先:中華人民共和国(北京)

もっと異文化への理解を深めたいと思いました。

国際総合科学部 国際教養学系 国際文化コース4年
東京都私立東京都市大学等々力高等学校卒

角田 志穂 Shiho Tsunoda

ゼミで中国・六朝時代の怪異について記された六朝志怪小説を読み、道観(道教の道士が住み、修行する建物)に興味をもち、海外フィールドワークに参加しました。小説に出てくる神様が実際に祀られている道観は、とても興味深いものでした。異文化に触れるなかで「もっと中国語を勉強したい」と思い、中国語検定3級にチャレンジして合格。今後もレベルアップをしていきたいと思っています。わざわざ海外に足を運ばなくても勉強はできますが、現地の空気や文化を直接肌で感じることで新しい視点に気づき、考えを深めることができます。YCU では異文化に触れる機会がたくさん提供されているため、ぜひ積極的に参加してほしいと思います。



国際総合科学部

International College of Arts and Sciences

国際的な視野と柔軟で創造的な思考を育てる

ますます複雑になる現代社会の課題に応じて、より高度な専門性が求められます。そして課題の解決には、自らの専門性の立ち位置を理解し、総合的な視点から問題をとらえる能力が必要です。国際総合科学部の専門教養科目は、こうしたニーズに応えられるように構造化されています。

国際総合科学部が求める学生像

- 自ら積極的に物事に取り組み、論理的に思考し、発信できる人
- 国際的に活躍できる語学力や、豊かな教養を求める人
- 専門性を身に付けて、それを将来に生かしたい人

■学部の特徴

領域横断型プログラム

国際総合科学部生は、共通教養の学修を基盤にして、国際教養学系、国際都市学系、経営科学系、そして理学系の4学系に分かれて専門性を究めています。専門性を究めるということは、ともすると視野が狭まってしまいうという側面があります。そこで、本学部の総合性を生かし、広範な視野を備えた人材を育成するための「領域横断型プログラム」が設けられています。所定の科目を履修した場合には、修了証が交付されます。2017年度においては、①YCUグローバル・スタディーズ・プログラム、②サービス・ビジネス人材育成プログラム、③医療イノベーション経営管理人材育成プログラム、④起業家育成プログラム、⑤地域実践プログラム、⑥理数マスター育成プログラムを実施しています。

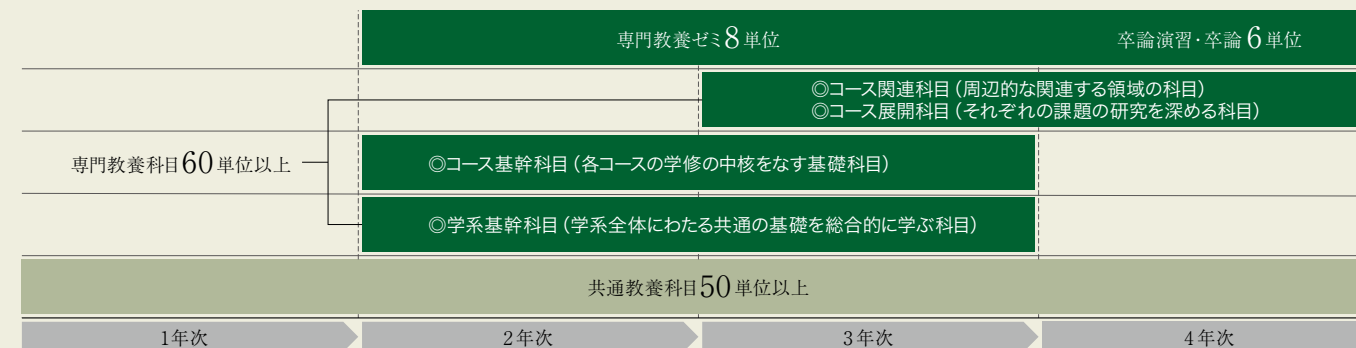
学系およびコースへの配属条件科目

2年次の学系・コース進級の際には、共通教養の「専門との連携科目：基礎科学講義」の中からそれぞれの学系での学修の前提となる一定の科目を履修していることが求められます。入学した学系と異なる学系のコースへの進級を希望する学生も、希望する学系の進級前提科目の単位取得が条件になります。また、それぞれの学系には定員があります（受け入れ上限人数を超えた場合には成績による選抜を行います）。希望する学系の進級前提科目の単位を取得しても、希望する学系へ進級できるとは限りませんので、入学試験の際に、どの学系を選択するか十分検討してください。

「ゼミ」で力を身に付ける

2年次のコース配属と同時に理学系以外の学系では、学生はすべていずれかのゼミに所属し、少人数による演習の授業が始まります（基礎学修に一定の時間を必要とする理学系では3年次になってからゼミ配属に相当する研究室配属が行われます）。4年次の卒論演習（理学系は卒業研究）で卒業論文にまとめあげます。全員必修の卒業論文にはコースごとに判定基準を設け、学位の質を担保しています。また、教員が「担任」となり学生をサポートする体制を構築しています。ゼミや研究室の教員が担任となり、大学生活の過ごし方や学生の研究・学修指導、また、卒業後の進路等の相談など、学生の学びとキャリア形成をサポートしています。

■4年間の学びのイメージ



Message from the Dean

4年後の君たちへ ～時代の先を読み、ビジョンを示せるリーダーであれ～

国際総合科学部長
中條 祐介 Yusuke Nakajo ■ 会計学

政治、経済、テクノロジーそして、文化、社会を構成するさまざまな側面で大きな変化が起きています。不安定化した社会においては、過去の経験を踏襲するだけでは正しい航路をとることができません。現在の日本では、時代の先を読み、ビジョンを示せるリーダーが求められています。われわれは、そんな人材を育成したいと考えています。キーワードは「共通教養×専門教養×国際性」。さまざまな文化や価値観が衝突するグローバル社会を生き抜くためには個を確立することが重要で



す。そのために、まずはさまざまな見方や考え方を身に付けましょう。そういった場が共通教養です。次に特に興味のある分野を深く探究し、専門性を研ぎ澄ます場が専門教養です。これに英語力の強化と国際経験を通じてグローバルな視点を養いましょう。これら3つの要素は相乗効果を発揮します。つまり、皆さんの能力を掛け算で引き出すことになるのです。皆さんと勉強できることを楽しみにしています。

国際教養学系

- 人間科学コース
- 社会関係論コース
- 国際文化コース

国際都市学系

- まちづくりコース
- 地域政策コース
- グローバル協力コース

経営科学系

- 経営学コース
- 会計学コース
- 経済学コース

理学系

- 物質科学コース
- 生命環境コース
- 生命医科学コース

国際教養学系

- 人間科学コース
- 社会関係論コース
- 国際文化コース

◎学位：学士（国際教養学）



人間から、世界が見えてくる

グローバル化が進む世界において、人間とその社会的・文化的活動を総合的に理解するためには、身体・心理・社会・文化・価値など幅広い知識を修得し、多角的な視点で諸問題にアプローチする必要があります。また、多様な言語・宗教・民族・価値観をもつ人々が共存する現代の国際社会では、人々が直面する問題を発見し、

解決策を探れるような多面的な思考力やコミュニケーション能力も求められます。国際教養学系では、こうした能力を身に付け、世界のさまざまな文化と価値観に共鳴するとともに、人間を総合的に理解した上で多様な人間が共生できる社会を形成する人材を育成します。

国際教養学系専門科目一覧

	人間科学コース			社会関係論コース			国際文化コース		
学系基幹科目 (4単位選択必修)	人間科学論 社会関係論 国際文化論								
コース基幹科目 (16単位選択必修)	現代哲学 現代倫理学 心理学	精神分析 身体科学 文化人類学	発達心理学 現代教育論	社会学 社会福祉論 現代社会学	多文化社会論 日本社会史 欧米社会史	アジア社会史 経済社会学 コミュニケーション論	エスニシティ文化論 比較文化論 言語学	日本語文学 文化交流史 日本文化史	文芸批評論 表象文化論
コース展開科目 (28単位選択必修)	現代の人間論1・2 生命倫理学 Topics in Moral Philosophy 社会思想 文化生態学A・B 東洋思想A1~A3 パーソナリティ心理学 ロール・プレイング 臨床心理学 社会心理学	心理学実験法 心理学観察法 心理学調査法 身体健康論 スポーツ文化論 生体人類学 身体情報論 身体文化論 身体運動論 トレーニング科学A・B 日本思想史	西洋思想 現代思想 宗教学 東洋思想 B オルタナティブ教育論 生体人類学 Language in the World: Developmental Psycholinguistics Medical Anthropology1・2	社会学 現代日本社会論1~3 現代日本の社会問題 社会言語学1・2 Elements of Prose 文化社会学1~3 国際経済社会学 国際人権法A・B 国際法A・B 東南アジア社会学 東南アジア史 ヨーロッパ史 A1・A2, B1・B2 ヨーロッパ社会史1・2 都市発達史 日本近代社会史A・B	地域福祉論 世界の福祉 福祉NPO論 障害者福祉論 アメリカ社会A・B ヨーロッパ社会 南アジア社会学A・B 芸術社会学 南アジア社会学 国際社会学 中東社会学 アフリカ社会学 ラテン・アメリカ社会学 アメリカ社会学 東南アジア 経済学 現代韓国朝鮮社会学A・B ナショナリズム論 高齢社会学A・B	情報社会学A・B アジア近現代史 東アジア社会学 歴史学 ジェンダー論 家族社会学A・B 日本史 世界史 社会学1・2 東南アジア EU資料 経済学 国際政治学 海外事情	移住とアイデンティティ1・2 フィールド研究 中国古典文化 東洋文化 中国文化論A・B 英語意味論 英語構文研究1・2 演劇文化論 イギリス文学A・B メディア英語 イギリス文化論 都市文化論A・B 比較言語学A・B Literary Criticism1~3 アメリカ文学1~3 フランス文化論A1・A2, B1・B2	日本古典文学論 近代日本文化論A・B アジア文化史 アジア研究A1・A2, B1・B2 日本文化論A・B 日本の文化遺産 Japanese Literature in English A・B Explication of American Literary Text A・B European Culture in English Literature in English A・B Elements of Fiction Global Issues	音楽文化論 現代美術論 翻訳文化論A・B ドイツ文化論 ロシア・東欧の文化 アメリカ文化論 日本表象文化史 日本の古典文化 映像文化論 西洋文化論A・B 英米言語文化A・B 外書講読 中国古典
コース関連科目 (12単位選択必修)	学系基幹科目、コース基幹科目、展開科目の必要単位数を超えて修得した科目 国際都市・経営科学系の一部科目 語学演習								
専門教養ゼミ (全科目8単位必修)	演習 I~IV								
卒論演習・卒業論文 (全科目6単位必修)	卒論演習 I・II 卒業論文								

人間科学コース Department of Human Sciences

人間を心と体、価値、発達の側面から多角的に考察します。



コースの特徴

- 人間の心のメカニズムについて学ぶ
- これからの社会の人々の生き方・価値観を考える
- 身体のメカニズムから健康・スポーツを考える
- 人間の発達や成長について学ぶ

「人間」を知るには、人間の心と体、価値、発達に関する考察が必要です。

人間科学コースでは、人間の身体的構造、心理的メカニズム、価値判断の問題、

成長・発達・教育などについて、原理的・実践的に考察を深め、新たな社会を築く視座と能力を身に付けた人材を育てます。

そのために哲学、心理学、精神分析、身体科学、教育学などの分野の科目を置いています。

学生の声

心理学など多角的な視点から“人間”について探求しています。

人間科学コース3年
鈴木 萌乃香 Honoka Suzuki 神奈川県 私立日本大学高等学校卒

学系にとらわれず幅広く学べるところ、自分の夢や目標の実現に向けて思い切り頑張れるフィールドがあるところから、YCUを選びました。人間科学コースでは、心理学や社会学、教育学など多角的な観点から“人間”について探求しています。講座形式の授業だけでなく、ディスカッションやグループワークの授業もあり、主体的に学ぶことができるのが魅力です。今後は、YCUでの多角的な学びを生かしてボランティア活動やインターンシップに挑戦し、多様な背景をもつ人々と交流したいと思っています。



2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	イギリス文学B	—
2時限目	現代教育論	英米文化理解	—	心理学	—
3時限目	現代哲学	Elements of Fiction	英米言語文化B	教育課程論	道徳教育論
4時限目	—	—	現代社会学	スポーツ文化論	ゼミ(演習II)
5時限目	—	—	Literary Criticism	—	—

人間科学コースの卒論テーマ例

- 大学生の主観的幸福感とその社会的要因の探索
- 人はなぜ化粧をするのか
- 胸式呼吸と腹式呼吸が発生の音圧と音程に与える影響

■ 社会関係論コース Department of Social Relations

日本と外国における社会的諸問題にアプローチします。



コースの特徴

社会的な視点から現代の諸問題をとらえ、解決策を考えることができる人材を育てます。
 社会を歴史的経緯を含めて構造的に理解し、格差社会や貧困化・人権問題・ナショナリズムなど、さまざまな社会現象をタブーに臆することなく取り上げます。
 社会理論、多文化社会論、日本・欧米社会史、社会福祉論、コミュニケーション論などの領域の科目があります。

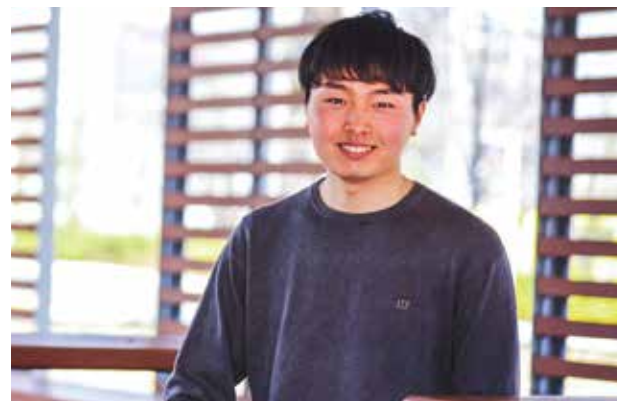
- 社会の諸問題の構造を知り、その解決に取り組む
- 社会問題を歴史的背景から理解し、その本質を的確に把握する
- 社会がどのように変化しているのかを知り、これからの社会を考える
- 日本と外国の社会を比較する中で、社会問題の解決策を探る

学生の声

幅広い分野の授業を通して「当たり前」とらわれない視点を養っていきたいです。

社会関係論コース3年
 坂本 雄太郎 Yutaro Sakamoto 静岡県立藤枝東高等学校卒

幅広く学問を学べること、留学プログラムが充実していることからYCUを選択しました。授業では、社会学や歴史学などの視点から現代社会の様相を読み解くことでその問題点を指摘したり、解決策について構想する能力を養っています。所属するゼミでは、SNSなど身近なテーマに焦点を当て、そこに潜む危険性や可能性について検討しています。幅広い分野の授業を受講していくことで、世の中の「当たり前」とらわれないことなきさまざまな視点から考察できるようになりたいと思っています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	パーソナリティ心理学	—
2時限目	—	比較文化論	家族社会学B	心理学	Elements of Prose
3時限目	—	社会理論	現代日本社会論2	障害者福祉論	現代日本社会論演習II
4時限目	—	日本社会史	現代社会論	スポーツ文化論	—
5時限目	—	—	—	—	—

社会関係論コースの卒論テーマ例

- 社会の変容とともに現れたニューホームレスの福祉
- テレビCMにおいて「好感度」とはどれほど重要なのか
- 地方創生～将来のあるべき姿とは～

■ 国際文化コース Department of Arts and Culture

世界の諸文化をさまざまな視点から考察し、国際理解を深めます。



コースの特徴

日本文化と比較しながら世界の多様な文化への理解を深め、国際化時代における人間の在り様を探究できる人材を育成します。
 エスニシティ文化論、比較文化論、文化交流史、日本文化史、言語学などの分野について幅広く学べます。
 翻訳・評論・演劇などに関わる教員も多く、創造の世界に触れることも可能です。

- 文化の違いを理解して、世界の人々との相互理解に貢献する
- 外国語をその背景となる文化・歴史から理解する
- 日本と外国のさまざまな文学作品に触れて、世界の人々の考え方や生き方を知る
- 世界のさまざまな文化を学び、文化交流に取り組む

学生の声

身近なところにこそ異文化理解の場があることに気づきました。

国際文化コース3年
 車 榛子 Haruko Kuruma 神奈川県立鎌倉高等学校卒

国際文化コースでは、自分と異なる文化背景や慣習を持つ人を受け入れる難しさだけでなく、人々が直面する社会制度や経済的困窮など、各国の地域文化を掘り下げて学んでいます。YCUの魅力は、教員と学生の距離が近いことに加えて、地域に結びついた学びができることです。ゼミでは横浜・川崎地区の在日外国人について学んでいて、身近なところにこそ異文化理解の場があることに気づきました。今後はこれまでに培った多角的な文化背景を考える視点を生かしながら、地域の問題解決のために力を尽くしていきたいと考えています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	Explication of American Literary	—	—	パーソナリティ心理学	—
2時限目	現代教育論	演習II	外書講読(社会学1)	移住とアイデンティティ1	—
3時限目	日本の文化遺産	社会理論	身体科学	—	—
4時限目	—	日本表象文化史	現代社会論	—	—
5時限目	—	—	—	—	—

国際文化コースの卒論テーマ例

- 入浴の歴史にみる日本の温泉～大衆化する入浴施設～
- 日本独自の感性「かわいい」—価値観から文化まで—
- 文学における人間の「成長」の描かれ方

国際都市学系

- まちづくりコース
- 地域政策コース
- グローバル協力コース

◎学位：学士(学術)



都市・地域・世界の課題に、「実践力」で挑む

グローバルな知識と学問的な洞察力を備えつつ、現代的な課題に応える国際社会・都市社会を構想し、地域やコミュニティの問題について解決策を導き出せる人材を育成します。社会科学・空間科学・地域研究などの諸分野から、国際社会理解、都市社会理解、多文化理解へとつながる幅広い知識と教養を蓄えるための

カリキュラムを構築し、それらを社会の具体的な問題に応用することが可能です。また、フロンティア精神や起業マインドを身に付け、鋭敏な感覚をもって課題を「発見」し、諸問題の状況を積極的に「調査」し、得られた知見を綿密に「分析」して「考察」という、一連の知的なプロセスを修得することもできます。

国際都市学系専門科目一覧

	まちづくりコース	地域政策コース	グローバル協力コース
学系基幹科目 (2単位選択必修)	国際社会と都市を考える		
コース基幹科目	都市計画論、景観まちづくり論、市民まちづくり論、都市解析、都市デザイン論、都市防災計画論などから14単位選択必修	比較社会システム論、地球環境政策論、地方自治論、都市の経済と政策、グローバル地理学、都市財政論などから10単位選択必修	グローバル協力論、グローバル政治論、グローバル経済論、地域開発論、アジア近現代史などから14単位選択必修
実習	まちづくり実習Ⅰ・Ⅱ(16単位必修)	実習A～E(4単位選択必修)	海外調査実習A～C、地域調査実習A・B(4単位選択必修)
コース展開科目	不動産マネジメント論、都市と農、中心市街地活性化のまちづくり、地域情報化とまちづくり、まちづくりのための調査法、環境ビジネス・資源循環論、地域CSR論、産業政策論、比較地方自治、ヨーロッパの地域政策、国際法、アメリカ社会、中東社会論、アフリカ社会論、特講(グローバル社会論)などからコースごとに指定された単位数を選択必修		
コース関連科目	他学系の科目のうちコース関連科目として指定された科目や必要単位数を超えて修得したコース展開科目(コースにより必要単位数が異なります)		
専門教養ゼミ (全科目8単位必修)	演習Ⅰ～Ⅳ		
卒論演習・卒業論文 (全科目6単位必修)	卒論演習Ⅰ・Ⅱ 卒業論文		

まちづくりコース Department of Urban and Community Planning

都市が抱える課題に対し、具体策を提案できる人材を育てます。



コースの特徴

- まちづくり・都市計画・都市デザインを学ぶ
- 具体的な都市の諸課題を解決する
- 地理情報システムやプランニングに関わる手法を身に付ける
- 公務員や不動産などの民間企業でまちづくりの実践者を目指す

横浜という「まち」を実践のフィールドとして、時代の変化に対応した都市の姿を構想し、プランニングや都市デザインを通して都市の課題の解決に貢献できる人材を養成します。安全で住みやすい「まち」、環境に配慮した持続可能な「まち」など、豊かな将来を市民参加で築いていくためのプランニング手法を実習やフィールドワークを通して身に付けていきます。

学生の声

地域の抱える課題を都市デザインや都市整備というまちづくりの現場目線と考えています。

まちづくりコース3年

中村 賢司 Kenji Nakamura 茨城県 私立茗溪学園高等学校卒

YCUを選んだ最大の理由は、都市デザインや空間デザイン、都市整備に興味があったためです。授業では、地域で抱えるまちの課題を考える実習を行ったり、開港都市・横浜の地でフィールドワークを重ねることにより、まちづくりについて楽しく実践的に学ぶことができます。YCUのある金沢区(横浜市)の魅力を発信するイベントを企画・運営するなど、積極的にまちづくりに関することを現場で学んでいます。将来は、これらの活動の延長として、地域の方々に寄り添い、まちを活性化できるような職種に就き尽力したいと考えています。



2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	環境計画論	—	—	まちづくりのための調査法
2時限目	—	—	都市デザイン論	—	—
3時限目	—	—	地域CSR論	特講(寄附講座: 中小企業のCSR)	—
4時限目	—	まちづくり実習Ⅰ	演習Ⅱ(ゼミ)	特講(寄附講座: 環境経営の最先端)	まちづくり実習Ⅰ
5時限目	—	まちづくり実習Ⅰ	—	—	まちづくり実習Ⅰ

まちづくりコースの卒論テーマ例

- 高齢者の暮らしやすいまちづくり
—横浜市におけるデジタル放送を活用した高齢者見守り事業の可能性の検討—
- 都市部における買い物難民の発生要因
—横浜市保土ヶ谷区・旭区を事例に—
- 孫世代とシニア世代の日常的外出と地域交流に関する研究
—金沢シーサイドタウンを事例に—

■ 地域政策コース Department of Urban and Regional Policy

地域の問題に政策面から提言できる能力を身に付けます。



コースの特徴

- 都市・地域の問題を解決する
- 都市・地域に関する学問を幅広く学ぶ
- 都市・地域を元気にし、故郷の窮状を解決する施策を学ぶ
- 公務員や起業家などを目指す

少子高齢化や環境問題、新たな産業の創出など、都市はこれまでにない問題の解決を迫られています。情報や物があふれる現代に本当に豊かな暮らしを実現する、そうした将来の展望をどのように描いていけるのか。「地域」が直面するさまざまな課題を的確に把握し、その解決に必要な方策を提言できる人材を養成します。

学生の声

海外研修に参加できる機会も多く、現地に足を運び世界を感じることができます。

地域政策コース3年
古塚 未佳 Mika Kozuka 山形県立長井高等学校卒

現在、世界の環境政策について勉強しており、海外研修に参加できる機会も多いため、ワークショップやディスカッション、英語の資料読解や活動発表など英語は欠かせません。当初は、第二・第三外国語を生かして他の専門分野を学びたいと考えていたため、YCUでは、1年次に第三外国語を学び、自分の興味のある分野を見極めることもでき、2年次からそれらを深める余裕もあるなど、大変学びやすい環境があります。社会に出るにあたって、海外研修やゼミのグループワークを通して積んだ経験を存分に発揮していきたいと思っています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	—	—
2時限目	—	—	環境教育論	—	グローバル地理学
3時限目	ディスコース研究	不動産マネジメント論	地域CSR論	—	—
4時限目	心理学入門b	特講(寄附講座:ファッションビジネス)	—	—	特講(日本外交論B)
5時限目	—	特講(キャンパス起業体験実習)	—	—	演習II

地域政策コースの卒論テーマ例

- 生ごみ処理政策の提案—ゼロ・ウェイスト政策移転に向けて—
- 災害時における自治体間連携とその課題
- 女性のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて企業がCSRとして取り組むことの有効性について

■ グローバル協力コース Department of Global Cooperation and Area Studies

地球社会の多様な問題解決に果敢に挑戦する人材を育成します。



コースの特徴

- 地球環境・貧困・平和・途上国などについて研究する
- 地球規模問題が起こる仕組みや解決策を考える
- アジアなど海外の地域について深く研究する
- 国際機関や国際NGO職員を目指す

地球規模の課題や世界各地の諸問題を深く考察し、フィールドワークなどの体験を重視。国際協力に関する幅広い知識と確かな語学力を身に付け、地球社会の問題解決に果敢に挑戦する人材を育てます。主にアジア地域の都市および大学、そして国際機関との協力関係を活かし、活躍の舞台を広げます。

学生の声

海外調査実習で国連本部に行き、学びをより深めることができました。

グローバル協力コース3年
岸本 航 Wataru Kishimoto 神奈川県 私立桐蔭学園中等教育学校卒

YCUでは、教養科目としてさまざまな学問を学べ、2年から始まるゼミなどの少人数教育によって専門の学問を徹底的に深めることができるのが魅力です。海外調査実習ではニューヨークの国連本部に行き、国連職員の方々と議論し、その情熱に触れたことで大きな刺激を受けました。今後は、YCUで養ってきた国際社会への強い関心を武器に、実際に国際問題への解決に貢献したいです。その第一歩としてイタリアへ交換留学し、さまざまな国籍の人々の考え方に触れ、視野を広げていきたいと考えています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	スペイン語教養基礎II	—	スペイン語教養基礎II	—	スペイン語教養基礎II
2時限目	—	グローバル公共政策論	—	政治学入門	—
3時限目	—	—	—	地方政治論	アジア近現代史
4時限目	—	演習II	—	—	平和構築論
5時限目	—	演習II	副演習II (アメリカの外交政策)	—	—

グローバル協力コースの卒論テーマ例

- 失業率と犯罪発生率の関係性 ~南アフリカ共和国・ケープタウンを事例に~
- "Invisible" Racial Inequalities in the United States Racially Segregated Schools Create "Gap" and "Discrimination"
- ODAを活用した中小企業海外展開事業の現状と課題 —国際協力の視点からみた影響分析—

経営科学系

- 経営学コース
- 会計学コース
- 経済学コース

◎学位：学士（経営学）、（会計学）、（経済学）



世界基準でビジネスを考える

グローバルなビジネス・経済社会での多様な価値観を理解し、合理的な意思決定能力と実行力を備えた人材を育成します。そのために必要となるのが、問題発見や課題解決の際に必要な分析力と他者を説得するコミュニケーション能力です。これらは経営科学系の学生に共通の素養となりますが、さらに経営学・会計学・経済学の3コースを設け、専門性を深化させた学びを展開します。経営学

コースではグローバルに企業経営の課題をとらえ、解決できる人材を育成し、会計学コースでは世界共通のビジネス言語である会計の数字を的確に理解できる人材を育成します。そして経済学コースでは、国際標準の経済学の理解と現実への応用力を備えた人材を育成します。

■ 経営科学系専門科目一覧

	経営学コース (学士:経営学)			会計学コース (学士:会計学)			経済学コース (学士:経済学)		
学系基幹科目 (16単位選択必修)	企業論 1・II	経営管理論 1・II	商業簿記 1・II	工業簿記	会計学原論 1・II	ミクロ経済学 1・II	マクロ経済学 1・II	経済統計 1・II	
コース基幹科目 (16単位選択必修)	経営戦略論 1・II 経営組織論 1・II 国際経営論 1・II 人的資源管理 1・II	経営財務 1・II マーケティング論 1・II サービス・ビジネス論 1・II 経営情報論 1・II	原価計算論 1・II 国際会計論 1・II 財務諸表論 1・II 税務会計論 1・II 財務諸表分析 1・II	監査論 1・II 会社法 1・II 管理会計論 1・II Introductory Accounting 1・II Intermediate Accounting	情報の経済学 1・II 経済政策 1・II 社会科学の方法 1・II 国際経済学 1・II	民法・物権 1・II ビジネスエコノミクス 1・II 金融論 1・II 財政学 1・II Japanese Economy			
コース展開科目 (16単位選択必修)	流通ロジスティクス論 生産管理論 イノベーションマネジメント 経営史 中小企業論 証券市場論 消費者行動論	組織文化論 組織行動論 医療経営論 Global Business Strategy Global Innovation Management Global Organization Theory Global Business Administration	医療イノベーション経営管理論 起業家人材論 起業プランニング論 企業価値評価論 Introduction to IFRSs Fundamentals of Investments Basics of Corporate Analysis and Valuation	証券市場論 金融商品取引法 租税法 所得税法 1・II 国際税務戦略 Introduction to IFRSs Fundamentals of Investments Basics of Corporate Analysis and Valuation	医療イノベーション経営管理論 起業家人材論 起業プランニング論 国際税務戦略 Introduction to IFRSs Fundamentals of Investments Basics of Corporate Analysis and Valuation	テクノロジーマネジメント 計量経済学 1・II 意思決定論 1・II 民法・債権 1・II 公共選択論 1・II 産業とゲーム理論 1・II	国際金融論 1・II 地方財政学 ファイナンス理論 公共経済学 経済思想史 経済成長論		
コース関連科目 (経営学コース A・B・Dで12単位 選択必修)	倒産法 環境法 契約法	経済法 地域金融論 中小企業金融論	行政法 1・II 地方自治法 Global Leadership	Global Human Resource Development Global Marketing 非常組織会計	銀行講座 融資判断のための企業分析講座 財務省・財務局・財務事務所(横浜)の業務と役割	経営と税務 学系内他のコースの基幹・展開科目 特講(Advanced Topics in Microeconomics)			
会計学コース (A・B・Eで12単位 選択必修)		民法・物権 1・II	民法・債権 1・II	ファッションビジネス戦略 語学演習					
経済学コース (A・C・Eで12単位 選択必修)					地理情報システム論 契約の経済学 社会保障論 都市・港湾経済学 金融システム論	景気循環論 開発経済学 資源経済学 行政学 環境経済学 特講(Economic Analysis 1・II)	集合と位相 1・II 集合と位相演習 1・II 微分積分学 微分積分学演習 線形代数 特講(Economic Analysis 1・II)	線形代数演習 計画数学 データ解析 Advanced Topics in Economics 1・II 横浜都市経済論	
専門教養ゼミ (全科目8単位必修)									
卒業演習・卒業論文 (全科目6単位必修)					演習 1~IV				
					卒業演習 1・II	卒業論文			

■ 経営学コース Department of Business Administration

企業などの組織をリードし、諸問題を解決するマネジメントを学びます。



コースの特徴

- 経営やビジネス活動を深く体系的に理解する
- 企業をはじめ組織でのマネジメントを学ぶ
- グローバル経営の課題に理論・実証面から取り組む
- 戦略的思考・企画力・分析力・表現力を修得する

経営学は企業を対象に発展してきましたが、今日その成果は官公庁、病院、NPO等あらゆる組織で生かされています。経営管理、経営戦略、経営組織、国際経営、人的資源管理、経営財務、マーケティングなどを通してマネジメントの理論と実践を学び、社会現象の分析、戦略と組織の理解、問題の発見と解決につながる力を養います。

学生の声

将来は、商社で人とモノとサービスをつなげていく有意義な仕事をしたいです。

経営学コース3年
蟹江 桃世 Momoyo Kanie カナダ Auburn Drive High School 卒

高校時代に簿記や経営学の授業を受けたことをきっかけに、興味を抱き始めました。YCUでは、リーダーシップや組織におけるコミュニケーション事例、プロジェクトのマネジメントなどを実践的に学ぶことができます。経営組織論の基礎から、会計学や経済学などの周辺学問を通して、より深く組織の経営を学んでいくことができます。講義で専門知識をインプットするだけでなく、ゼミなどでアウトプットしていくことで力を蓄え、将来は、商社で人とモノとサービスをつなげていく有意義な仕事をしたいと思っています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	経営管理論 II	—
2時限目	—	企業論 II	人的資源管理 II	マクロ経済学 II	ミクロ経済学 II
3時限目	サービス・ビジネス論 II	—	マーケティング論 II	—	演習 II
4時限目	—	簿記入門 II	—	—	—
5時限目	—	—	—	—	—

経営学コースの卒業論文テーマ例

- 特保茶飲料のパッケージと売上高の相関関係についての分析
- コンビニコーヒーの成功要因
- 財布の紐が緩む要因と消費者心理～心理的財布の観点から～

■ 会計学コース Department of Accounting

会計理論を学び、企業経営の本質を数字の面から理解します。



コースの特徴

- ビジネスの言語である会計を学ぶ
- 企業の業績改善のためのスキルを学ぶ
- 証券投資の分析手法を学ぶ
- 会計専門職（公認会計士、税理士など）を目指す

企業業績を適切に測定するための会計学の理論を基礎とし、これに国内および国際的な会計基準や企業法、税法の知識などを付加します。これら“土台”となる知識をもとに、財務諸表（決算書）を分析するためのスキル、企業業績を改善するための手法、および株式への投資判断の基礎となる企業価値評価の手法を身に付けます。また、英語による会計学の講義も複数開講しています。

学生の声

会計学を学ぶことにより、企業・組織の経営状況を客観的に知ることができます。

会計学コース3年
瀬尾 満里奈 Marina Seo 神奈川県立光陵高等学校卒

1年次にさまざまな分野の授業を履修できること、2年次にはコース選択がありますが、専攻にとらわれず好きな分野を多様に学べるのが、YCUの魅力だと思います。会計学を学ぶことにより、企業・組織の経営状況を客観的に知ることができます。経営分析を行う上で会計学は必須であり、経営を改善させるためには経営学や経済学の知識も重要です。会計学は、専門職のみにとどまらず他の職種にも広く応用がきく分野なので、専門知識を学びながらいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	—	—
2時限目	—	企業論II	会計学原論II	会社法II	—
3時限目	サービスビジネス論II	—	マーケティング論II	—	—
4時限目	—	株式会社簿記I(商業簿記II)	—	—	—
5時限目	演習II	財務諸表分析II	—	—	—

会計学コースの卒論テーマ例

- 酒税がもたらす企業と消費者への影響
- 取締役会の現状と社外取締役の有効性
- 環境会計情報は企業価値向上につながっているのか

■ 経済学コース Department of Economics

経済や金融の理論的理解と数量的分析力を育成します。



コースの特徴

- 経済の現状と課題を体系的に学ぶ
- グローバル化する国際経済を舞台に活躍する
- 金融政策や金融機関の活動を研究する
- 民間企業から国、地方の公務員まで、幅広い可能性に対応する

ミクロ経済学、マクロ経済学、データ分析などの基本的知識を修得したうえで、グローバルに広がる市場経済や国際的な金融市場、公的分野に関わる社会経済現象について分析・理解する能力を身に付けます。その上で“Cool Head”と“Warm Heart”を持ってものごとを評価することのできるバランス感覚を鍛えます。

学生の声

小規模のゼミでは、教授の指導のもとじっくり掘り下げた学修が可能です。

経済学コース3年
鈴木 伸之 Nobuyuki Suzuki 群馬県立桐生高等学校卒

外国人講師との対話や留学支援の充実など英語の学修環境が充実していること、小規模できめの細かい学修ができるところが魅力です。授業では経済のグローバル化を分析する理論を学修しており、ゼミでは、ミクロ・マクロ経済や経済政策、統計、財政など幅広い分野から自身で選択し学んでいます。現在はあらゆるソフトを用いて計量経済学を学修し、グループワークを通して実用的な技能も学んでいます。これらの学びをすべて生かし、社会に出て活躍できるような人材になりたいと考えています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	—	社会科学の方法II
2時限目	—	企業論II	ゼミ	マクロ経済学II	ミクロ経済学II
3時限目	—	思想研究入門	—	横浜都市経営論	ビジネスエコノミクスII
4時限目	—	社会統計学II	経済統計II	経済政策II	行政学
5時限目	—	—	—	—	—

経済学コースの卒論テーマ例

- TPP加盟による日本の金融市場への影響
- ふるさと納税による地方創生
- 観光市場における市場の失敗と政策提言

理学系

- 物質科学コース
- 生命環境コース
- 生命医科学コース

◎学位：学士（理学）



サイエンスを、グローバルに発信する

物理学・化学・生物学・地学・数学分野を統合的に理解して自然現象を物質と生命の観点から多角的に捉えることを目指しています。理学に携わる人間には、社会における自然科学の意義を認識し、自らのテーマを社会に説明する能力も求められます。専門分野においては自らの研究テーマを追究するための理論の修得や実験

手法への習熟はもとより、計画立案能力、研究成果を国際的舞台で発表する豊かな表現力、他分野の研究者とも円滑にコミュニケーションを図れる能力が必要です。理学系では、共通教養とも連携してこのような基礎を構築しつつ、専門分野においては学問的背景に根ざしたオリジナルな研究を展開できる人材を育成します。

■ 理学系専門科目一覧

	物質科学コース		生命環境コース		生命医科学コース		
学系基幹科目 (20単位選択必修)	電磁気学 振動と波動 熱力学	分析化学 有機物の化学 化学熱力学	周期表の化学 分子生物学 細胞生物学	生化学Ⅰ 地学概説Ⅰ・Ⅱ 地球科学実験	自然科学数学A~D 基礎量子力学 基礎統計力学	回折結晶学 有機物質化学 無機物質化学	計算分子化学 遺伝学 微生物学
コース基幹科目 (30単位選択必修)	物質創製実験 シミュレーション実験 先端物性測定講義Ⅰ・Ⅱ 先端物性測定実習Ⅰ・Ⅱ 化学演習 物理学演習 物質機能科学Ⅰ・Ⅱ 量子力学 統計力学 界面表面科学	分子構造化学 分子機能化学 溶液化学 地震学 電子物性 量子化学 天然物化学 エネルギー変換 触媒化学	生化学Ⅱ 動物生理学Ⅰ・Ⅱ 動物解剖組織学 動物細胞工学 植物生理学Ⅰ・Ⅱ 植物細胞工学 資源生物利用学 ゲノム遺伝学	分子細胞生物学 再生発生学 基礎生命科学実習 環境毒性学 比較動物生理学 極限環境生物学 先端植物学 生命機能実習Ⅰ~Ⅳ	生体高分子構造科学 生体高分子機能科学 人体の解剖生理学 分子細胞医科学 脳神経科学 遺伝子機能科学 薬理学 プロテオーム科学	生命情報科学 臨床概論・疾病病態学 発生・再生医学 生体分子計測科学 生体分子設計科学 生命医学実習Ⅰ~Ⅲ 生命医科学特別講義	
コース展開科目 (10単位選択必修)	組合せ論 計算機科学概論 先端科学技術Ⅰ・Ⅱ 科学論文表現法	物質科学キャリアデザイン 生命環境コース・ 生命医科学コースの コース基幹科目	データ解析 バイオインフォマティクス 環境保全学 環境衛生学	放射線生物学 生命環境科学 物質科学コース・ 生命医科学コースの コース基幹科目	データ解析 バイオインフォマティクス 物質科学コース・生命環境コースのコース基幹科目		
コース関連科目	計算とアルゴリズム 情報理論 集合と位相Ⅰ・Ⅱ 集合と位相演習Ⅰ・Ⅱ 代数構造論 微分積分学	微分積分学演習 線形代数 線形代数演習 代数学 計画法 解析学	情報数学Ⅰ~Ⅲ 計算機科学Ⅰ・Ⅱ データ解析 語学演習、特講	語学演習、特講	語学演習、特講		
専門教養ゼミ (全科目8単位必修)	物質科学ゼミⅠ・Ⅱ	物質科学演習Ⅰ・Ⅱ	生命環境ゼミⅠ・Ⅱ	生命環境演習Ⅰ・Ⅱ	生命医科学ゼミⅠ・Ⅱ	生命医学演習Ⅰ・Ⅱ	
卒論演習・卒業論文 (全科目6単位必修)			卒業研究Ⅰ・Ⅱ	卒業論文			

■ 物質科学コース Department of Materials Science

現代の先端科学技術を基礎から理解し、未来の技術へと展開できる人材を育成。



コースの特徴

- 最先端科学技術・未来科学技術を研究する
- エネルギー・環境問題を学ぶ
- 自然現象を理解し、イノベーションする
- 難しいサイエンスを分かりやすく伝える

自然科学の基本原則に基づいて、物質の構造、性質、反応を電子、原子のレベルで理解し、それらを自在に制御する物質科学の基礎を学修できます。この基礎的な学修は、物質創製、計算科学、計測科学へと展開され、現代の最先端科学技術であるナノサイエンス、新エネルギー開発、先端医療などに結びついていきます。

学生の声

先端機器を用いて原子や電子のスケールで物質のふるまいを研究できます。

物質科学コース3年
柏葉 幸佑 Kosuke Kashiwaba 神奈川県立神奈川総合高等学校卒

大学で学ぶにあたって基礎を補う授業となるリメディアル科目をはじめ、YCUでは1年次に基礎力を養ってから学びたい分野を選択できるのが魅力です。物質科学コースでは、先端機器を用いたシミュレーションなどにより、原子や電子のスケールで物質のふるまいを研究することができるため、新たな素材の有用な活用法を考えるなど画期的な研究をしていきたいです。また、化学の教員免許取得のための勉強も並行して行い、ナノスケールで物性を探求することの面白さを生徒たちに伝えたいと思っています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	計算分子化学	—	—	自然科学数学B/ 自然科学数学C
2時限目	物質科学ゼミⅡ	有機物質化学/ 基礎統計力学	基礎量子力学	熱力学	自然科学数学B/ 自然科学数学C
3時限目	シミュレーション実験	—	有機物質化学/ 基礎統計力学	教育課程論	道徳教育論
4時限目	シミュレーション実験	—	—	教師論	基礎量子力学
5時限目	教育制度論	生徒指導・進路指導論	—	—	—

物質科学コースの卒論テーマ例

- アンピエント質量分析によるベチニア花弁から放出される香気成分の同定
- ドナー・アクセプター性分子積層による分子ダイオード構造の作成
- 2009年箱根群発地震における応力降下量の時空間分布と地震発生メカニズム

生命の機能、環境、生物資源など、バイオ領域に秀でたパイオニアを育成。



コースの特徴

動・植・微生物が見せる巧妙で多様な生命現象、内外の環境に対する応答と適応の仕組みを、遺伝子、細胞、個体のレベルから体系的に学修します。ここで学んだ科学知識や実験技術で、将来、器官再生研究や機能性食品開発、生命圏の維持など、次世代に必要な生命科学をリードし、安全で豊かな地球環境づくりに取り組める研究者、産業人を育みます。

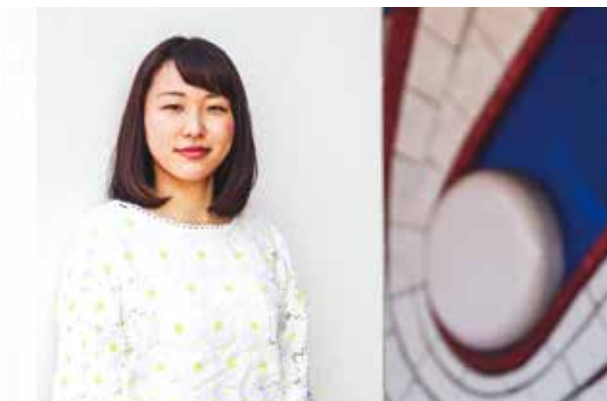
- 環境に対する生命の適応機構を知る
- 食糧問題や環境問題に貢献する
- 先端テクノロジーを学んで人々の健康に役立てる
- 有用作物の開発や有用物質を発掘する

学生の声

将来は、新たな組み合わせ作物の開発の研究に携わりたいと考えています。

生命環境コース3年
神浦 泉 Izumi Kounoura 神奈川県 横浜市立東高等学校卒

国際総合科学部は文理融合のため、1年次の教養ゼミでは文系と理系の学生が、一緒にプレゼンテーションを行うなど、異なる視点を共有できます。理系科目を広く学ぶなか、植物学に興味をもち、生命環境コースを選びました。現在は、植物学に関する科目を中心に履修し、植物生理学で植物の生理機能をはじめ、動・植・微生物の生命現象について、勉強しています。将来は、新たな組み合わせ作物の開発に携わりたいと考えています。自分に合う研究室を選び、これまでに学んだことを生かした研究を行っていきたくと考えています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	—	微生物学
2時限目	生化学II	動物生理学I	植物生理学II	放射線生物学	—
3時限目	—	基礎生命科学実習	—	教育課程論	道徳教育論
4時限目	—	基礎生命科学実習	電気と磁気	教師論	特別活動論
5時限目	—	基礎生命科学実習	—	—	地学概説II

生命環境コースの卒論テーマ例

- マウスES細胞EBRTcH3からの網膜の作製
- イネにおけるオーキシン生合成阻害剤の作用解析
- パンコムギの倍数性進化に伴う幼穂における遺伝子発現変化

未来に必要とされる生命医科学分野のエキスパートを養成。



コースの特徴

生命現象を原子・分子のレベルで学修し、生命医科学の独創的な研究に携わる人材を育成します。本コースの特徴は、医学系と理学系の教員によるハイブリッド型の教育を行うことで、生体物質の構造と機能に関する生命科学と、生体の機能と病態に関する医科学の双方を学び、新たな生命医科学分野を切り拓くパイオニア的な研究者や産業人を育成します。

- 生命現象の解明に意欲的に打ち込む
- 最先端の科学技術を修得する
- 生命科学と医療の両面から社会問題を解決する
- 生命科学や医療に関連した仕事や研究をする

学生の声

「実験教室」や「理数マスター育成プログラム」に挑戦。科学の面白さを伝えたいです。

生命医科学コース3年
高橋 和総 Kazuhisa Takahashi 東京都 私立高輪高等学校卒

高校時代から医療に関心がありました。YCUには、「医療」と「生命科学」を結びつけた生命医科学コースがあり、自分に合う学問だと思いました。今は、生体物質の構造や機能に関する物質科学と、生体の機能・病態に関する医科学の両面から学んでいます。ここで学んだ考え方や科学の面白さを、科学へ関心の無い方にも知ってもらう活動もしています。卒業後は、大学院博士課程まで進み、免疫系や生命現象についての研究を重ねながら、「さまざまな疾患の原因の解明に関わる」という目標に向かって日々取り組んでいきたいと思っています。



■ 2年次後期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	理科教育法-2	計算分子化学	—	—	微生物学
2時限目	生化学II	人体の解剖生理学	植物生理学II	分子細胞医科学	—
3時限目	—	—	—	生体高分子機能科学	道徳教育論
4時限目	心理学入門	—	—	教師論	特別活動論
5時限目	生体高分子構造科学	生命医科学ゼミII	—	—	—

生命医科学コースの卒論テーマ例

- 質量分析のための糖ペプチド濃縮法の開発
- 海馬初代培養神経細胞におけるMTCL1の機能の検討
- NMRを用いた脂質二重膜中におけるヒト膜タンパク質 C99の解析

教育の特徴
グローバル教育
国際総合科学部
データサイエンス学部
医学部
大学院/研究施設
キャリアサポート/学生支援
キャンパスライフ
入学情報/学費/奨学金

国際総合科学部 教員紹介

専門分野 (2017年5月1日現在)

各教員の研究内容はこちらでご覧いただけます。

<http://www.yokohama-cu.ac.jp/researcher/>



国際教養学系			
有馬 斉 倫理学 Hitoshi Arima 准教授	加藤 千博 イギリス文化論 Chihiro Kato 准教授	坪谷 美欧子 エスニシティ文化論 Mioko Tsuboya 准教授	村松 茂 身体運動論 Shigeru Muramatsu 教授
板垣 明美 文化人類学 Akemi Itagaki 准教授	佐藤 響子 コミュニケーション論 Kyoko Satoh 教授	中谷 崇 文芸批評論 Takashi Nakatani 准教授	本宮 一男 日本社会史 Kazuo Motomiya 教授
岩崎 徹 演劇文化論 Toru Iwasaki 准教授	塩尻 智之 身体文化論 Tomoyuki Shiojiri 准教授	長谷川 真里 教育心理学、発達心理学 Mari Hasegawa 教授	山根 徹也 欧米社会史 Tetsuya Yamane 教授
浮田 徹嗣 精神分析学 Tetsuji Ukita 准教授	庄司 達也 近代日本文化論 Tatsuya Shoji 教授	平井 美佳 臨床心理学 Mika Hirai 准教授	渡會 知子 社会理論 Tomoko Watarai 准教授
岡田 公夫 ドイツ語、比較言語論 Kimio Okada 教授	滝田 祥子 多文化社会論 Sachiko Takita 教授	平松 尚子 フランス文化論 Naoko Hiramatsu 准教授	和仁 道郎 経済社会論 Michiro Wani 准教授
乙坂 智子 文化交流史 Tomoko Ootaka 教授	高橋 寛人 現代教育論 Hiroto Takahashi 教授	増田 公香 社会福祉論 Kimika Masuda 教授	
小幡 敏行 中国文化論 Toshiyuki Obata 准教授	土屋 慶子 英語学 Keiko Tsuchiya 准教授	松本 郁代 日本文化史 Ikuyo Matsumoto 准教授	
柿崎 一郎 アジア社会史 Ichiro Kakizaki 教授	角田 隆一 現代社会論 Ryuichi Tsunoda 准教授	三上 真司 現代哲学 Shinji Mikami 教授	

国際都市学系			
青 正澄 地球環境政策論 Masazumi Ao 教授	小野寺 淳 アジア地域論 Jun Onodera 教授	齊藤 広子 不動産マネジメント論 Hiroko Saito 教授	三輪 律江 市民まちづくり論 Norie Miwa 准教授
石川 永子 都市防災計画論 Eiko Ishikawa 准教授	影山 摩子弥 比較社会システム論 Makayo Kageyama 教授	鈴木 伸治 景観まちづくり論 Nobuharu Suzuki 教授	山崎 和美 アジア近現代史 Kazumi Yamazaki 准教授
上村 雄彦 グローバル政治論 Takehiko Uemura 教授	木村 琢郎 グローバル地理学 Takuro Kimura 教授	瀬田 真 国際法 Makoto Seta 准教授	吉田 栄一 グローバル協力論 Eiichi Yoshida 准教授
大島 誠 都市政策論 Makoto Ooshima 准教授	Kléber Ghimire グローバル経済論 教授	中西 正彦 都市計画論 Masahiko Nakanishi 准教授	
大塚 章弘 都市の経済と政策 Akihiro Otsuka 准教授	後藤 寛 都市解析 Yutaka Goto 准教授	廣田 全男 地方自治論 Masao Hirota 教授	

経営科学系			
赤羽 淳 企業論 Jun Akabane 准教授	鞠 重鎬 財政学 Kook Joongho 教授	中條 祐介 国際会計論 Yusuke Nakajo 教授	三浦 敬 会計学原論 Takashi Miura 教授
芦澤 美智子 経営管理論 Michiko Ashizawa 准教授	黒木 淳 管理会計論 Makoto Kuroki 准教授	中園 善行 マクロ経済学 Yoshiyuki Nakazono 准教授	安川 文朗 医療経営論 Fumiaki Yasukawa 教授
岩佐 朋子 ビジネスエコノミクス Tomoko Iwasa 准教授	坂口 利裕 地理情報システム論 Toshihiro Sakaguchi 教授	長畑 周史 会社法 Shushi Nagahata 准教授	山藤 竜太郎 国際経営論 Ryutarō Yamafuji 准教授
大澤 正俊 民法・物権 Masatoshi Osawa 教授	柴田 典子 マーケティング論 Noriko Shibata 准教授	永松 陽明 経営情報論 Akira Nagamatsu 准教授	吉永 崇史 経営組織論 Takashi Yoshinaga 准教授
太田 壘 国際経済学 Rui Ota 准教授	白石 小百合 計量経済学 Sayuri Shiraishi 教授	中村 彰宏 ミクロ経済学 Akihiro Nakamura 教授	和田 淳一郎 公共経済学 Junichiro Wada 教授
大西 純 人的資源管理論 Jun Onishi 教授	随 清遠 金融論 Sui Qingyuan 教授	中山 健 経営戦略論 Takeshi Nakayama 教授	
鴨志田 晃 サービスビジネス論 Akira Kamoshida 教授	高橋 隆幸 税務会計論 Takayuki Takahashi 准教授	西島 益幸 ゲーム理論 Masuyuki Nishijima 教授	
康 聖一 情報の経済学 Kang Seongill 教授	張 櫻馨 商業簿記 Chang Ying-Hsin 教授	藤崎 晴彦 原価計算論 Haruhiko Fujisaki 准教授	

理学系物質科学コース			
石川 裕一 天然物有機化学 Yuichi Ishikawa 准教授	小泉 和之 多変量解析・数理統計学 Kazuyuki Koizumi 准教授	立川 仁典 量子物理化学 Masanori Tachikawa 教授	Ruggero Micheletto 知覚情報 教授
及川 雅人 天然物有機化学 Masato Oikawa 教授	小屋 良祐 数論的幾何 Yoshihiro Koya 教授	橘 勝 材料物性科学 Masaru Tachibana 教授	村田 秀信 無機材料・物性 Hidenobu Murata 助教
大月 俊也 統計力学 Toshiya Otsuki 教授	三枝 洋之 光化学 Hiroyuki Saigusa 教授	塚田 秀行 有機分子化学 Hideyuki Tsukada 教授	望月 桂 生物無機化学 Katsura Mochizuki 教授
小野 陽子 統計学 Yoko Ono 准教授	重田 諭吉 表面科学 Yukichi Shigeta 教授	戸坂 亜希 表面科学 Aki Tosaka 助教	山田 重樹 固体物理 Shigeki Yamada 准教授
北 幸海 量子化学 Yukiomi Kita 准教授	篠崎 一英 無機光化学 Kazuteru Shinozaki 教授	野々瀬 真司 物理化学 Shinji Nonose 准教授	横山 崇 表面・ナノ構造物性科学 Takashi Yokoyama 教授
木下 郁雄 固体電子物性 Ikuo Kinoshita 准教授	関本 奏子 大気イオン化学 Kanakano Sekimoto 助教	藤井 一幸 数理物理学 Kazuyuki Fujii 教授	吉本 和生 固体地球物理学 Kazuo Yoshimoto 教授
金 亜伊 地震学 Kim Ahyi 准教授	高見澤 聡 無機化学 Satoshi Takamizawa 教授	藤田 慎也 グラフ理論 Shinya Fujita 准教授	
清見 礼 アルゴリズム工学 Masashi Kiyomi 准教授	高山 光男 質量分析学 Mitsuo Takayama 教授	本多 尚 固体物性科学 Hisashi Honda 教授	

理学系生命環境コース			
足立 典隆 分子生物学 Noritaka Adachi 教授	川浦 香奈子 植物ゲノム科学 Kanakano Kawaura 准教授	嶋田 幸久 植物応用ゲノム科学 Yukihisa Shimada 教授	藤井 道彦 不老長寿学 Michihiko Fujii 教授
荒谷 康昭 免疫生物学 Yasuaki Aratani 教授	木下 哲 植物エピゲノム科学 Tetsu Kinoshita 教授	辻 寛之 育種学 Hiroyuki Tsuji 准教授	丸山 大輔 植物分子・生理科学 Daisuke Maruyama 助教
一色 正之 植物工学 Masayuki Isshiki 准教授	杵名 伸介 植物ゲノム生理学 Shinsuke Kutsuna 准教授	中村 郁子 植物応用ゲノム科学 Ayako Nakamura 助教	山本 敏文 分子精神薬理学 Toshifumi Yamamoto 教授
内山 英穂 再生発生学 Hideho Uchiyama 教授	小島 伸彦 再生生物学 Nobuhiko Kojima 准教授	仁科 行雄 細胞生物学 Yukio Nishihana 准教授	
大関 泰裕 糖鎖生物学 Yasuhiro Ozeki 教授	佐藤 友美 内分泌学 Tomomi Sato 教授	坂 智広 植物遺伝資源科学 Tomohiro Ban 教授	
Robert A. Kanaly 分子毒性学 教授	塩田 肇 植物発生生物学 Hajime Shiota 准教授	東 昌市 生体分子機能制御学 Shoichi Higashi 教授	

理学系生命医科学コース			
明石 知子 構造生物化学 Satoko Akashi 准教授	川崎 ナナ 創薬科学 Nana Kawasaki 教授	佐藤 衛 構造生物学 Mamoru Sato 教授	長土居 有隆 構造生物学 Aritaka Nagadoi 助教
有田 恭平 構造生物学 Kyohei Arita 准教授	川崎 博史 タンパク質科学 Hiroshi Kawasaki 准教授	鈴木 厚 分子細胞生物学 Atsushi Suzuki 准教授	禾 晃和 構造生物学 Terukazu Nogi 准教授
池上 貴久 構造生物学 Takahisa Ikegami 教授	木寺 詔紀 計算生物学 Akinori Kidera 教授	高井 直樹 生化学 Naoki Takai 助教	朴 三用 構造生物学 Park Sam-yong 教授
池口 満徳 計算生物物理学 Mitsunori Ikeguchi 教授	古久保 哲朗 遺伝子発現制御学 Tetsuro Kokubo 教授	高橋 栄夫 構造生物学 Hideo Takahashi 教授	林 郁子 構造生物学 Ikuko Hayashi 准教授
小川 毅彦 再生医学 Takehiko Ogawa 教授	坂倉 正義 構造生物学 Masayoshi Sakakura 助教	竹居 光太郎 神経生物学 Kohtaro Takei 教授	測上 壮太郎 理論生物物理学 Sotaro Fuchigami 助教
片岡 浩介 生体機能医科学 Kosuke Kataoka 准教授	佐々木 幸生 神経細胞生物学 Yukio Sasaki 准教授	J.R.H. Tame 構造生物学 教授	水谷 健二 構造生物学 Kenji Mizutani 助教

データサイエンス学部

School of Data Science

(2018年4月開設予定)

データの持つ力で 未来を創る データサイエンス

首都圏で初となるデータサイエンス学部が、2018年春、横浜市立大学に誕生します。
データサイエンス学部では、データを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション力や、イノベーションを起こす発想力、次世代に通用するビジネス力を養成。
日々データが生まれ、蓄積される今、そこから新たな社会的価値を創造できる人材を育成します。



データサイエンス学部が求める学生像

- 物事を論理的に考察できる人
- 自分の考えを的確に伝達できる人
- 国語、数学、外国語ならびに理科または社会分野の高い基礎学力を有する人



学部の特徴

文理融合

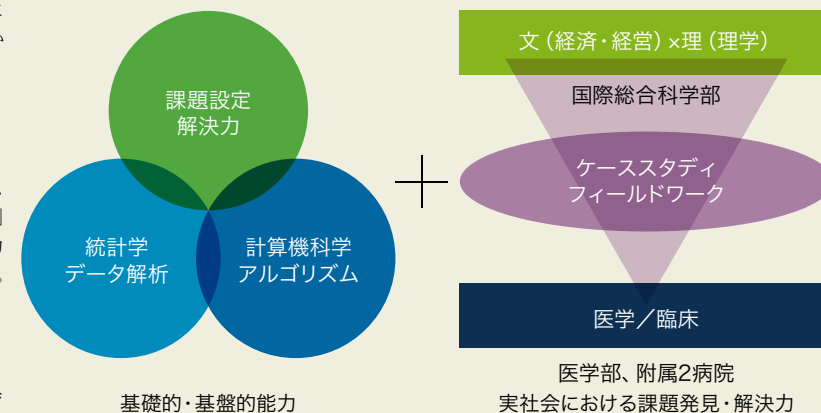
統計学、計算機科学をベースとしたデータサイエンスの専門教育に加え、文系・理系の枠組みを越えた教育カリキュラムが設けられています。

現場重視

企業や医療機関との連携を通じたPBL(Project Based Learning、課題解決型学修)により、実務を体験し、データが発生する「現場」の知識を学びながら、同時にデータ分析を通じたコミュニケーション力や課題発見・解決力を培う実践的な学びの機会を多数設けています。

国際水準の英語力

TOFEL-ITP500相当以上を3年次への進級要件とした英語教育を課し、世界で活躍するためのコミュニケーションレベルを修得します。



学部の主な専門カリキュラム

PC操作・演習系	プログラミング演習I・II	データ解析演習I・II			
主に統計系	統計モデリングI・II	多変量データ解析	データマイニング	データ可視化法	
主にアルゴリズム系	アルゴリズム論	データベース論	ビッグデータ解析	非構造化データ	機械学習
医系	臨床研究・疫学入門I・II	医療統計学			
経済系	計量経済学モデリングAI・AII・B	金融時系列モデリング	サンプリング法		
計算系	自然科学モデリング	量子計算モデリング			

Message from a professor

データサイエンスが社会を変える

データサイエンス推進センター(※) センター長
岩崎 学 Manabu Iwasaki

いま世界では、IoTの活用により、次々と新しいデータが生み出されています。ソーシャルメディア上の文字情報や画像、音声、動画など、あらゆるものがデータとなっています。それらを徹底解析し、価値を見出し、社会の発展に役立つ新しい学問、それがデータサイエンスです。データサイエンス学部では、思い込みや常識を打ち破り、今まで見えなかった真実を明らかにし、社会を劇的に考えていくことに挑む人材を育成。横浜をフィールドとし、行政や産業界と連携しながら社会課題の解決に挑みます。“新たな価値を創造するデータサイエンスのスペシャリストとして、社会を変えることに挑戦したい”、そんな皆さんを心からお待ちしています。



※2017年4月1日に発足した、データサイエンス学部設置準備等にかかわる組織。

4年間の学びのイメージ

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
データサイエンスの基礎	国際社会で活用するための実践的な英語や教養を学ぶ	社会で広く用いられるデータサイエンスを網羅的に知る			文系+理系のさまざまな科目を履修し、データサイエンス人材となる基礎知識を身に付ける			
データサイエンスの専門		数学とコンピュータの基礎を学ぶ		統計・計算機科学の基礎を学ぶ				
				データサイエンスをどのように社会に応用するか学ぶ				
						インターンシップなどを通じて、データサイエンスの研究に取り組む		

医学部

School of Medicine

医学部が求める学生像

- 高い倫理観と医学分野への深い関心を有する人
- 思いやりがあり、命を尊ぶ心を有する人
- 柔軟性と協調性、高いコミュニケーション能力を有する人

- 向学心を有する人
- 自ら問題を発見し、解決するための学修意欲を有する人
- 医療の担い手たる責任感・使命感を有する人
- 医学界をリードし、医学・医療の進歩に世界レベルで貢献する熱意を有する人
- 医療実践者として社会に貢献する意欲のある人

■医学科

時代の変化に 常に対応できる 人材の育成

私たちが目標とするのは、豊かな人間性と深い知性を有し、
確固たる倫理観に基づく総合的判断力を持ち、
生涯にわたって研鑽を続け、
医学・医療を通して人類の福祉に貢献する人材の育成です。



■看護学科

看護の 未来を担う リーダーを育成

高い教養と専門性だけでなく、
他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができるような
豊かな人間力を持ち、未来の看護をけん引できる
リーダーの育成に取り組んでいます。



■医学科の特徴

グローバル化や超高齢社会など急激な社会構造の変化により、医学・医療の分野では、これまでよりも早いスピードで高度化、専門分化が進んでいます。
医学科では、こうした時代の変化にも適切に対応できる優れた実践能力とリサーチマインドを持った人材を育成しています。

- シミュレーターの活用などによる医療体験教育の充実
- 地域における福祉、保健、医療施設での実習の充実
- 基礎、臨床教室での体験型学修としての教室体験演習や研究実習（リサーチ・クラークシップ）の実施
- 学生参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）の推進
- 学生、教職員の積極的な学修意欲に応える講演会、FDなどの実施

■看護学科の特徴

1年次に Practical English や教養ゼミ、総合講義などの共通教養科目を学び、専門の基礎となるリベラルアーツを修得すると同時に専門科目、専門支持科目も履修していきます。
2年次以降になると附属病院に隣接する福浦キャンパスで、体系的なカリキュラムによる各領域の専門科目と実習が展開されます。

- アクティブラーニングによるリーダー人材の育成
- 附属2病院を有する充実した実習環境
- グローバルなフィールドでの看護教育
- クラス担任制をはじめとするきめ細やかな指導体制

Message from the Dean

社会の新しい仕組みを提案できる 真の知力を養おう

医学部長
井上 登美夫 Tomio Inoue ■放射線医学



少子高齢化の時代、医療人が果たすべき使命はますます重要になっています。公立大学としての横浜市立大学医学部には、横浜市を中心とした地域医療を支える人材を育成する責任があります。また、一方で社会のグローバル化に対応できる人材の育成が看護学・医学・医療の分野でも求められています。このような時代の要請に応えることのできる“使命感あふれる医師・医学研究者・看護師・保健師・看護学研究者を育てたい”と考えています。では、このような時代に医療人が備えるべきものは何で

でしょうか。それは専門知識と卓越したスキルに宿るべき“倫理感”と“人を思いやる心”です。患者さんに寄り添える細やかな心配りは、いつの時代の医療にも不可欠です。また、物事の真理を探究するリサーチマインドを養い、ひとつの事象に対して多角的な視点をもつ姿勢も大切です。そうした医療人としての深みは、医療に関わるすべての者が連携し、情報や意見の自由な交換から育まれます。ここには附属2病院を有し、看護学科・医学科ともに実践的な教育を受けることができる恵まれた環境があります。

Message from the Dean

リーダーシップを発揮できる、 優れた人材を育成

医学部看護学科 看護学科長
叶谷 由佳 Yuka Kanoya ■老年看護学



看護学科の特徴は、グローバル社会でリーダーシップをとれる看護職の育成を目指している点です。カリキュラムでは、総合大学ならではの学際的な教養をベースに、医学科との協働、連携を意識して、チームの中でリーダーシップをとれることを目指した教育、また、国際語である英語による会話がある程度できるよう、英語教育や海外フィールドワークによる教育の機会を設けています。看護は、これからますます需要が増加していく学問分野です。そのため、新しい時代に必要看護を自ら創造し

ていくような立場で活躍できる看護師を目指し、教育しています。このような、新しい学問分野を築いていける柔軟性と企画力をもった学生さんに、多く来ていただきたいと思います。また、看護師は、“人”を対象とする職業です。人と関わるのが好きな学生さんに受けていただくことを、教職員一同お待ちしております。これからは、若い人々たちによる新しいアイデアが求められる時代です。横浜市立大学で、一緒にのびのびと学んでいきましょう。

医学科



新しい時代の 医学・医療を担う医療人を育成

■ 医学科カリキュラム全体像

医学科カリキュラムは、1年次に主に金沢八景キャンパスで受講する「共通教養科目・医学基礎教育科目」と、2年次以降の福浦キャンパスでの「医学科専門教育科目」のカリキュラムから成り立っています。「医学科専門教育科目」では、医学教育モデル・コア・カリキュラム（文部科学省が提言する学修ガイドライン）及び世界医学教育連盟のグローバルスタンダードに基づいたカリキュラムを踏まえて学修します。4年次までにコア・カリキュラムを含む、基礎医学から社会医学・臨床医学までの講義および基礎医学実習などを履修し、全国共通の標準評価試験である「共用試験」を受験します。この試験は医学知識の学修レベルを評価する CBT と診療技能や態度を評価する OSCE から成ります。両方に合格しないと臨床実習に進むことができません。附属病院か附属市民総合医療センターでの臨床実習を修了し、卒業試験に合格すると卒業が認められます。在学時の6年間を通じて、各学生に担任が配置され、全人的にサポートする体制を取っています。本学の医師国家試験合格率は例年高い実績を収めています。

■ 医学科カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	卒業後1～2年目	卒業後3年目以降
共通教養	共通教養							
医学基礎教育	医学基礎教育							
基礎医学		基礎医学		基礎医学				
基礎医学実習		基礎医学実習						
医学概論		医学概論	医学概論					
社会医学			社会医学	社会医学				
臨床医学			臨床医学	臨床医学				
研究実習 (リサーチ・クラークシップ)				研究実習				
診療入門				診療入門				
臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)					臨床実習			
				共用試験		マッチング 卒業試験 国家試験	初期臨床研修	後期臨床研修 (専門医養成) 大学院 (博士課程) 行政技官 留学 等

Pick-up Curriculum

医学基礎教育

1年次

教養ゼミ、Practical English、化学・生物等、専門教育の基盤となる知識や考え方を修得します。また、医師や医学研究者としてのキャリア形成の第一歩として、診療・研究活動に実際に触れ、医学を学修する動機づけを高めるため、教室体験演習を行っています。



基礎医学

2年次～4年次

正常な人体の構造と機能、さまざまな疾患の原因とその病態、また薬物の作用等について、個体・組織・細胞レベルから分子構造レベルまで幅広い視点から学修します。講義・演習・実習を通して、知識や論理的な考え方や研究手法を学びます。



医学概論

2年次～3年次

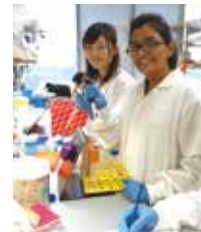
医師にはさまざまなスタッフと連携し、患者さんと信頼関係を築くことが求められます。医師に必須の医療倫理やプロフェッショナリズム、患者さんと医師の関係のためのコミュニケーション技法について医療倫理学や医療コミュニケーション論等の科目を通して学びます。



研究実習 (リサーチ・クラークシップ)

4年次

基礎又は臨床医学教室に15週間配属され、医学研究を行います。医療人として知識と技術を駆使するには科学的な視点が必要です。この科目では研究手法修得のみならず、それらを基に未解明の医学的課題に取り組むリサーチマインドを身に付けることを目的とします。



診療入門

4年次

診療に関する基本知識、技能、態度について学びます。また医療面接法や身体診察法などの診療技能を実習や演習を通して身に付けます。これらの実践的な学修内容(技能や態度)は、共用試験(OSCE)により評価されます。



臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)

4年次～6年次

4年次までの全科目に合格するとスチューデントドクターとして診療参加型の病院実習を行うことができます。チームの一員として診療に参加し、指導医のもとさまざまな職種スタッフと連携して On the job trainingを行います。



探求心 (リサーチマインド) を持った医療人へ

医学部および2つの附属病院における教育・研究・診療の一体的な運用のもと、医学教育の質の向上を図ることにより、リサーチマインド (探求心) を持った優れた臨床医・医学研究者を育成することを目的としています。

「医学教育センター」は「教育重視」「学生中心」「地域貢献」の3つの基本方針のもとに、国際都市横浜ならではの国際標準を踏まえた質の高い医学・臨床教育に取り組んでいます。

医学科の特徴

1 リサーチ・クラークシップ

4年次に進級すると同時にリサーチ・クラークシップ (研究実習) が始まり、15週間の医学研究に参加します。リサーチ・クラークシップの目的は、各教室の研究活動に一定期間主体的に関わることで、早期から「未解決の課題に対する意識を常に持ち、積極的に取り組むこと」「科学的な思考で真実を見極める努力を怠らないこと」といった物事の本質に迫ろうという姿勢「リサーチマインド」を養成することです。

科学的根拠、発想に基づいた新しい診断、新しい生命現象や病態解明、疾患の診断・治療を開発していく医師・医学研究者のリーダーを養成するためには学生のうちから、リサーチ・マインドを養成することが重要であると考えています。



シンガポール国立大学の研究室の皆さんと

リサーチ・クラークシップ配属先				
	配属先	人数	配属先	人数
海外	シンガポール国立大学 (シンガポール)	2	シンシナティ小児病院 (アメリカ)	2
	ウェイン州立大学 (アメリカ)	1	ハーバード大学医学大学院 (アメリカ)	1
	サンフォードバーナムプレビス医学研究所 (アメリカ)	1	世界保健機関WHO本部 (スイス)	1
国内	東京大学理学研究科	1	東京工業大学生命理工学院	1
	東京工業大学科学技術創成研究院	1	国立感染症研究所	1
	国立成育医療研究センター研究所	1	国立国際医療研究センター研究所	2
	神奈川県立こども医療センター	1		
学内	横浜市立大学基礎系教室	32	横浜市立大学臨床系教室	49

2017年度実績

学生の声

今回の経験を生かし、改めて長期の海外留学を。

医学科5年

持田 響 Hibiki Mochida
神奈川県 私立浅野高等学校卒

■ 配属先:シンガポール国立大学

日本語を使えない海外の大学での研究には不安もありましたが、常に英語に囲まれた環境におかれたことによって、徐々に英語での研究環境に適応していくことができました。先生方にとってもいねいに指導をしていただき、その研究室で行っている研究の一端をらせてくださいました。基礎医学研究の最前線で研究することができ、とても貴重な経験ができたと思っています。三ヶ月間の海外で

の研究を通して、基本的な実験や手技はもちろん、英語での会話力やプレゼンテーションスキルを身に付けることができました。今後、臨床に出た後の研究や英語で行われる学会発表に、積極的に参加していくための下地になったのではないかと思います。YCUの先輩方は、学部卒業後に留学することが多いので、自分も今回の経験を生かし、改めて長期の海外留学をしたいと考えています。



2 医師国家試験対策 詳細は▶P.92~

医学教育センター試験管理部門のバックアップにより、医師国家試験の合格率は日本の大学でもトップクラスを維持しています。

過去の実績	実施年	合格率	順位
	2016年実施	98.9%	6位
	2015年実施	97.6%	5位

※順位は80大学中

医師
国家試験

合格率
2017年3月
卒業生

97.7%
(全国4位、全国平均 91.8%)
※新卒のみ



教育の特徴

グローバル教育

国際総合科学部

データサイエンス学部

医学科

大学院/研究施設

キャリアサポート/学生支援

キャンパスライフ

入試情報/学費・奨学金

3 医学科領域

基礎医学系

[基礎系教室名]

組織学	RI研究センター	遺伝学
神経解剖学	微生物学	臨床統計学
循環制御医学	免疫学	法医学
生理学	病態病理学	医学教育学
生化学	分子病理学	医療情報学
分子生物学	臓器再生医学	健康社会医学ユニット
薬理学	実験動物医学	



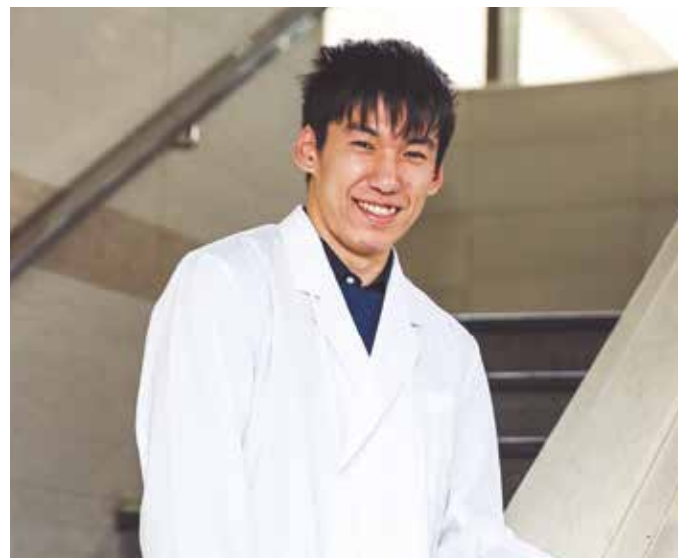
臨床医学系

[臨床系教室名]

血液・免疫・感染症内科学	消化器・腫瘍外科学	放射線医学
呼吸器病学	麻酔科学	精神医学
循環器・腎臓内科学	救急医学	眼科学
消化器内科学	脳神経外科学	視覚再生外科学
肝胆膵消化器病学	産婦人科学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
内分泌・糖尿病内科学	小児科学	皮膚科学
神経内科学・脳卒中医学	泌尿器科学	口腔外科学
がん総合医科学	運動器病態学	総合診療医学
外科治療学	形成外科学	リハビリテーション科学



医学科在学学生／卒業生の紹介



語学力に磨きをかけ、国内外どこでも活躍できる医師を目指します。

医学科2年
阿部 竜太 Ryota Abe 神奈川県 私立栄光学園高等学校卒

附属病院を二つ持ち、そのうちひとつに高度救命救急センターがある点、英語教育にも力を入れている点からYCUを選択しました。1年次の共通教養課程では、留学生や他学部の学生と交流する機会が多く、視野を広げることができました。また、教室体験実習や福祉施設実習を通じて医療の現場がより身近に感じられただけでなく、医師として求められる役割をより明確に自覚することができました。今後は語学力に磨きをかけ、国内外どこでも活躍できる医師になりたいと思っています。

1年次前期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時間目	APEV	—	—	教養ゼミ	APEⅢ
2時間目	APEV	日本国憲法	—	教養ゼミ	APEⅢ
3時間目	化学結合と構造	倫理学	—	—	Education in the World
4時間目	遺伝と機分	行列とベクトル	生体分子と細胞	医療と社会	科学技術の創成
5時間目	現代社会とジェンダー	—	リメリアル物理	病気を科学する	生命科学と環境



将来出会う患者さんのためにひたむきに勉強し、信頼される医師になりたいです。

医学科3年
加藤 丈弘 Takehiro Kato 東京都 私立開成高等学校卒

医学科は、学生同士はもちろん先生方との距離も近いのが魅力です。基礎医学では、座学で正確に知識を得ることに加え、実習やPBL(プロブレムベースの学修)、TBL(チームベースの学修)を通して課題解決やクリティカルシンキングの方法を学び、自分の意見を正しく伝える力を養いました。講義や実習以外にも、先生方が実際の臨床の雰囲気を知りたくてくださるのもYCUの魅力です。現在、人体の機能や英語を積極的に勉強しています。精巧な人体のしくみを知ると医師に近づいていることを実感しますし、英語を使いこなすことで、得られる知識が増えます。将来出会う患者さんのためにひたむきに勉強し、信頼される医師になりたいと思います。

2年次前期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時間目	生理学	生化学	医療コミュニケーション	生理学	分子細胞生物学
2時間目	生理学	生化学	医療コミュニケーション	生理学	分子細胞生物学
3時間目	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学
4時間目	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学



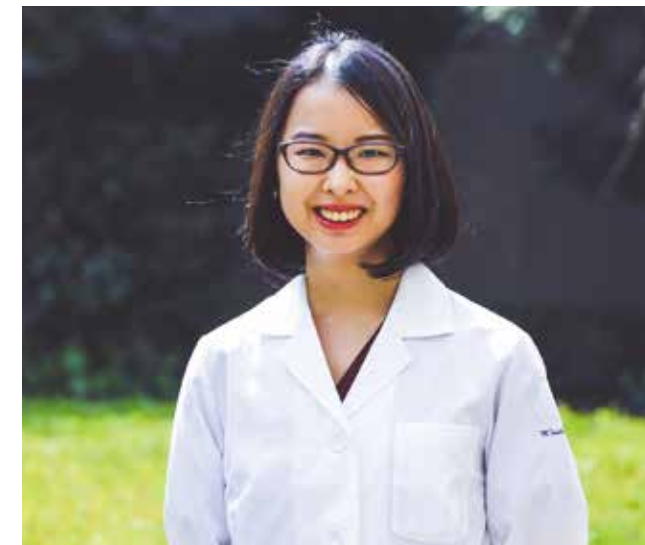
臨床医学の講義でさまざまな学問に対する興味を深めることができました。

医学科4年
松元 加奈 Kana Matsumoto 神奈川県 私立横浜共立学園高等学校卒

YCUには学生の能動的な学修を支援する環境が整っており、論文の抄読会に参加したり、先生方のもとで有意義な研究を行うことができます。課外活動もさかんで、先輩や同期、後輩と一丸となって切磋琢磨することで、チーム医療に不可欠である協調性やコミュニケーション能力を得ることができます。3年次の臨床医学の講義では、幅広い専門知識を学ぶことを通してさまざまな領域に対する興味を深めることができました。今後も自分自身の知識と経験を高めつつ、医師としての将来像を模索していきたいと考えています。

3年次前期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時間目	病態代謝	再生医学	環境分子医学	疫学・予防医学	基礎病理学
2時間目	病態代謝	再生医学	環境分子医学	疫学・予防医学	基礎病理学
3時間目	病態代謝	再生医学	環境分子医学	疫学・予防医学	基礎病理学
4時間目	医療倫理学	基礎病理学	基礎病理学	地域保健医療学	病態代謝
5時間目	医療倫理学	基礎病理学	基礎病理学	地域保健医療学	病態代謝
6時間目	医療倫理学	基礎病理学	基礎病理学	地域保健医療学	病態代謝



臨床医、法医学者として研究テーマを追求していきたいです。

医学科5年
田邊 桃佳 Momoka Tanabe 東京都 国立東京学芸大学附属高等学校卒

医学のみならず、英語教育が充実していることに惹かれYCUを選びました。医学の必修の講義のかたわら医学部向けの英語の任意の講義も履修し英語力を強化することができました。また、4年次のリサーチ・クラークシップ以来、法医学教室で「未成年の予防可能な死亡を減らす」というテーマで研究を行っています。本研究は、子どもの貧困、教育格差、虐待など子どもを取り巻く多様な問題を背景としており、自身の興味に合致した研究であると自負しています。将来は、臨床医または法医学者としてこのテーマを追求し続けていきたいと思っています。

4年次前期の時間割の例

月	火	水	木	金
リサーチ・クラークシップ				



臨床の現場では、医師としての力量が患者さんの予後に直結することを実感しました。

医学科6年
清宮 優香 Yuka Kiyomiya 神奈川県 私立横浜雙葉高等学校卒

YCUには4年次の研究室配属をはじめさまざまな実習があり、座学の講義だけでは学べない知識や経験を得る機会にも恵まれています。5年次からは、病棟で実際に患者さんに接しながら、疾患についてだけでなく、患者さんとのコミュニケーションや患者さんの背景を考慮した治療の選択方法などについて学んでいます。医師としての力量が患者さんの予後に直結することを実感し、身が引き締まる思いです。これからも、小さい頃からの夢であった立派な医師になるべく頑張っていきたいと思っています。

5年次前期の時間割の例

月	火	水	木	金
病棟実習				

救急医として横浜・神奈川の医療を支える一助になりたいです。

2017年3月卒業
島田 航輔 Kosuke Shimada 東京都 私立麻布高等学校卒

6年間の勉強、実習、試験は大変でしたが、YCUは同級生同士の結びつきがとても強く、昼夜関係なく皆で教え合うなど「一緒に乗り越えていこう」という風土が魅力のひとつだと思います。YCUでは、座学や実習を通して科学的思考や態度、リサーチマインドといった医学の基本、患者さんへの接し方といった医療の基本を先生方のいい指導により身に付けることができます。卒業後も在学時に学んだことを基礎にしっかりと研鑽を積み、救急医として横浜・神奈川の医療を支える一員となれればと思います。

2017年度より初期研修医(横浜医療センター→附属市民総合医療センター)として勤務



医学生の日

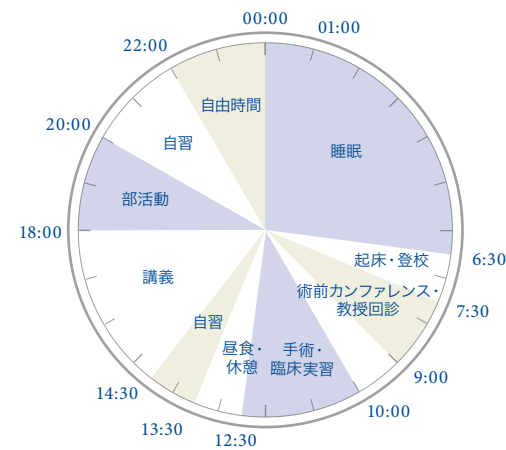
日々勉強と臨床実習とめまぐるしいYCU医学生のとある一日をピックアップしてご紹介します。

YCUの医学科は少人数制ということもあり、先生や職員に気軽に相談できる環境があることが特徴です。

また、附属病院での臨床実習や併設するシミュレーションセンターでの技術向上の為にトレーニングなど、分単位で最先端の医療を学んでいます。そんな中でも部活動やサークル活動にも積極的に取り組んでいます。

医学生の一日のスケジュール

(※学年、学期によって時刻は異なります)



10:00 外科基本手技実習 (シミュレーションセンター)

医療技術を磨くための数多くの機材が揃っており、腹腔鏡手術、内視鏡検査、救命救急などのトレーニングができます。医学部生はもちろん、医師・看護師など全ての医療従事者がスキルアップのため利用します。



12:30 昼食・休憩

食堂は、忙しい学生の強い味方。医学部のある福浦キャンパスの食堂は、カフェテリア方式。季節に応じたメニューも楽しめます。



7:30 術前カンファレンス・教授回診

4年次後期から行う臨床実習。指導医の先生と共にスチューデントドクターとして診療に参加します。また、カンファレンスでは、各症例についての情報をチーム全員で共有し、最適な治療方針の検討や経過のポイントを確認します。



18:00 部活動

共通の趣味を持った仲間との活動も学生生活の楽しみです。福浦キャンパスでは、水泳部や、サッカー部、剣道部などのほかに、医療を楽しく学ぶためのサークルやピアノ部などが積極的に活動しています。



20:00 自習(医学情報センター)

医学情報センターは、一日の復習や、明日の予習をするのに最適な場所。登録すれば上級生は24時間利用可能です。医療に関する資料はもちろん、国内外の雑誌や映像などの資料も充実しています。

14:30 講義(ヘボンホール)

医学科講義棟1階の多目的ホールは、横浜近代医療の父であるヘボン博士の名前がつけられています。講義はもちろん、講演会や演奏会などさまざまなイベントが開催されます。



医学教育センター 「教育重視」「学生中心」「地域貢献」の3つの基本理念のもとに、医学教育の質の向上に取り組んでいます。



医学教育分野別評価

他大学に先駆けて世界医学教育連盟(WFME)により認証されている外部評価を受審し、グローバルスタンダードに準拠したカリキュラム改革を進めています。日本で最も少ない90名の定員で、アットホームな雰囲気の中、医学生の学修をサポートしています。

横浜市立大学医学部ミッション…横浜市立大学医学部は、地域社会や国内外で活躍できる医学・看護を担う人材育成と、創造的研究により社会の発展と人類の福祉に寄与することを使命とする。



ベストティーチャー賞

医学教育の質の向上を目的として、学生へのアンケートを実施しています。アンケート結果を基に、講義や実習、担任など、学生の教育に熱心に取り組んだ教員および教室を学年毎に選出し、ベストティーチャーとして表彰しています。



医学部長ランチミーティング

医学部長(医学教育センター長)と接する機会の少ない若手の教員がセンター長・副センター長と、医学教育の現状や課題、授業等での工夫やアイデアなどについて自由に意見交換を行い、共有化を図っています。



新入生合宿

医学科新入生のモチベーション向上、および医師としてあるべき姿、倫理観の醸成を目的として、1泊2日の医学科新入生合宿を実施しています。合宿では教員や上級生からの講話や発表を伴うグループワークなどが行われます。

シミュレーションセンター 安全で質の高い医療を提供するため、シミュレーターを用いた教育を行っています。



シミュレーションセンター長
秋山 浩利
Hirotohi Akiyama
専門: 消化器・腫瘍外科学(食道・胃)

YCUのシミュレーションセンターは、年間約8,000名以上の方が利用しています。多くの医療従事者がここでさまざまな医療技術のスキルアップを行っており、附属病院での安全で質の高い医療の提供に大きく貢献しています。



ラップメンター (腹腔鏡下手術)

腹腔鏡手術や内視鏡検査のトレーニングができるシミュレーターや、救命救急のための高性能シミュレーターがあります。

診察室

医学科のカリキュラムの中では、心音の聴診を行う医学科2年次の生理学実習などに使われます。



外科トレーニングルーム

医学科5、6年次の病棟実習中のトレーニングを中心に実習が行われます。外科の基本的な手技から専門医を目指す方まで経験に合わせた段階別のトレーニングができる、外科寺子屋なども開催しています。



教育の特徴
グローバル教育
国際総合科学部
データサイエンス学部
医学部
大学院/研究施設
キャリアサポート/学生支援
キャンパスライフ
入試情報/学費/奨学金

看護学科



明日の看護のリーダーへ

看護学科は、1898年(明治31年)に創設された横浜市立十全看護婦養成所が源流となり、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関です。国際都市横浜において医学部を有する総合大学の看護学科であり、高度教養教育として求められる国際性、創造性、倫理観はもとより、他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができる豊かな人間力を持った人材の育成に取り組んでいます。看護学の専門教育機関として関係職種や地域住民とも連携し、人々の健康や生活の質の向上に貢献し、高度先端医療を担い、新しい時代の実践の場を改革できる、誇り高い人材の育成を目指しています。

■ 看護学科カリキュラム全体像

看護学は、看護師・助産師・保健師等が活動するにあたっての専門性の根柢を理論的・体系的に追究する実学としての学問領域です。本学科のカリキュラムは、共通教養科目と専門支持科目ならびに専門科目より構成されています。講義・演習・実習を通じて、生命の誕生から安らかな死に至るすべての人々のライフステージで必要とされ、かつ保健医療福祉機関から地域在宅等におけるあらゆる看護活動の場での看護実践活動を支える看護学の基礎を体系的に教授します。卒業の認定者には、看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格(選択制)が与えられます。本学の看護師国家試験および保健師国家試験の合格率は例年高い実績を収めています。



- 取得できる資格 ●看護師国家試験受験資格
●保健師国家試験受験資格(選択制)

■ 看護学科カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教養科目		○語学は Practical English 3 単位 もしくは Essential Practical English 2 単位 + 看護英語 1 単位				
		総合講義(4 単位選択必修)				
		○Practical English 情報コミュニケーション入門 1 単位 ○教養ゼミ 4 単位 ○病気を科学する 2 単位	○心を科学する 2 単位 ○倫理学 2 単位	○看護英語	○看護英語	
専門支持科目	看護生命科学	○看護形態・機能学 I ○看護形態・機能学 II	○看護生化学 ○看護微生物学 ○看護栄養学	○看護薬理学看護形態・機能学演習 ○臨床病態看護学 I	○臨床病態看護学 II	
	看護社会科学	○保健医療統計学 ○社会福祉学 ○人間発達学	○保健福祉行政論	○公衆衛生学 ○対人関係論	○対人関係論演習* ○看護情報学 ○看護経済学*	
専門科目	健康生活基礎看護学	○看護学概論	○基礎看護方法論 I ○基礎看護援助助論 I ○基礎看護学実習 I	○基礎看護方法論 II ○基礎看護援助助論 II ○基礎看護援助助論 III ○基礎看護学実習 II		
	健康生活応用看護学 I	成人看護学 I		○成人看護学概論 I	○成人看護方法論 I	○成人看護学実習 I ○成人看護学実習 II
		成人看護学 II			○成人看護学概論 II ○成人看護方法論 II ○成人看護演習 I	○成人看護学実習 III
		母性看護学		○母性看護学概論 ○母性病態・治療学	○母性看護方法論	○母性看護演習 ○母性看護学実習
		小児看護学			○小児看護学概論 ○小児病態・治療学	○小児看護方法論 ○小児看護演習
	老年看護学			○老年看護学概論	○老年看護方法論 ○老年看護学実習 I	○老年看護学実習 II
	精神看護学		○精神看護学概論 ○精神病態・治療学	○精神看護方法論	○精神看護演習 ○精神看護学実習	
健康生活応用看護学 II	在宅看護学		○在宅看護学概論	○在宅看護方法論 I	○在宅看護方法論 II ○在宅看護学実習	
	地域看護学		○地域看護学概論	○地域看護方法論 I ○地域看護学実習 I	○地域看護方法論 II ○地域看護方法論 III ○地域看護学実習 II* ○地域看護学演習 I* ○地域看護学演習 II*	
健康生活統合看護学	統合実践看護学	○看護の統合と実践 I(看護学の紹介)			○看護の統合と実践 II(卒業研究 I) ○看護の統合と実践 III(統合実習) ○看護の統合と実践 IV(卒業研究 II)	
	専門共通看護学		○看護倫理学	○家族看護学 ○看護教育論* ○感染看護学*	○災害看護学 ○看護管理学	
	国際看護学			○国際看護学 I ○国際看護学 II		

専門科目の対人関係論演習もしくは、医療安全学、看護経済学、感染看護学、看護教育論より科目1単位選択必修。 *印は、選択科目を示す。

Pick-up Curriculum

看護生命科学

1年次~2年次

看護生命科学では、健康に関する諸問題・課題を理解する基盤ともなる身体の形態・機能などに加え、身体を健康との関係からミクロ・マクロの視点より理解する科目である看護形態・機能学 I~II、看護生化学、看護微生物学、看護薬理学、看護栄養学、臨床病態看護学 I・IIなどを配置しています。さらに身体各部の構造や位置関係および生理機能について演習を通して理解を深めるために看護形態・機能学演習を配置しています。



看護社会科学

1年次~3年次

看護社会科学では、人間生活の営みの基盤となる発達や対人関係、さらに健康生活を支えるしくみを広く理解する科目である人間発達学・対人関係論・社会福祉学・保健福祉行政論・公衆衛生学などを配置しています。さらに選択科目として医療安全学・看護経済学のほか、心理学の諸理論を用いて医療・看護の対象である人の心理プロセスを理解できるようにゼミ形式で行う対人関係論演習なども配置しています。



健康生活応用看護学 I

2年次~4年次

健康生活応用看護学 I は、成人看護学 I・II・母性看護学・小児看護学・老年看護学・精神看護学の6領域から構成されています。ここでは人間の誕生から成長、発達、加齢までの生涯発達の視点を理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防、健康破綻や課題を有する人々の看護や精神機能の障害や危機状態にある患者・家族の看護について学修します。各看護学は概論、方法論、演習、実習で構成され、体系的に学べるよう配置しています。



健康生活統合看護学

1年次~4年次

健康生活統合看護学は、統合実践看護学、専門共通看護学、国際看護学より構成されています。統合実践看護学では、看護実践の向上に関わる課題探究に向けて研究方法論を学び、看護実践活動の中から、各自テーマを持ち看護実践をします。そして、その成果を科学的に論証し卒業論文としてまとめます。専門共通看護学は、健康生活応用看護学に横断的に関与し、より円滑に理解できる科目群として、感染看護学、看護管理学、家族看護学などを配置しています。



海外フィールドワーク

看護学科では、「海外フィールドワーク」の一環として、2016年度は以下の日程で学生が海外を訪れました。実習や演習で多忙な看護学生でも、YCUで培った語学力を生かして、海外での教育研究活動に取り組んでいます。

看護学科の国際的な取り組み

1 海外フィールドワーク

2016年度実績 ※内容は変更になる場合もあります。

開学フィールドワーク渡航先	渡航先	対象学年	実施時期
	ブラジル (リオグランデ・ド・スル州、サンタカタリーナ州)	4年次	7月
	フィリピン共和国 (イロイロ市、マニラ市)	2年次	8月

BRAZIL ブラジル

日系高齢者を対象にした巡回診療・家庭訪問に参加

ブラジルでは日本人医師による在伯日系高齢者を対象とした巡回診療・家庭訪問活動が行われています。学生たちは、リオグランデ・ド・スル州やサンタカタリーナ州における活動に参加し、問診、身体計測、血圧測定などを実際に担当しました。在伯日系永住者の方との交流を通して、日本で知ることのなかった歴史や思いに触れ、身体面のみならず、心理面や社会面についても把握した上で支援を行う必要性、さらに実践を通して健康教育のあり方についても学ぶことができました。また、現地での医療提供の実態や健康教育の現状を学び、日本の医療現場との違いを感じることで、将来、国際性豊かな人材、医療従事者として活躍する礎となる機会を得ることができました。



PHILIPPINES フィリピン

異文化の環境で母子保健や災害対策を学ぶ

2016年8月2日から6日間、フィリピン共和国イロイロ市およびマニラ市で看護学科2年生5名と教員3名がフィールドワーク活動を行いました。イロイロ市ではフィリピンのさまざまな医療施設や地域コミュニティを訪問し、フィリピンの母子保健や災害対策の現状と課題を学びました。また健康教育として、学生が現地の保育園児を対象に、災害時にも活用できる手ぬぐいを使用したおむつ交換の演習や手洗い指導を実施しました。ぬいぐるみや紙芝居、英語の替え歌など保育園児でも楽しめるように工夫したことで、多くの保育園児が興味深そうに参加してくれました。マニラ市ではWHO西太平洋地域事務局(WPRO)を訪れ、国際保健における最前線での活動についてレクチャーを受けました。本活動を通じ、日本と異なる環境や文化に触れることで、広い視野で物事を捉えることの重要性を学ぶことができ、国際的視野を養う機会となりました。



教育の特徴

グローバル教育

国際総合科学部

データサイエンス学部

医学部

看護学科

大学院/研究施設

キャリアサポート/学生支援

キャンパスライフ

入試情報/学費・奨学金

2 日本・アジア青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプラン)

フィリピンとの交流事業を実施

2017年1月に、フィリピン大学から学生10名と教員を受け入れ、「健康と看護—日本・フィリピンにおける母子保健と看護の役割」をテーマに5日間の交流事業を行いました。プログラム内容は主に「施設見学」「講義」「学生間交流」で構成し、本学附属市民総合医療センターや診療所、助産所、子育て支援施設などさまざまな周産期医療施設を見学したり、日本の母子保健制度や各施設の機能や役割についての講義を受けました。また国際看護学Iの講義にも参加してもらい、YCUの学生と合同でグループワークを実施したり、学生企画の交流会やまち歩きを実施することで、両国学生間の親睦を深めることができました。プログラムに参加したフィリピン大学の学生からは、多くの学びを得ることができ、貴重な経験になったとの感想が多くありました。



学生の声

現地の医療・看護を目の当たりにし、看護観の確立につながりました。

看護学科3年

山縣 彩乃 Ayano Yamagata

神奈川県立柏陽高等学校卒

夏休みに初めて海外フィールドワークに参加しました。私が訪れたフィリピンの病院では、ICU^{※1}のような緊急性の高い診療室でも私たち学生を気軽に受け入れてくださいました。また、急患の方が入ってくるER^{※2}の中では、本来横になってはいけな病状の患者さんが、他の患者さんにベッドを譲って椅子に座って休んでいたり、立っていたりなど、日本では見ることのない光景を目の当たりにして

衝撃を受けました。一方で、地域ぐるみで防災活動に取り組んでいたり、災害対策について自治体単位でまめにコミュニケーションを取っていたりなど、日本が見習うべき点についての気づきもたくさんありました。現地でのさまざまな体験が、自身の看護観の確立につながったと思います。機会があればもう一度参加し、前回の学びをより深めたいと思います。

※1 集中治療室 ※2 救急治療室



看護学科在学学生／卒業生の紹介



恵まれた環境での学びを通して、
人間性豊かな看護師を目指します。

看護学科2年
陸川 明梨 Akari Rikukawa 神奈川県立川和高等学校卒

YCUを選んだ理由は、2つの附属病院があり実習環境が充実していること、1年次に共通教養科目で他学部の学生と交流することで、広い視野が得られると考えたことから。Practical Englishと情報コミュニケーション入門の単位を早い時期に修得したことで、看護学の勉強に力を入れることができました。今後は講義や実習を通して、より専門的な知識や技術を身に付けていきたいです。また、たくさんの方々との関わりを通して、患者さんの心に寄り添うことができる豊かな人間性を育てていきたいと思っています。

1年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時間目	—	教養ゼミ	—	—	—
2時間目	—	教養ゼミ	—	—	—
3時間目	看護形態・機能学I	—	—	看護学概論	生物学入門
4時間目	看護形態・機能学II	—	—	総合講義(医療と社会)	—
5時間目	看護形態・機能学II	—	—	病気を科学する	総合講義(生命科学と環境)



患者さんや家族の話聞く貴重な機会も。
キャリアデザインを考える場も充実しています。

看護学科3年
大淵 悠香 Yuka Obuchi 秋田県立能代高等学校卒

附属病院を2つ有していること、横浜という国際的な大都市に立地していることからYCUを選びました。授業では、専門知識と共に根拠をもって看護を提供するための考え方を学ぶことに加え、患者さんや家族の方、現場で医療にたずさわる方のお話を聞く貴重な機会もあります。また、CNS*の方の講義を受けられるなど、看護師としてのキャリアデザインを考える場も充実しています。講義や実習などから「自分は看護師になって何をやりたいのか」について考え、看護について深く学んでいきたいと考えています。

(※) 専門看護師

2年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時間目	臨床形態学I	地域看護学概論	臨床形態学I	基礎看護援助論II	保健福祉行政論
2時間目	臨床形態学I	母性看護学概論	看護薬理学	基礎看護援助論III	保健福祉行政論
3時間目	精神看護学概論	在宅看護学概論	看護倫理学	基礎看護援助論III	看護形態・機能学演習
4時間目	母性形態・治療学	保健医療統計学	看護倫理学	基礎看護方法論II	看護形態・機能学演習
5時間目	精神形態・治療学	保健医療統計学	社会福祉学	基礎看護方法論II	—



実習が横浜市内で、卒業後就職する際の
イメージが湧きやすいのが魅力です。

看護学科4年
武田 優希 Yuki Takeda 神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校卒

看護師の魅力は、キャリアアップしていく中で、専門とする科を変更したり専門看護師、認定看護師といった資格取得に挑戦したりなど、自分のやりたいことを選択し続けることができると感じています。YCUは、横浜市内に実習先が多く、卒業後就職する際のイメージが湧きやすいのが魅力です。また、隣に附属病院があるため、授業等でも看護師さんからさまざまな実務について実際に学ぶことができます。自分の将来について常に考えることができる恵まれた環境にあることを実感しています。

3年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時間目	—	—	地域看護方法論II	—	—
2時間目	—	在宅看護方法論I	地域看護方法論II	精神看護学演習	—
3時間目	成人看護演習II	小児看護方法論	老年看護方法論	母性看護学演習	看護情報学
4時間目	成人看護演習II	国際看護学II	老年看護方法論	—	—
5時間目	—	—	—	—	—

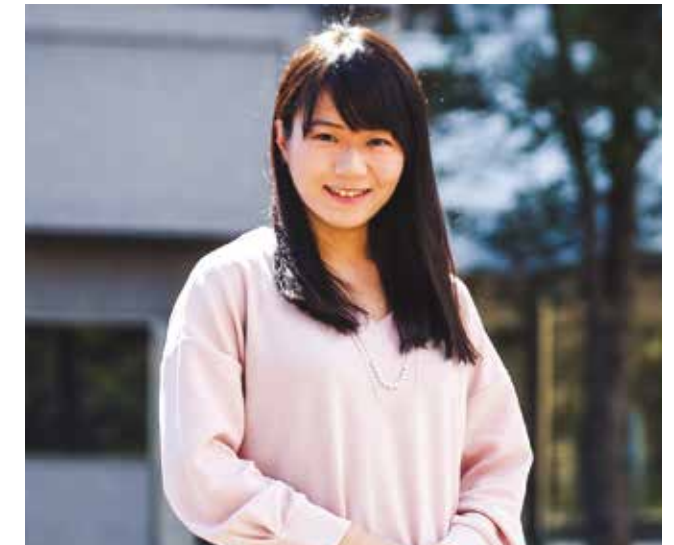


進路ガイダンスを通して将来についてじっくり
考え、就職活動に取り組むことができました。

2017年3月卒業
新井 麻衣子 Maiko Arai 神奈川県立厚木高等学校卒

実習では、実際に患者さんと関わる中で、座学では学びきれない患者さんの思いや生活について知ることができました。進路ガイダンスを通し、どのような看護師になりたいか、どのような環境で働きたいかなどについてじっくり考えた上で就職活動に取り組むことができました。また、奨学金制度のおかげで実習や勉強に集中して取り組み、充実した学生生活を送ることができました。今後は、患者さん一人ひとりとしっかり向き合い寄り添っていける看護師になれるよう頑張ります。

横浜市立大学附属市民総合医療センター 就職



実習を通して「患者さんの数だけ看護がある」
という大切なことに気づきました。

2017年3月卒業
中島 優花 Yuka Nakajima 東京都立武蔵野北高等学校卒

高度で先進的な医療を担う2つの附属病院を有していること、海に囲まれたのびのびとした環境であることからYCUを選択しました。実習では、多くの患者さんやそのご家族との関わりを通して一人ひとりの価値観や生活背景に触れ、「患者さんの数だけ看護がある」という大切なことに気づきました。今後は、YCUで学んだ知識と技術、日々の学びから培った看護への思いを礎に、一人ひとりの患者さんに寄り添い、個を意識した看護を実践できる看護師になれるよう精進していきます。

横浜市立大学附属病院 就職

看護学科 修学資金貸与制度

看護学科3・4年次生で、YCU卒業後直ちに附属2病院(附属病院・附属市民総合医療センター)に就職を希望する学生に対して、修学資金を貸与する制度です。貸与を受けた期間に相当する期間、附属2病院で業務に従事した場合は返還が免除となります。また、優秀な人材確保とキャリア支援の一環として、2016年度の規程改定により、助産課程やYCU大学院への進学期間における修学資金の返還猶予が認められています。

主な就職・進学先

- <主な就職先>
 - 横浜市立大学附属病院
 - 横浜市立大学附属市民総合医療センター
 - 虎の門病院
 - 横浜市市民病院
 - 横浜南共済病院
 - 横浜市(保健師)

- <主な進学先>
 - 横浜市立大学大学院 医学研究科 看護学専攻
 - 神奈川県立衛生看護専門学校 助産師学科
 - 東京大学 健康科学看護学専攻

国家試験合格状況

本学科では、毎年全国トップクラスの国家試験合格率を実現しています。4年次には4月に個別面談を実施して指導や支援を行い、伸び悩んでいる学生には補習講義や随時のフォローアップ面接など、きめ細かいサポートが特色です。

看護師
国家試験

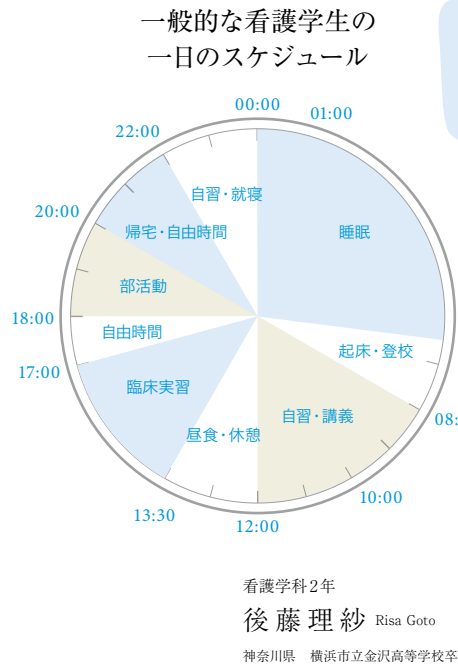
合格率
2017年3月
卒業生 **99.1%**
(全国平均 88.5%)

保健師
国家試験

合格率
2017年3月
卒業生 **100%**
(全国平均 90.8%)

看護学生の1日

YCUの医学部看護学科の学生は、2年次以降の専門課程を福浦キャンパスにある看護教育研究棟で学びます。看護学生のある1日のスケジュールを通して、看護教育研究棟を紹介します。



看護教育研究棟



大・中・小の多くの講義室のほかに、領域ごとの看護学実習室があり、これらには130インチの大画面ビデオプロジェクターをはじめとした AV 設備が設置され、講義やさまざまな催し物に利用されています。



12:00 食堂

たくさんのメニューがある食堂は、グラムの量り売り形式のビュッフェも取り入れています。隣にはラウンジもあり、講義の合間にほっと一息ついたり、おしゃべりしたりして過ごすスペースがあります。

お弁当を持参したり、食堂のビュッフェにワクワクしたり♪



18:00 部活動

医学科生、看護学科生が所属する医学部水泳部で活動しています。学業と両立しながら、試合に向けて練習に打ち込んだり、イベントを楽しんでいます。部活動で金沢八景キャンパスの体育館(プール)に行くので、学部を越えた交流があるのも魅力です。



普段は自転車で通学しています!

8:00 看護教育研究棟

駅から徒歩4分の看護教育研究棟。多くの講義室の他に、8つの看護学実習室があり、日々看護について学修・研究を行っています。

自習の時はここで集中してレポート等を作成しています。



授業では皆が前の席に座るので、早くから来るようにしています。

11:00 大講義室

さまざまな大きさの講義室がある中でも、大講義室は140席あるため、音響設備も充実。さらに、電動式黒板が大型スクリーンに切り替わり、映像を用いた授業も行えるようになっています。

9:00 情報処理教室

ITリテラシーの育成を目的とする情報処理教室。設置されている100台のコンピュータには、レポート作成や課題発表に使用されるOffice系ソフトだけでなく、看護研究のための統計処理を行う解析ソフトも搭載しています。



白衣に着替えて午後の授業に向けて準備!

14:30 母性看護学実習室

女性の妊娠から出産における母性看護の技術を学ぶ実習室です。新生児(赤ちゃん)のモデル人形で沐浴や授乳・おむつ交換などを実習したり、妊婦のシミュレーションで診察から分娩までを演習します。



16:30 基礎看護学実習室

病気や障害がある人の日常生活動作(清潔・食事・移動など)を助け、安全・安楽に生活できるようにするための看護の技術や、検査・診療の補助に関する基礎的な看護技術(血圧測定や採血など)を学びます。

【YCUのここがスゴイ!】

「看護英語」の授業では、近隣に住む英語を母国語とする外国人の方々に、患者役としてYCUの実習に協力いただいています。日本で看護を必要とする外国人も増える中、YCUは先駆的に看護英語の実習を行っています。

身近な実習機関として貴重な場を提供する2つの附属病院

横浜市立大学附属病院

(福浦キャンパス)



福浦キャンパスに医学部と共に立地する附属病院は、370万人の横浜市民の医療の最後の砦として安全かつ高度な医療を提供しています。高度先進医療の開発と発展を推進する、横浜市内唯一の「特定機能病院」であり、「地域がん診療連携拠点病院」「神奈川県エイズ治療の中核拠点病院」「災害拠点病院」の役割を担うなど、各領域で最高水準の医療・看護を提供しています。さらに、医療人を養成する機関として大学の医学教育の根幹を担い、附属市民総合医療センターと協同して、多くの実習生や臨床研修医を受け入れています。また、地域医療連携の中核として県内の医療機関との連携を図り、地域全体の医療の向上に貢献しています。

病院長・卒業生メッセージ



顔なじみの仲間が近くで働く、力強い環境。

研修医として月単位でさまざまな科をローテートしています。主に入院患者さんを中心に回診やカンファレンスをして何か変わったことがないか確認し、検査治療の方針を立てています。検査や手術は上級医の先生と行い、自分が執刀医になることもあります。当直では病棟の業務に加え、急患も対応しています。医学部では、ほとんどの学生が医師や看護師になる状況のなか、学年や部活動・サークルを通じた縦横のつながりが強く、近郊のさまざまな病院に知っている先輩や同期、後輩がいることが大きな魅力です。

附属病院 研修医
片山 裕貴 Hiroki Katayama
2016年3月 横浜市立大学 医学部医学科 卒業
神奈川県 私立神奈川大学附属高等学校卒

目の前にいる患者さんのより良い生活を支援。

整形外科病棟に勤務し、患者さんが術前から術後の経過をイメージできるようオリエンテーションを行い、安心して手術に臨めるよう支援しています。手術後は、退院後の患者さんのより良い生活を考え、リハビリテーションを進めています。YCUは1年次に共通教養科目があり、他学部の学生との交流を通じて視野を広げることができました。2年次からは専門科目が主となり、講義や実習を通して自分が目指す看護について考える機会がたくさんありました。YCUでの大学生活を楽しみながら、多くのことを学んでください。

附属病院 看護師
益田 ゆず香 Yuzuka Masuda
2016年3月 横浜市立大学 医学部看護学科 卒業
神奈川県 横浜市立金沢高等学校卒

患者さんの思いをくみ取り、最善を尽くす医療人を育成。

ここでの病棟実習では、さまざまな疾患・症例を目の当たりにし、多くの患者さんと触れ合う機会に恵まれています。実習で大切なのは、人を思いやる心を育むこととコミュニケーション力を向上させることで、「人としての成長」と言い換えられるでしょう。私たちが教えられるのは、知識と技術です。人間的な成長は、自分に足りないものに気づき、それをひとつずつ積み重ねていけばよいことで、一足飛びに焦る必要はありません。医学科の5年生は、よりドクターに近い立場で臨床に立つようになります。そのときに、医学的な最善策が患者さんの望む方法とは限らないといったような、「医療と医学の違い」に直面するかも知れません。医療には相手の気持ちをくみ取る心が必要です。安全性を確保しながら、医療人として患者さんの気持ちと医療に関わるすべてのスタッフのことも考慮した最善策を実行するプロセスを学び取ってほしいと思います。

附属病院長
相原 道子 Michiko Aihara

横浜市立大学附属市民総合医療センター

(横浜市南区浦舟町)



附属市民総合医療センターは、市民の生活に密着した医療機関であると同時に、市内唯一の高度救命救急センターを有する三次救急医療の拠点でもあります。当院は地域の基幹病院として、市、県および地域医療機関との連携関係のもと、「神奈川県総合周産期母子医療センター」「神奈川県精神科救急医療基幹施設」「災害拠点病院」「地域がん診療連携拠点病院」など、政策的医療を実施するとともに、高度で先進的な医療や合併症など集学的治療を必要とする症例の受入を進めています。さらに、「地域医療支援病院」として他の医療機関との連携と役割分担を今後ますます進めながら、横浜市の医療の充実に貢献していきます。

病院長・卒業生メッセージ



最先端の高度医療から地元密着型医療まで、幅広く学べる環境。

附属市民総合医療センターは、高度専門医療や救急医療を通じて地域社会に多大な貢献をする、まさに横浜のインフラです。YCUは福浦、浦舟(センター)という、歴史と特徴の異なる2つの附属病院を有し、高度先進医療から地域密着型医療まで幅広い医療を、多くの症例に接しながら実習・研修できる環境を整えています。この恵まれた環境が、国家試験の合格率の高さや初期臨床研修医受け入れのフルマッチの達成に繋がっていると自負しています。医療職は、身に付けた専門知識を目の前の患者さんに直接役立て、目の前で患者さんの喜びを直接感じる、やりがいのある職業です。YCUで社会に貢献する医療人としての資質を大いに高めてください。

附属市民総合医療センター病院長
後藤 隆久 Takahisa Goto

チーム全体で患者さんを支えることが大きなやりがい。

YCUでは看護学科だけでなく医学科も併設しているため、医療分野の知識をより深めることができ、さらには附属2病院において先進医療や地域医療にも触れることができます。私は現在、GICU(集中治療部)で、患者さんの循環・呼吸・意識・代謝などの全身状態を24時間体制で看護し、治療にあたっています。大手術を終えたあとに入室する重症な患者さんが多いため、急性期の看護に携わることが出来ます。患者さんが呼吸器を離脱し、回復していく過程をチーム全体でサポートしているので、大きなやりがいを感じます。

附属市民総合医療センター 看護師
浅倉 しおん Shion Asakura
2016年3月 横浜市立大学 医学部看護学科 卒業
秋田県立秋田高等学校卒

附属の病院だからこそできる、臨床でのさまざまな経験。

現在、初期臨床研修医2年目として勤務しています。主に入院患者さんの診察、治療などに携わっています。未熟な部分も多く、日々反省の連続ですが、上級医のアドバイスのもとさまざまな臨床経験を積むことができ、充実した毎日を送っています。受験生の皆さんにとって、大学受験はその後の人生に大きく関わってくるイベントであり、志望校選びに迷われている方も多いかと思います。YCUでは横浜市内だけではなく、全国各地から学生が集まっており、幅広い人間関係を築けることが大きな魅力です。

附属市民総合医療センター 研修医
山田 塁 Rui Yamada
2016年3月 横浜市立大学 医学部医学科 卒業
神奈川県 私立栄光学園高等学校卒

都市社会文化研究科

■ 都市社会文化専攻

博士前期課程
博士後期課程

Graduate School of Urban Social and Cultural Studies

大学院 ● 関連する学部・学系：国際総合科学部国際教養学系・国際都市学系



多分野融合型のカリキュラム編成と地域社会との実践的連携

都市に関わる課題を中心に、人文科学を基盤としつつ、社会科学、さらに自然科学の一部におよぶ豊富な授業科目を用意し、人間と文化の理解を基礎に社会の多様な課題に取り組むことのできるカリキュラムを提供します。また、国際都市横浜の公立大学に開設された大学院という特性を生かし、横浜市関連団体・市内に立地する国際機関・NPOなどと連携して講師の受け入れ・インターンシップ・研究生の受け入れ・共同研究などの取り組み、さらに実践的な感覚を養う目的でフィールドワークを推奨しています。半数近い授業科目を平日夜間および土曜日に開講し、博士前期課程では修士論文によらない修了も可能とするなど、社会人も学びやすい条件を整え、積極的に受け入れています。

■ 都市社会文化研究科 修了後の主な進路 2010年度～2016年度修了者

博士前期・後期課程			
【就職】			
近畿日本ツーリスト株式会社 株式会社近鉄エクスプレス 積和不動産株式会社	テルモ株式会社 株式会社日立製作所 株式会社毎日新聞社	藤沢市役所 株式会社ワークスアプリケーションズ 横浜市役所	【進学】 横浜市立大学大学院 名古屋大学大学院 上智大学大学院 など

国際マネジメント研究科

■ 国際マネジメント専攻

博士前期課程
博士後期課程

Graduate School of International Management

大学院 ● 関連する学部・学系：国際総合科学部経営科学系 / データサイエンス学部



グローバル経済に対応したカリキュラムとサービス・サイエンス研究プログラムの提供

グローバル化が進む企業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。この目標を達成するため、博士前期課程では履修科目群を「基礎科目群」と「応用科目群」とで構成し、段階的に専門知識を身に付けていける体制を整えるとともに、特定の指導教員による2年間の研究を通し、問題発見、問題解決、プレゼンテーション等の能力の向上を支援します。近年海外から注目されているわが国のサービス・ビジネスについて専門的かつ科学的に研究を進めることを目的とする、「サービス・サイエンス研究プログラム」が提供されている点も、本研究科の特色です。所定のプログラム対象科目を一定単位以上取得した場合、本研究科により、サービス・サイエンス研究プログラム修了者として認定しています。

■ 国際マネジメント研究科 修了後の主な進路 2010年度～2016年度修了者

博士前期・後期課程			
【就職】			
株式会社アイネット 株式会社NTTデータ 株式会社NTTデータ経営研究所 NTTデータシステム技術株式会社	京セラコミュニケーションシステム株式会社 日本アイ・ビー・エム株式会社 日本電気株式会社 (NEC) パナソニック株式会社	株式会社日立ビルシステム 株式会社富士通ゼネラル フューチャーアーキテクト株式会社 マルハニチロ株式会社	ヤマハ株式会社 東京都 など

生命ナノシステム科学研究科

■ 物質システム科学専攻
■ 生命環境システム科学専攻

Graduate School of Nanobioscience

大学院 ● 関連する学部・学系：国際総合科学部理学系 / データサイエンス学部



自然科学の階層的専門研究を融合するカリキュラム編成と国際化推進

ゲノム科学・タンパク質科学・細胞生物学・構造生物学・計算科学・物質科学を基盤として、複雑な生命現象を分子・原子からなるナノシステムとして捉え、理解するカリキュラムを編成しています。次世代の薬品開発・食品開発・環境問題を解決する生物開発・物質開発、情報・エネルギーに関連するデバイス開発などの幅広い分野で活躍するための教育を行います。また、国内外の先進的な研究機関と連携するとともに、海外の研究者との交流や学生の交換交流を積極的に図り、国際的な人材の育成を目指しています。さらに、知的財産管理の知識、起業に関する知識を修得するための講義科目を設け、社会的なキャリア形成の構築ができるよう支援します。

物質システム科学専攻

博士前期課程
博士後期課程

8つの部門

- ナノ物質科学
- 光物質科学
- 量子表面科学
- 計算物質科学
- 集積情報科学
- 知覚情報科学
- 物質計測科学
- 有機物質科学

ナノ科学の発展に大きく貢献できる人材を育成

基礎科学から生まれた知識・科学技術は現在ではナノ科学として開花し、物質現象だけでなく生命現象を解き明かす計測原理や情報解析原理のイノベーションを創出しています。本専攻では、電子・原子・分子の視点から、生命物質を含めたナノシステムに対して、“実験科学”（合成・計測・評価）と“計算科学”（計算・情報・予測）を駆使することで、ナノシステムの原理を理解するだけでなく、新たなナノシステムを創出することにより、社会に貢献します。また、ナノシステムに基づいてエネルギー・環境問題を科学的にとらえる教育や、情報社会への寄与も積極的に行います。

■ 生命ナノシステム科学研究科 修了後の主な進路 2010年度～2016年度修了者

物質システム科学専攻		生命環境システム科学専攻	
博士前期課程		博士前期課程	
【就職】		【就職】	
株式会社IHI エスエス製薬株式会社 株式会社NTTデータ カシオ計算機株式会社 気象庁 キヤノン株式会社 昭和シェル石油株式会社 ソフトバンク株式会社 チロルチョコ株式会社	テルモ株式会社 トヨタ自動車株式会社 日産化学工業株式会社 日本調剤株式会社 日本発条株式会社 株式会社野村総合研究所 日立化成株式会社 株式会社メタルワン 株式会社LIXIL	アース製薬株式会社 小野薬品工業株式会社 オリンパス株式会社 塩野義製薬株式会社 シミック株式会社 自然科学研究機構 国立天文台 新日鐵住金株式会社 中外製薬株式会社 ネスレ日本株式会社	バイエル薬品株式会社 ホーユー株式会社 丸大食品株式会社 株式会社LSIメディアエンス 株式会社明治 Meiji Seika ファルマ株式会社 独立行政法人理化学研究所 株式会社横浜銀行
【進学】	横浜市立大学大学院	【進学】	横浜市立大学大学院 京都大学大学院
博士後期課程		博士後期課程	
【就職】		【就職】	
京セラ株式会社 国立大学法人東京工業大学	独立行政法人理化学研究所	など	旭硝子株式会社 大阪大学工学研究科附属高度人材育成センター 沖縄科学技術大学院大学 国立研究開発法人海洋研究開発機構
			公益財団法人がん研究がん研究所 独立行政法人理化学研究所 済州大学校 など

生命環境システム科学専攻

博士前期課程
博士後期課程

8つの部門

- ゲノム科学
- 遺伝資源科学
- 応用ゲノム科学
- 極限環境ゲノム科学
- バイオプロダクト科学
- 環境システム科学
- 発生システム制御科学
- 分子細胞ネットワーク科学

生命システムをゲノムの視点から研究し、高い専門性を身に付ける

生命の基本設計図であるゲノム生物学を基盤とし、多様な環境に生きる動物・植物・微生物の生体分子の構造と機能を解明します。基礎生物学、農学、薬学、生化学などをバックグラウンドとして、生体分子のネットワークとしての代謝、細胞、個体、生態系をシステムズ生物学の視点から明らかにすることにより、食糧・健康・環境などの人類のかかえる課題の解決に貢献することを目指します。将来、環境生命科学分野で活躍できる専門家、時代が必要とするバイオ分野の学術・産業諸課題の解決に意欲と能力を持つ優れた人材を育てます。

生命医科学研究科

■ 生命医科学専攻

博士前期課程
博士後期課程

Graduate School of Medical Life Science

大学院 ● 関連する学部・学系：国際総合科学部理学系 / 医学部医学科

ポストゲノム時代の新しい生命医科学の教育研究と最先端研究機関との密着した連携



生命医科学専攻

生命医科学研究科では、既存の物理学・化学・生物学・遺伝学・情報科学をより一層総合化し、その手法を細胞生物学を含めた先端医学研究へ応用展開できる教育体制を構築しています。メインキャンパスは、理化学研究所横浜キャンパスに隣接した鶴見キャンパスであり、現在の理化学研究所との連携大学院を継続することに加え、生命医科学の出口を見据えた連携をより一層広げるために、横浜市立大学医学研究科をはじめ、産業技術総合研究所 (AIST)、国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) とも連携して教育を行います。また、生命医科学研究の基盤となるさまざまな新技術の開発も推進していきます。

医学研究科

■ 医科学専攻
■ 看護学専攻 ※

修士課程 博士課程
修士課程

Graduate School of Medicine

大学院 ● 関連する学部・学系：国際総合科学部理学系 / 医学部医学科・看護学科

医学、医療分野、生命科学の発展に大きく貢献できる国際的な指導者を育成



医科学専攻

医科学は現在、基礎研究とその臨床応用・開発研究が最も盛んな科学分野の一つです。本医科学専攻が目指すことは、基礎研究から臨床研究へ、臨床現場から研究室への双方の視点を持ち、さらには医療が行われる社会とのつながりを俯瞰し、課題解決に向けて飽くなき努力を続けることのできる独創性と人間性の豊かな人材を育成することです。

医科学専攻修士課程

医科学、医薬品食品の基礎研究、臨床開発の分野で貢献できる研究者、高度専門職業人を育成

医科学専攻博士課程

医学、医療分野の発展に貢献できる指導者を育成

看護学専攻

※看護学専攻(博士後期課程) 2018年4月開設に向け設置認可申請中。認可後、修士課程は博士前期課程となります。

目的

広い視野に立脚して看護学の専門性を追究するとともに、エビデンスに基づいた看護実践ができる専門看護師や周産期看護師をはじめとした高度実践看護師、看護学の実践的研究能力をもって現場を改革できる看護管理者、また、看護学について高い博識をもつ看護教育者や看護学研究者を育成します。これらを通じて、国際都市横浜に初めて設立された看護専門職の公立教育機関としての使命、地域貢献を果たします。

教育理念目標

幅広い教養と豊かな人間性、生命と個人の尊厳を尊ぶ高い倫理観と国際的視野を備え、高度な看護専門職として保健医療福祉及び看護サービスを受ける人々の健康と福祉、地域社会の発展に貢献できる人、また、高度な科学的思考や研究的アプローチを駆使して看護界、看護教育界、看護学研究の発展に寄与できる人を育成することを目指します。



生命医科学専攻 8つの部門

- 構造医科学
- 機能構造
- 創薬基盤
- エピゲノム
- システム生物学
- 細胞医科学
- オミックス
- 生体医科学

■ 生命医科学研究科 修了後の主な進路 2011年度～2016年度修了者

博士前期・後期課程			
[就職]			[進学]
エスピー食品株式会社 川澄化学工業株式会社 協和発酵キリン株式会社	株式会社江東微生物研究所 キリン株式会社 JFEシステムズ株式会社	ダイキン工業株式会社 中外製薬株式会社 ライオン株式会社	横浜市立大学大学院 京都大学大学院 など 東京工業大学大学院 など

■ 修士論文テーマ例 2016年度修了者

- 分子動力学シミュレーションによるジユピキチンの分子認識機構の解析
- インフルエンザウイルスM2と宿主因子LC3との構造生物学的研究
- ヒト脳構造維持に必須な役割を果たす微小管制御タンパク質TBCDの機能解析
- TATA配列結合タンパク質 (TBP) とc-Mycの相互作用解析
- 薬剤探索に向けた細胞形態の定量的評価系の構築
- 腸内細菌が生成する脂肪酸代謝物の高分離分析技術の確立
- 染色体分配に関与するCAMPとRev7複合体の構造生物学的研究
- DNA修復に関わるヌクレアーゼHANの構造研究

■ 医学研究科 修了後の主な進路

修士課程			
[就職]			[進学]
日本調剤株式会社 中外製薬株式会社 第一医科株式会社 昭和産業株式会社	株式会社ワールドインテック 株式会社エスアルディ 横浜市教育委員会 ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社	プレシジョン・システム・サイエンス株式会社 バクセル・インターナショナル株式会社 シミック株式会社 クリニプロ株式会社	横浜市立大学大学院 日本獣医生命科学大学 など
博士課程			
[就職]			
横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター 済生会横浜市南部病院 独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜保土ヶ谷中央病院	南東北がん陽子線治療センター 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 特定医療法人財団 慈啓会 大口東総合病院 独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター	大和市立病院 国立保健医療科学院 国立大学法人東京医科歯科大学 国際医療福祉大学 熱海病院 公益財団法人がん研究会有明病院	茅ヶ崎市立病院 横浜労災病院 横浜南共済病院 など

看護学専攻 12の分野

- 看護生命科学分野
- 基礎看護学分野
- 周産期看護学分野
- 看護管理学分野
- 感染看護学分野
- 母性看護学分野
- 老年看護学分野
- がん・先端成人看護学分野
- 精神看護学分野
- がん看護学分野
- 小児看護学分野
- 地域看護学分野

■ 看護学専攻修士課程修了者の主な就職先 (現職・復職を含む)

病院など			
横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター 神奈川県立がんセンター	神奈川県立循環器呼吸器病センター 済生会横浜市東部病院 横須賀市立市民病院	横浜労災病院 横浜南共済病院 東京大学医学部附属病院	自治体 (横浜市、東京都特別区) など
教育研究機関			
横浜市立大学	慶應義塾大学	公益財団法人日本訪問看護財団	など
CNS (専門看護師) 合格者 (過去4年実績) 感染看護学 3名 がん看護学 1名 精神看護学 4名			

研究施設・連携研究機関

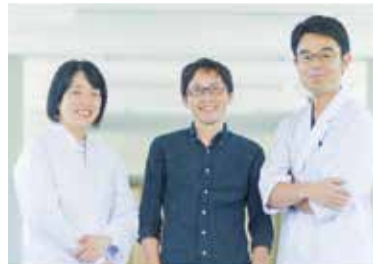
■ 先端医科学研究センター（福浦キャンパス）



がん、生活習慣病などの克服を目指した基礎研究と、その成果を臨床に応用する橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ）を推進しています。

横浜市立大学先端医科学研究センターは、2006年に設置された大学直属の研究センターです。臨床への橋渡し研究を推進するとともに、各解析センター等の研究活動を基盤にさまざまな国家プロジェクト等に参画するなど、国内有数のライフサイエンス研究拠点として、着実な成果を重ねてきました。

2015年からは、URA推進室と連携し、戦略的な取組を一層強化したほか、企業との共同研究を行う「産学連携ラボ」も拡充するなど、優れた研究成果を社会に還元できるよう取組を進めています。



専任教員

- プロテオミクス 准教授
木村 弥生 Yayoi Kimura
- バイオインフォマティクス 准教授
中林 潤 Jun Nakabayashi
- トランスレーショナルリサーチ 准教授
芝田 渉 Wataru Shibata



プロテオーム解析センター



ゲノム解析センター



セローム解析センター

■ 次世代臨床研究センター（附属病院）



臨床研究を円滑かつ安全に実施するための支援を行っています。

2015年度に発足した次世代臨床研究センター（Y-NEXT）は、病院長を中心とし、臨床研究を専門とするプロフェッショナルが集結して、全学的な臨床研究の支援を行っています。私たちY-NEXTが担うのは、「夢の治療法」を「あたり前の選択肢」として確立するための臨床研究を推進することです。

トランスレーショナルリサーチ体制



■ 鶴見キャンパス

世界最高レベル高感度NMR装置を用いた生体高分子の研究を行っています。

NMR（核磁気共鳴）装置は、医薬品などの有機化合物のみならず、細胞や組織を構成するタンパク質、核酸、脂質などの生体分子を、非破壊的に原子レベルで観測できる卓越した研究機器です。鶴見キャンパスには500、600、700、800、950MHzとさまざまな静磁場強度の超電導磁石をもつNMR装置があります。中でも950MHz-NMRは世界トップレベルの感度を誇り、高速液体クロマトグラフィーで分離した化学物質をリアルタイムで検出できるように設計されています。これにより、超微量の代謝物質などを分解される前に同定でき、より大きな生体内タンパク質の立体構造や触媒作用に関するダイナミクスも解析できるようになりました。NMR解析から得られる情報は、新たな生命現象の解明のほか、タンパク質が関与する疾病の原因究明、薬剤設計などの創薬研究、機能性食品の開発など、多岐に活用することができ、最先端の研究を推し進めることが可能となります。さらに950MHz-NMRは溶液の試料だけでなく、神経変性疾患の原因であるアミロイドなど固体の試料でも測定できるようになっており、外部の大学や企業からの研究者にも広く利用されています。



950MHz超高感度LC-NMR装置

■ 木原生物学研究所

最先端の植物研究を舞岡から発信しています。

舞岡キャンパスにある木原生物学研究所は、コムギ等の高等植物に関する遺伝学や進化の偉大な業績でゲノムの概念を世界に先駆けて提唱した木原均博士が設立した研究所を源流としています。現在はYCUの附置研究所として、理化学研究所及び農業・食品産業技術総合研究機構とも連携し、コムギ・トウガラシ等をはじめとする最先端の植物研究を展開しています。数千系統のコムギや数百系統のトウガラシを保有し、そこから集めた遺伝子情報を基に遺伝資源を有効に活用する研究、それらのリソースをゲノム情報に置き換える研究、ゲノム情報をもとに現象を解明し実社会で役立てる研究等を行うとともに、学生の教育に携わっています。



■ 連携大学院・協定研究機関など

連携大学院

生命ナノシステム科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス 物質・材料研究機構 (NIMS)	海洋研究開発機構 (JAMSTEC) NTT 物性科学基礎研究所 など	農業・食品産業技術総合研究機構
生命医科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス	産業技術総合研究所 (AIST) など	
医学研究科	放射線医学総合研究所 国立感染症研究所 国立国際医療研究センター	理化学研究所 横浜市立市民病院 神奈川県立子ども医療センター	公益財団法人がん研究会 がん研究所 神奈川県立がんセンター臨床研究所 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) など
			国立成育医療研究センター 横浜市立脳卒中・神経脊髄センター など

その他の協定研究機関・大学

生命ナノシステム科学研究科	台湾師範大学	チェンマイ大学 など
生命医科学研究科	浦項工科大学校 など	
医学研究科	テキサス州立大学MDアンダーソンがんセンター	サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所 カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) 横浜国立大学との医工連携 など

夢を実現するキャリアサポート



YCUではキャリア支援センターが中心となり、入学から卒業まで、自己のキャリアにおける目標を達成するための多様なプログラムを提供し、卒業後のキャリア形成を支援しています。

合同企業セミナー

YCU学生の採用を積極的に検討している企業に出展いただき、学内で企業説明会を実施しています。学外で行われる企業説明会とは異なり、YCU学生のみを対象とするため、企業の人事担当者より密接なコミュニケーションが図れます。2016年度は4日間で計187社が出展し、延べ約1,100名の学生が参加しました。このセミナーに出展している企業へ就職する学生も毎年多数います。



■合同企業セミナーの主な出展企業 (法人格省略)

IHI、あいおいニッセイ同和損害保険、アサヒビール、伊藤忠食品、大林組、オービック、沖電気工業 (OKI)、小野薬品工業、花王、かながわ信用金庫、兼松エレクトロニクス、京セラ、阪和興業、JA共済連、JFE商事、鈴与、住友生命保険、住友倉庫、大成建設、大鶴薬品工業、大和証券グループ、高島屋、タキヒヨー、帝国データバンク、帝国ホテル、豊島、日本政策金融公庫、日本生命保険、パソナグループ、ファンケル、富士ゼロックス、ポーラ、丸井グループ、丸紅、三井不動産レジデンシャル、三菱地所レジデンス、ゆうちょ銀行、横浜銀行、横浜信用金庫、ライオン、LIXIL、りそなグループ、ルミネ 他多数

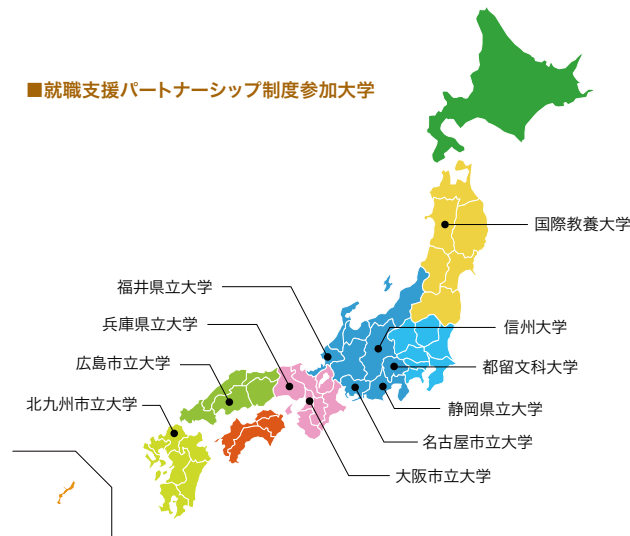
キャリア・進路相談

YCUでは専門のキャリア・コンサルタントが常駐しており、個性の高いキャリア相談を行っています。1年次から相談が可能で、希望する進路や将来のキャリア像を話しながら一緒にキャリアプランを立てていきます。継続的に相談することでプラン作成後の行動の振り返りやアドバイスも可能です。また、就職やキャリアプランへのさまざまな障害への対処方法といったコーチングも行います。

Uターン・Iターン支援

首都圏以外の各地方で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、Uターン・Iターン就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を全国10大学と連携して行っています。学生は、就職を希望する地域のパートナー10大学で地元企業の求人情報閲覧や就職支援部署のラウンジ等の利用、個別相談などの就職支援を受けられます。関東圏以外の出身で、卒業後に地元へ戻る学生への支援も充実しています。

■就職支援パートナーシップ制度参加大学



国内インターンシップ

企業や官庁と連携して在学生在を優先的に受け入れるYCU独自枠も多くあり、毎年多くの学生が参加しています。

■国内インターンシップ実習先実績 (2016年度) ※法人格省略

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■製造業
積水メディカル、大同特殊鋼、日本発条 ■情報通信・マスコミ
NHK、NTTソフトウェア、富士通エフサス、毎日新聞社横浜支局、みずほ情報総研、琉球新報社 ■運輸・物流
日新、日本物流団体連合会、丸全昭和運輸、山九 ■卸売・小売
ニトリ ■専門サービス・医療・福祉
総合メディカル、税理士法人アイ・パートナーズ、新日本プロレスリング、みなとみらい特許事務所、大和リゾート、ゆうあいクリニック | <ul style="list-style-type: none"> ■金融・保険
かながわ信用金庫、静岡銀行、損害保険ジャパン日本興亜三井住友海上火災保険、横浜銀行 ■国際機関
JICA横浜、ITTO、WWFジャパン ■教育・学術機関
宇宙航空研究開発機構 (JAXA)、横浜市立大学 ■官公庁
横浜市政府、岩手県庁、神奈川県庁、群馬県大町役場、東京都庁、栃木県庁、長野県庁、広島県庁、新潟市役所 |
|--|---|

海外インターンシップ

グローバル企業や現地日系企業でインターンシップを実施しています。派遣国はアメリカやオーストラリアなどの英語圏のみならず、日本企業の進出が多い中国やインドなどの新興国まで、多岐にわたっています。所定の成果を修めた学生は、大学および後援会から渡航費用の一部が助成され、費用負担を軽減することができます。

■海外インターンシップ派遣実績 (2016年度)

オーストラリア (シドニー、メルボルン、ブリスベン)、アメリカ (ロサンゼルス)、インド (ブネー)、シンガポール、ベトナム (ハノイ)、中国 (上海)、韓国 (ソウル)



■その他イベントも多数開催!

就職ガイダンス

専門の講師による就職活動対策講座を開催しています。進路についてのガイダンスからスタートし、エントリーシートや筆記試験、面接等の就職採用試験に向けた対策を行います。

業界研究入門

業界について学ぶ講座です。講師は、さまざまな業界で活躍するYCUの卒業生をはじめ、各業界に精通した方にお越しいただいています。製造業 (食品、製薬など)、商社、広告、公務員等、YCU学生の志望度の高い業界を中心に実施しています。

公務員講座

外部の公務員試験対策予備校と提携し、学内で開講しています。学内で実施するため、大学の授業終了後に受講でき、移動の時間や交通費もかかりません。また、YCU学生のための特別料金で受講することができ、公務員面接対策や模擬試験なども無料で受けることができます。



キャリアサポーター制度

YCUの卒業生が在学生のキャリア・就職支援を行う制度です。個人情報保護法により、企業から大学に提供される卒業生情報も減少してきています。そのため就職を希望する企業で実際に働いている先輩に話を聞きたいと思っても、直接コンタクトを取ることが難しくなっています。YCUのキャリアサポーター制度では、学生がサポーターとして登録している卒業生へ直接コンタクトを取ることができます。そこで、職場の雰囲気や仕事内容および先輩の就職活動でのエピソードなど、先輩の本音を聞くことができます。また年に1回学内で「キャリアサポーターと学生の集い」と題した交流会を行っています。毎年多くのサポーター、学生が参加し活気のあるイベントとなっています。

キャリアメンター制度

就職が内定した4年生、博士前期課程 (修士課程) 2年生が、就職活動を控えた3年生や博士前期課程 (修士課程) 1年生に対して、相談相手となって就職活動の支援をする制度です。これから就職活動をする学生は内定した先輩から就職活動の情報やノウハウを得ることができ、支援をする側の学生は後輩を指導することで、社会人として役に立つ指導力やリーダーシップ、コミュニケーション力を磨くことができるなど、両者にとってメリットがあります。キャリア支援センターでは学生同士のWIN-WINの関係を構築することで学生の成長を支援しています。



国際総合科学部の進路状況



国際総合科学部

就職率

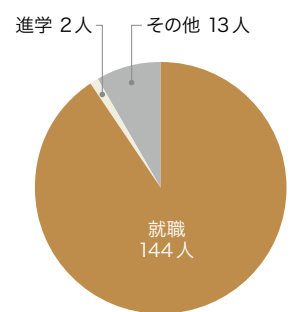
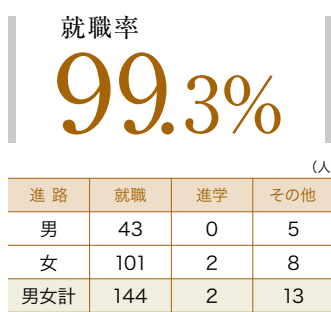
98.7%

| 全国平均 97.6% |

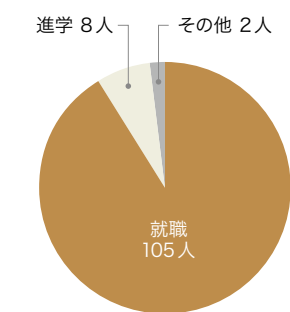
2017年3月卒業生

国際総合科学部 就職実績 | 2016年度 卒業生進路状況 (2017年5月1日現在)

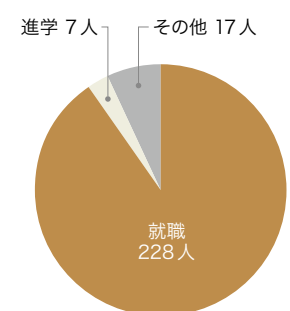
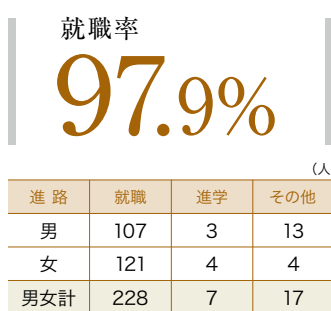
国際教養学系



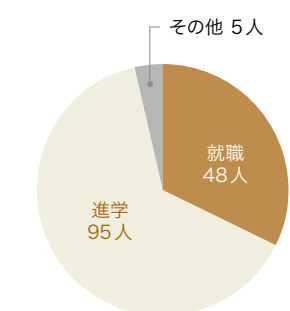
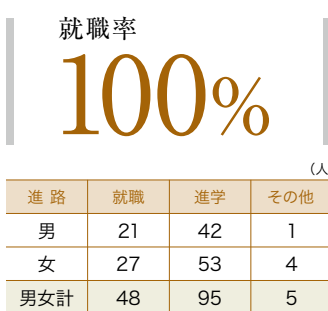
国際都市学系



経営科学系



理学系



※就職率: 就職者 ÷ 就職希望者数
※その他: 留学、資格取得など

卒業後の主な進路

国際教養学系

- 製造業
 - 株式会社神戸屋
 - 住友理工株式会社
 - 中外航業グループ
 - 帝人株式会社
 - 日本ハム株式会社
 - 株式会社日立製作所
 - 富士電機株式会社
 - プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社
 - UCC上島珈琲株式会社
- 金融・保険業
 - かながわ信用金庫
 - 株式会社かんぽ生命保険
 - 株式会社静岡銀行
 - 大和証券株式会社
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 株式会社横浜銀行
- 楽天カード株式会社
- 建設・不動産
 - 大和ハウス工業株式会社
 - 東京セキスイハイム株式会社
 - 三井不動産株式会社
 - 株式会社ルミネ
 - 広告・コンサルティング・専門サービス
 - 株式会社マイナビ
 - 株式会社リクルート北関東マーケティング
 - 公務員・教員
 - 横浜市役所
 - 神奈川県庁
- 国土交通省
- 札幌市役所
- 東京都庁
- 神奈川県教育委員会
- 川崎市教育委員会
- 山梨県教育委員会
- 神奈川県警察
- 学校法人北里研究所
- 商社・卸売・小売
 - 株式会社内田洋行
 - 岡谷銅機株式会社
 - 株式会社オンワード樞山
 - 住商フーズ株式会社
 - 長瀬産業株式会社
 - 阪和興業株式会社
- 情報通信・マスコミ
 - 株式会社インターネットイニシアティブ
 - 株式会社ぐるなび
 - ソフトバンクコマース&サービス株式会社
 - 株式会社DMM.com
 - パナソニックシステムネットワークス株式会社
 - 株式会社ワークスアプリケーションズ
 - その他
 - 全日本空輸株式会社 (ANA)
 - 日本航空株式会社 (JAL)
 - 株式会社DNPメディア・アート
 - 株式会社森ビルホスピタリティコーポレーション

国際都市学系

- 製造業
 - エスビー食品株式会社
 - テルモ株式会社
 - 日本アイ・ビー・エム株式会社
 - 日本ビューレット・バックカード株式会社
 - パナソニック エコシステムズ株式会社
 - 三井化学アグロ株式会社
 - 三菱自動車工業株式会社
 - ヤマハ発動機株式会社
 - ヤンマー株式会社
 - ライオン株式会社
 - 金融・保険業
 - あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
 - 川崎信用金庫
 - 株式会社かんぽ生命保険
 - 株式会社群馬銀行
- 株式会社ジャパンネット銀行
- 住友生命保険相互会社
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- 第一生命保険株式会社
- 大和証券株式会社
- 株式会社横浜銀行
- 建設・不動産
 - イオンモール株式会社
 - 鹿島建設株式会社
 - 株式会社大京
 - 三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社
 - 三菱地所レジデンス株式会社
 - 株式会社ルミネ
 - 株式会社レオパレス21
 - 公務員・教員
 - 横浜市役所
- 神奈川県庁
- 国土交通省
- 神奈川県教育委員会
- 情報通信・マスコミ
 - 株式会社エイチ・アイ・エス
 - ソネットビジネスアソシエーツ株式会社
 - ソニービジネスソリューション株式会社
 - 富士ソフト株式会社
 - 三井情報株式会社
 - 楽天株式会社
 - 株式会社ワークスアプリケーションズ
 - 広告・コンサルティング・専門サービス
 - 株式会社クリーク・アンド・リバー社
 - バンタングループ
 - 商社・卸売・小売
 - ウォルマート・ジャパン (西友・若菜)
- 豊島株式会社
- 西華産業株式会社
- 株式会社メタルワン
- その他
 - 株式会社エイチ・アイ・エス
 - 北海道ガス株式会社
 - 株式会社ホテルニューグランド
 - 株式会社ミス・パリ (ミス・パリ・グループ)
- 主な進学先 (大学院)
 - 横浜市立大学
 - 東京基督教大学
 - 東京大学
 - 東京工業大学
 - 一橋大学

経営科学系

- 製造業
 - 味の素株式会社
 - 花王株式会社
 - 株式会社キーエンス
 - キャノン株式会社
 - ダイキン工業株式会社
 - タカラベルモント株式会社
 - ノバルティスファーマ株式会社
 - パナソニック株式会社
 - 富士通株式会社
 - プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社
 - 三菱ケミカル株式会社
 - ライオン株式会社
 - 株式会社LIXIL
 - 株式会社ロッテ
 - 金融・保険業
 - アメリカンファミリー生命保険会社
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- アクセンチュア株式会社
- 株式会社大和証券グループ本社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 野村証券株式会社
- みずほフィナンシャルグループ
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 株式会社三井住友銀行
- 三井住友信託銀行株式会社
- 明治安田生命保険相互会社
- 株式会社ゆうちょ銀行
- 株式会社横浜銀行
- 株式会社りそなホールディングス
- 建設・不動産
 - 大和ハウス工業株式会社
 - 東急建設株式会社
- 広告・コンサルティング・専門サービス
 - アクセンチュア株式会社
 - 株式会社帝国データバンク
 - 株式会社乃村工務社
 - 株式会社リクルートキャリア
 - 公務員・教員
 - 横浜市役所
 - 東京都特別区
 - 情報通信・マスコミ
 - 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 - 株式会社NTTデータ・アイ
 - 株式会社オービック
 - 東北放送株式会社
 - 東日本電信電話株式会社
 - 楽天株式会社
- 商社・卸売・小売
 - 岩谷産業株式会社
 - 株式会社オンワード樞山
 - 株式会社ジーユー
 - 蝶理株式会社
 - 長瀬産業株式会社
 - 日産トレーディング株式会社
 - 三井物産株式会社
 - その他
 - 東京電力株式会社
 - 日本航空株式会社 (JAL)
 - 三菱倉庫株式会社
 - 主な進学先 (大学院)
 - 横浜市立大学
 - 東京大学
 - 一橋大学

理学系

- 主な進学先 (大学院)
 - 横浜市立大学
 - 大阪大学
 - 熊本大学
 - 信州大学
 - 千葉大学
 - 東京医科歯科大学
 - 東京工業大学
 - 東京大学
 - 東北大学
 - 中央大学
 - 早稲田大学
- 製造業
 - 株式会社キーエンス
 - テルモ株式会社
 - 日本電気株式会社 (NEC)
 - ハウスウェルネスフーズ株式会社
 - フィリップス・レスピロニクス合同会社
 - マイクロンメモリ ジャパン株式会社
 - 三菱ケミカル株式会社
 - リコーインダストリアルソリューションズ株式会社
 - 金融・保険業
 - 野村証券株式会社
 - 明治安田生命保険相互会社
- 建設・不動産
 - 株式会社竹中工務店
 - 広告・コンサルティング・専門サービス
 - 株式会社マイナビ
 - 公務員・教員
 - 横浜市役所
 - 神奈川県教育委員会
 - 東京都教育委員会
 - 静岡県警察本部
 - 商社・卸売・小売
 - 株式会社イトーヨーカ堂
 - キャノンマーケティングジャパン株式会社
 - 日本サムスン株式会社
- 情報通信・マスコミ
 - NTTコミュニケーションズ株式会社
 - 株式会社NTTデータビジネスシステムズ
 - 日本電子計算株式会社
 - 楽天株式会社
 - その他
 - リコーインダストリアルソリューションズ株式会社
 - 株式会社JALスカイ
 - 全日本空輸株式会社 (ANA)
 - 東日本旅客鉄道株式会社 (JR)
 - 株式会社リクルートメディカルキャリア



部活中心だった学生生活を挽回した OB訪問。

理学系 物質科学コース
久保 佳嗣 Yoshitsugu Kubo
 千葉県 私立八千代松陰高等学校卒

私は剣道部に所属し、主将を務めた時期には部の力を底上げすることに全力を注いでいました。しかし一方でなかなか就職活動に時間が割けず、進め方に迷った時期がありました。その活路となったのがOB訪問でした。エントリーシートや就職活動全般の相談に乗ってもらい、「そこはこう伝え方がいいよ」「なんでその会社に入りたいの？」など、先輩から率直なアドバイスをいただくことができ、OB訪問後の面接では自分のやってきたことや入社したい理由などを自信をもって話すことができました。先輩の親身な指導のおかげで内定を勝ち取ることができたと、自分自身の就職活動を振り返るたびに実感しています。今度は私がお世話になった先輩方への恩返しとして就職活動生の皆さんのサポートができたらと考えています。就職活動で迷ったときには、ぜひキャリア支援センターに足を運ぶことをお勧めします。

内定先 日本電気株式会社 (NEC) ■ 就職活動期間: 9ヵ月 ■ 内定社数: 1社 ■ 総応募社数: 30社



就職活動の悩みは人それぞれ。 いつでも大学が相談に乗ってくれる。

経営科学系 経済学コース
田中 美咲 Misaki Tanaka
 兵庫県 立北摂三田高等学校卒

空港のアルバイト経験から、お客さまの気持ちや求めていることを察し一人ひとりに合ったサービスを提供することで、お客さまの満足につながることを学びました。それらを高めていきたいと思い、日本航空株式会社の客室乗務員を選択。しかし、空港の仕事内容を知るからこそ、そのやりがいと自分に当てはまっているのか、再確認する必要がありました。キャリア支援センターの就職相談では、客観的に自分の強みや適性についてアドバイスをもらうことができるので、自信をもって進路選択をすることができます。他にも、友人やゼミの先生、大学OGの方など、たくさんの方に相談に乗っていただいたことで、自分を見つめ直すきっかけとなりました。特にゼミの先生は家族のように温かくサポートをしてくださり、就職活動に臨むうえで非常に励みになりました。

内定先 日本航空株式会社 (客室乗務員) ■ 就職活動期間: 5ヵ月 ■ 内定社数: 4社 ■ 総応募社数: 10社



業界研究で 自分の進みたい道を再認識。

国際都市学系 まちづくりコース
川崎 結 Yui Kawasaki
 神奈川県 立小田原高等学校卒

私は公務員試験を受けることを視野に入れ、公務員講座を受講しておりましたが、3年次の冬に将来についてもっと幅広い視野で考えたいと思い始めました。そこで、大学内で開催されている「業界研究入門」を受け、さまざまな職種の方々から仕事内容や、やりがいについて聞く機会を持ちました。この業界研究入門を受けたことにより、幅広い選択肢から自分の進むべき道を再確認することができ、迷いを払拭したことで、その後の公務員試験勉強にも集中して取り組むことができました。また、大学で受講できる公務員講座は、予備校に通うより受講料が安だけでなく、環境を変えずに効率的に学ぶことができることも利点です。そして何よりも、大学の仲間と勉強できることが私にとって一番のメリットでした。公務員試験の選考は民間企業と比べても長期にわたることから、精神的に追い詰められることもありましたが、お互いに励まし合えたことで、就職活動を乗り切ることができたと実感しています。

内定先 横浜市役所 ■ 就職活動期間: 4ヵ月 ■ 内定社数: 1社 ■ 総応募社数: 1社



就職活動の鍵は行動。 社会との接点で自分の未来の扉を開く。

経営科学系 経営学コース
矢田 聖斗 Masato Yada
 三重県 私立皇學館高等学校卒

当初より外資系企業を志望していたため、外資のコンサルティング会社のインターンシップに参加することから就職活動が始まりました。就職活動中、役に立ったのはゼミの先生との面談です。先生と積極的にコンタクトを取り、エントリーシートや面接の相談を通して、自分の考えや目標を明確にすることができました。規模の小さい大学だからこそ、教員との距離が近く、相談に乗ってもらえる環境はYCUの強みだと思います。さらに、企業の説明会・インターンシップなど社会との接点を多く持つことで、それまで考えていた業界・職種の見方が大きく変わりました。内定先の説明会では、さまざまな考え方や働く姿勢を社員の方々から学ぶことができ、成長できる場所と実感したからこそ、その後の就職活動に対する姿勢も変化し、内定へと繋がったと考えています。

内定先 プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社 (Sales Function) ■ 就職活動期間: 8ヵ月 ■ 内定社数: 3社 ■ 総応募社数: 9社

医学部の進路状況



■ 国家試験対策 | きめ細かい指導で高い合格率を達成

医学科国家試験対策 (2016年度実績)

医師 国家試験

合格率
2017年3月卒業生 **97.7%**
(全国4位、全国平均 91.8%)
※新卒のみ

- 5年次3月の学年末試験、6年次5月、9月、1月に実力試験を実施。
- 年に2回(7月、11月)の民間模試を全員受験。
さらに2回(12月、1月)民間模試受験を奨励。
→受験結果のフィードバック(模試結果を踏まえて面談と個別指導を4回実施)。
- 各分野の教員が協力して国家試験対策授業を14教室で実施。

看護学科国家試験対策 (2016年度実績)

看護師 国家試験

合格率
2017年3月卒業生 **99.1%**
(全国平均 88.5%)

- 4月に4年生全員との個別面談を実施して指導・サポート。
- 看護師模試、保健師模試を年間5回実施し、ほぼ全員が受験。
(4年次4、8、10、11、1月)
- 4年生全員を対象とした看護学科教員による弱点科目の補習講義の実施(12月)
- 学外のパソコン・スマートフォンなどからアクセス可能な学修ツール
(e-learning教材)が使用可能
- 伸び悩んでいる学生には補習講義や随時フォローアップ面接を実施。

保健師 国家試験

合格率
2017年3月卒業生 **100%**
(全国平均 90.8%)

■ 国家試験対策スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
医学	5年次	6年次											
	模擬試験				模擬試験		実力試験		模擬試験	模擬試験	実力試験		
		国家試験対策授業											
看護		個人面談(随時)											
		4年次											
		個別面談										卒業論文提出	
		模擬試験				模擬試験		模擬試験	模擬試験		模擬試験	模擬試験	国家試験
										補習講義	補習講義		
	フォローアップ面談												

■ 卒業後の主な進路

医学科卒業生は、医師国家試験の合格後、2年間の初期臨床研修が必修化されています。医師が将来専門とする分野にかかわらず、基本的な診療能力を身に付けることができるよう、2004年度から臨床研修が必修化されました。初期臨床研修の後には、各診療科の専門研修(後期研修)に臨む他、大学院進学・医療分野への就職といった進路が一般的となります。看護学科卒業生は、看護師・保健師として就職・進学等の進路を選択し、YCUでは多くが横浜市内・首都圏の医療機関へ就職しています。

医学科 初期研修先

	研修先	人数		
		1年目	2年目(予定)	
本学	横浜市立大学附属病院	0	4	
	附属市民総合医療センター	1	12	
横浜市	横浜労災病院	6	6	
	横浜南共済病院	6	4	
	横浜市民病院	4	3	
	横浜医療センター	5	2	
	みなと赤十字病院	1	0	
	戸塚共立第一	1	1	
	昭和大学藤が丘病院	1	1	
	済生会横浜市南部病院	6	6	
	済生会横浜市東部病院	2	0	
	神奈川県	藤沢市民病院	11	9
横須賀共済病院		5	4	
小田原市立病院		3	2	
茅ヶ崎市立病院		2	2	
足柄上病院		1	0	
相模原協同病院		1	1	
平塚市民病院		1	1	
大和市立病院		1	1	
東京都		JCHO東京新宿メディカルセンター	1	1
		JR東京総合病院	3	3
	荏原病院	1	1	
	大久保病院	2	2	
	大森赤十字病院	1	0	
	杏林大学付属病院	1	1	
	国立国際医療研究センター病院	1	1	
	三業病院	1	0	
	昭和大学江東豊洲病院	2	2	
	昭和大学病院	1	1	
	新渡戸記念中野総合病院	1	1	
	東京大学医学部附属病院	0	1	
	東京都立大塚病院	2	2	
	都立広尾病院	1	1	
	日本赤十字社医療センター	1	1	
三井記念病院	1	1		
千葉県	松戸市立病院	1	1	
長野県	佐久総合病院	2	2	
愛知県	中部労災病院	1	1	
沖縄県	沖縄県立中部病院	1	1	
合計		83		

看護学科 就職先

区分	就職先	人数	
就職(93)	本学(68)	横浜市立大学附属病院	22
		附属市民総合医療センター	46
	横浜市(12)	けいゆう病院	1
		済生会横浜市東部病院	2
		昭和大学藤が丘病院	1
		昭和大学病院横浜市北部病院	1
		みなと赤十字病院	1
		横浜市立市民病院	2
		横浜南共済病院	3
		横浜労災病院	1
	神奈川県(1)	関東労災病院	1
	東京都(6)	荏窪病院	1
		厚生中央病院	1
		東京医療センター	1
		東京慈恵会医科大学附属病院	1
東邦大学医療センター大森病院		1	
栃木県(1)	自治医科大学附属病院	1	
	福岡県(1)	九州大学病院	1
保健師		2	
	他の職種	2	
進学		12	
その他		3	
合計		108	

■ 医学科 卒業生 初期臨床研修後の進路

横浜市立大学附属病院	小田原市立病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター	茅ヶ崎市立病院
横浜医療センター	関東労災病院
横浜市南部病院	静岡赤十字病院
みなと赤十字病院	沼津中央病院
藤沢市民病院	川崎市立川崎病院
足柄上病院	都立広尾病院
横須賀共済病院	聖隷三方原病院
国立相模原病院	など



図書館

学術情報センター (金沢八景キャンパス)



約85万冊の豊富な蔵書と充実した学修施設

大学における学修・教育・研究のための幅広い分野の資料を所蔵しています。さまざまな場面で活用できる学修環境や、学修支援サービスも用意しています。

医学情報センター (福浦キャンパス)



豊富な医学情報で学修・研究と医療の現場をサポート

医学部の附属図書館として、医学・看護分野の資料を所蔵している図書館です。YCUの学生・教職員に限らず一般の方にも広く開放され、地域医療の情報拠点となっています。

■ YCUの図書館の魅力

● 各キャンパスの図書館・図書室

YCUには、幅広い分野の資料を集めた学術情報センター(金沢八景キャンパス)、医学系の資料に特化した医学情報センター(福浦キャンパス)のほか、3つの図書室があります。各キャンパスの資料は、取り寄せて利用することもできます。



● 幅広い分野の資料が充実

現在、図書館には約85万冊の図書と約2万タイトルの雑誌が所蔵されています。授業の進度に合わせて活用できる、専門的な学修・研究資料のほかにも、語学資料や学生生活に役立つ資料が揃っています。



● レファレンス

資料が見つからない、探し方が分からない、勉強やレポートなどで課題に行き詰まったときなど、図書館で困ったことがあったら図書館員に相談してみてください。図書館員を上手に使うことも、図書館を使いこなす方法のひとつです。



● 電子資料も整備

図書や雑誌など紙の資料だけでなく、パソコンで見ることができる電子資料を整備しています。2万タイトル以上の電子ジャーナルや1万5千タイトル以上の電子ブック、各種データベースが学修・研究・診療に広く活用されています。



● 授業や国家試験対策をサポート (医学情報センター)

医師・看護師・保健師・助産師各国家試験対策の参考書や問題集などを取り揃え、皆さんの夢の実現をサポートしています。また、ノートパソコンやプロジェクターの貸出、グループ学修室の利用などにより、グループでの学修も可能です。



● 「24時間開館」で図書館フル活用! (医学情報センター)

許可された学生(医学科5年次以上、看護学科3年次以上)は、閉館後や祝日などの休館日でも図書館を利用できます。静脈認証による入館システムを導入しているため、安心・落ち着いた環境で、国家試験対策、臨地実習の準備ができます。



● 多様な学修スタイルに対応した施設

図書館内には、個人で利用できる閲覧席のほか、グループ学修やセミナーなどに使える学修スペースが設置されています。また、館内には閲覧室に設置されたパソコンのほか、無線LAN設備があり、自分のパソコンをインターネットに接続して使うこともできます。



● 学生ライブラリストッフ (学術情報センター)

学術情報センターでは、学生ライブラリストッフ(通称学生LS)と呼ばれる学生ボランティアが活動しています。学生ならではの視点で、図書館のサービスや資料の探し方のコツなどを紹介しており、図書館には、学生LS発行の広報誌も並んでいます。



● 情報教育実習室 (金沢八景キャンパス)

パソコン・プリンタ完備の教室が複数あり、講義の空き時間に自由に利用できます。予習・復習や専門的な研究にも活用してください。平日夜間には、大学院生の相談員を配置しています。



● LLテーパーライブラリー (金沢八景キャンパス)

英語、フランス語、ドイツ語、中国語などのCD付語学教材や外国映画などのDVDがあり、TOEFLなど資格試験対策に利用できます。



● LL実習室 (金沢八景キャンパス)

語学教材を用いた講義が行われるほか、英語e-learningシステムによる自習室として利用できます。



YCUのキャンパスライフ

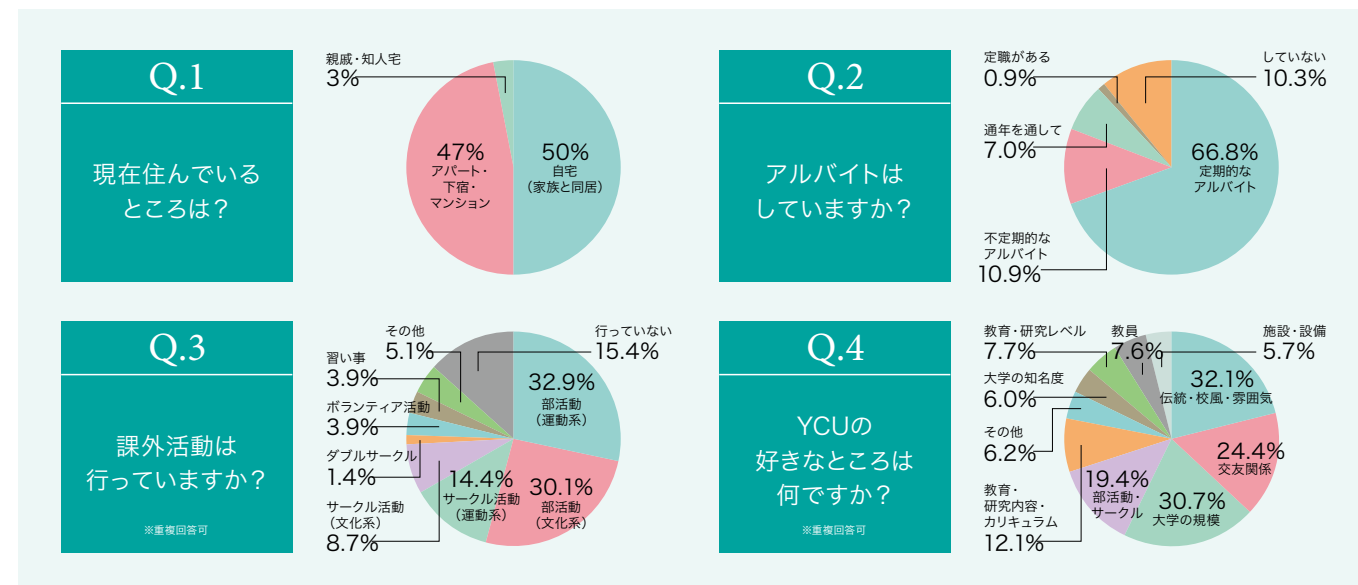
YCUの1年 (2017年度予定)

● 共通年間スケジュール 国際総合科学部/データサイエンス学部/医学部

● 金沢八景キャンパス 国際総合科学部/データサイエンス学部/医学部(1年)/大学院 ● 福浦キャンパス 医学部 医学科(2~6年)・看護学科(2~4年)/大学院

4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September
<ul style="list-style-type: none"> ● 入学式 ● 新入生オリエンテーション ● 前期授業開始 ● 履修登録申請 ● 1学期授業開始(医学科) ● 前期授業開始(看護学科) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新入生合宿(医学科) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 首都大学東京との定期戦 ● プレ・オープンキャンパス ● 夏の進路説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本医科学生総合体育大会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期終了/夏季休暇 ● ゼミ合宿 ● 海外派遣プログラム(夏期) ● 国際総合科学部・データサイエンス学部オープンキャンパス ● 関東甲信越大学体育大会 ● 医学科オープンキャンパス ● 看護学科オープンキャンパス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 後期授業開始 ● 後期履修申請 ● 秋の進路説明会 ● 2学期授業開始(医学科) ● 後期授業開始(看護学科) ● 実験動物慰霊祭(医3年) ● 御遺骨返還式(医2・6年)
10月 October	11月 November	12月 December	1月 January	2月 February	3月 March
<ul style="list-style-type: none"> ● 防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ● 浜大祭 ● Medical Festival 	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬季休暇 ● 国際総合科学部卒業論文提出 ● 共用試験CBT(医4年) ● 医学のために献体された方々への感謝の集い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業論文発表会(文系) ● 3学期授業開始(医学科) ● 共用試験OSCE(医4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 後期終了 ● 海外派遣プログラム(春期) ● 卒業論文発表会(理系) ● 医師国家試験 ● 看護師/保健師国家試験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業式 ● 医学部・医学研究科学位授与式 ● 白衣授与式(医4年)

学生アンケート



※アンケートは2016年度実施のデータを基に作成しています。

実家暮らし・一人暮らし

実家暮らし

毎日が充実のYCUライフ。そんな私の1日をお見せします。

8:00 起床・登校

9:00 授業

10:00

11:00

12:00 昼休み

13:00 授業

14:00

15:00 空き時間

16:00 アルバイト

17:00

18:00

YCUでは少人数でのグループワーク形式が多く、友達とのディスカッションのなかで新しい視点を得ることができます。

YCUにはさまざまなタイプの教室があり、第I講堂(大講堂)はとて大学らしく歴史を感じます。

お気に入りはYCUスクエアのテラス。友達とゆっくりした時間を過ごすのに最適です。

金沢八景駅前のカフェで1日5時間くらいを自由にアルバイトをしています。

1か月の生活費

生活費 70,000円

洋服・雑貨 20,000円

食費 10,000円

通信費 10,000円

交際費 30,000円

【収入】

・アルバイト代...70,000円

One Day Case

国際総合科学部 国際都市学系2年 神奈川県立横須賀大津高等学校卒

デイビス 美也那さん Miyana Davis

一人暮らし

大学生協のサポートもあるので はじめての一人暮らしも安心です。

国際総合科学部 経営科学系2年 宮城県仙台三桜高等学校卒

大槻 達矢さん Tatsuya Otsuki

住まいは、金沢八景キャンパスから自転車で10分、徒歩20分くらいの場所で、7.5帖のロフト付きの部屋です。YCUへの入学が決まった時点で、大学生協を通じて部屋探しをサポートしてもらえたため、すぐに見つけることができました。一人暮らしを始めてから整理整頓を心掛けるようになり、水まわりの掃除も定期的に行っています。実家からお米などの食べ物を送ってもらっていますが、キャンパス付近には学生が気軽に入ることができるお店も多いため、友人と食事をする時などによく利用しています。

1か月の生活費

生活費 160,000円

洋服・雑貨 40,000円

食費 20,000円

公共料金 10,000円

通信費 7,000円

交際費 30,000円

家賃 53,000円

【収入】

・仕送り...60,000円

・アルバイト代...100,000円

部屋の間取り

洋室 4.5帖

ロフト 3帖

WC

浴室

玄関

10:00 登校・自習

金沢八景キャンパスは、駅から徒歩5分。自宅からも徒歩圏内。

11:00 空き時間

キャンパスには学生が自由に使える多目的スペースが多いのが特徴。天気の良い日にはオープンテラスでのんびり談笑。

13:00 授業

授業では「企業」を取り囲む問題を、理論の助けを借りながら自分なりに分析していきます。少人数で行われる授業は気が抜けません。

17:00 サークル活動

ハンドボール、バスケット、バレー、ダンスのサークルで活動しています。YCUは部活・サークルの所属率が8割を超える活発な大学です。

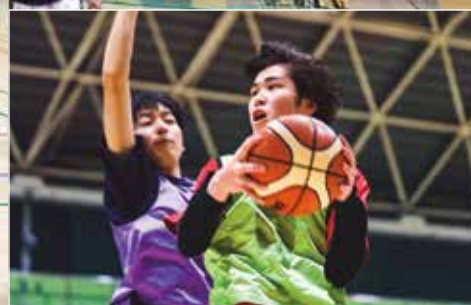
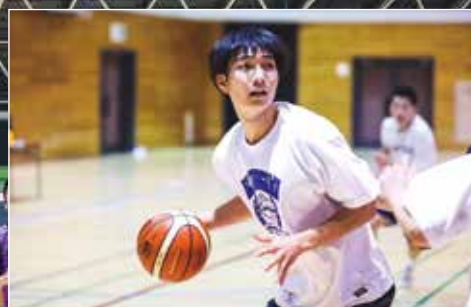
YCUの仲間と創る もうひとつの大学生活

大学での部活動やサークル活動への入部率は一般的に半数程度と言われています。しかし、YCUでは86.1%の入部率を誇り、ボランティア活動などの課外活動も含めると90%を超えます。運動系・文化系・その他サークルの団体数も146を数え、もうひとつの大学生活の選択肢はさまざまです。



■ バスケットボール部 (金沢八景キャンパス)

男子バスケットボール部は「神奈川リーグベスト4」「関東リーグ3部昇格」を目標に活動しています。部員の大半は地方出身者で個性豊かなチームです。各々の持つその個性を生かしつつ、チームとして最高の結果が出せるよう、誰もが主体的に高い意識を持って練習に取り組んでいます。



■ 応援団チアリーダー部 SEAGULLS (金沢八景キャンパス)

応援団チアリーダー部 SEAGULLS は、大会、地域のイベント、部活動応援など多岐にわたり活動しています。現部員は全員大学からチアを始めましたが、お互い切磋琢磨し技術向上に励み、大会では結果を残すことができました。また学年関係なく仲が良いことが自慢です。今後も誰からも愛されるチームを目指していきます。



■ 水泳部 (福浦キャンパス)

医学部水泳部は主に夏のメイン大会である「東医体」「看護大会」を目指し、日々練習しています。個人種目で自己ベストタイムを出したり、リレーで団結して良いタイムを出すことが目標です。練習は金沢八景キャンパスの室内プールで行っており、夏も冬も泳ぐことができます。また仲間との距離が近く、イベントもたくさんあるので、大学生活をさらに充実させることができます。



部活・サークル



剣道部は、人数は少ないですが日々の稽古を充実させて、精進しています。高校までの剣道部とは違い一人ひとりが課題を見つけて自主的に活動しているのが特徴です。2016年度の関東甲信越大会では、個人3位、ベスト16という結果も残っています。興味のある方は、剣道部Webサイトを是非ご覧ください。在学生でなくても稽古への参加は大歓迎です。



We x Medicineは、「大学では学べない医療を楽しむ」をモットーに少数精鋭で活動しています。普段は各々が関心を持つ分野を学修テーマとして扱い、ディスカッションを通じて内容を深め合います。長期休暇では、学外勉強会やセミナーへの参加、病院見学などを実施しており、学外交流も充実しています。雰囲気も和やかで、活動日も都合に合わせて柔軟に対応できるので兼部しやすいことも大きな特徴です。



横浜市立大学アメフト部、Fighting Seagullsです。アメフトという「痛そう」とか「怖そう」、「難しそう」なんてイメージを持たれがちですがそんなことはありません。実はとても知的でバワフル、迫力満点の魅力がたくさんつまったスポーツです。私たちは部員総勢50名ほどで、上位リーグ昇格を目指して日々練習に取り組んでいます。



Yokohama Medical Klavierは、夏と冬の定期演奏会や横浜市立大学附属病院での演奏会などを中心に活動しているピアノ部です。以前少しだけピアノに触れたことがある人から、ピアノ歴十数年の人まで幅広く、またジャンルもクラシックからジャズアニメまでさまざまです。ピアノ以外にも、BBQや旅行など楽しいイベントが盛りだくさんの、和気藹々とした部活です。一緒に音楽を楽しみませんか？



アカペラシンガーズ voxbox (金沢八景キャンパス)



弓道部 (金沢八景キャンパス)



多くの学生が所属する146の部活 & サークル

金沢八景キャンパス

運動部連合会 所属団体 (加盟34団体)	<ul style="list-style-type: none"> ●アーチェリー部 ●合気道部 ●アメリカン・フットボール部 ●ウインドサーフィン部 ●応援団チアリーダー部 SEAGULLS ●オリエンテーリング部 ●空手道部 ●弓道部 ●男子グランドホッケー部 ●女子グランドホッケー部 ●剣道部 ●男子硬式庭球部 	<ul style="list-style-type: none"> ●女子硬式庭球部 ●硬式野球部 ●ゴルフ部 ●サッカー部 ●柔道部 ●準硬式野球部 ●水泳部 ●スキー部 ●卓球部 ●テコンドー部 ●軟式野球部 ●男子バスケットボール部 	<ul style="list-style-type: none"> ●女子バスケットボール部 ●バドミントン部 ●男子バレーボール部 ●女子バレーボール部 ●ハンドボール部 ●男子フットサル部 VERDADE ●女子フットサル部 Animo!! ●ヨット部 ●ラグビー部 ●陸上競技部
文化部連合会 所属団体 (加盟41団体)	<ul style="list-style-type: none"> ●アカペラシンガーズ voxbox ●囲碁部 ●映画研究会 ●英語部 (YCU ESS) ●演劇研究部 (劇団海星館) ●海外事情研究部 ●科学倶楽部 ●科学研究会 ●学生赤十字奉仕団 ●株式投資部 CLOVER FUND ●環境ボランティア Step Up! ●管弦楽団 ●ギター部 ●軽音楽部 SESSION 	<ul style="list-style-type: none"> ●混声合唱団 ●茶道部 ●ジャグリングサークル しゃかりきバンダ ●社交舞踏研究会 ●写真研究部 ●吹奏楽団「奏」 ●セカンド・ウインド・ジャズ・オーケストラ ●探検部 ●ダンス部 ALMA ●釣り部 HAM ●てつがく倶楽部 フリートーク's ●鉄道研究部 ●天文部 137MeL ●陶芸部 	<ul style="list-style-type: none"> ●トレボル@横浜市 ●パーソナルコンピューター部 Clip ●HAKKEY+ ●美術部 ●Peace News ●ピアノ会 ●ブルース研究部 ●文芸部 ●漫画研究会 ●料理部 ●ROVER CREW 部 ●Y.B.C放送研究部 ●YCU Records
運動系サークル (加盟団体21団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■Wendy (バレーボール) ■ABC (バドミントン) ■EVOLVE (バレーボール) ■オールラウンドサークル ほてち ■おさんぽサークル Largo ■空手会 ■オレンジベコ (硬式テニス) ■CROSS (フットサル) 	<ul style="list-style-type: none"> ■サイクリングサークル Team YCU ■Skipjack-K (テニス) ■SPINS (テニス) ■ドルフィン (テニス) ■DRESS (バスケットボール) ■DNPC どんばち (サバイバルゲーム) ■BULL (ダーツ) ■PLAY OFF (バレーボール) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ライトハウス (テニス) ■leopard (7人制サッカー) ■Rowing Boat Club ■YCUカメラ (野球) ■ワンダーフォーゲル同好会
文化系サークル (加盟12団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■かるた会 ■金沢研究会 ■聖書研究会 ■SORO (国際交流) ■TFT-UA 横浜市立大学支部 	<ul style="list-style-type: none"> ■動画サークル & observations ■虹帆 (ジェンダーに関する勉強会) ■Hotcake Mix (ハンドメイド) ■ボードゲーム・アナログゲームサークル 	<ul style="list-style-type: none"> ■模擬国連サークル (国際社会・国際政治に関する勉強会) ■レゴサークル ■One Thing Crew (ダンス)

福浦キャンパス

医学部 運動部連合会 所属団体 (加盟19団体)	<ul style="list-style-type: none"> ●剣道部 ●硬式庭球部 (男子) ●硬式庭球部 (女子) ●硬式野球部 ●ゴルフ部 ●サッカー部 ●柔道部 	<ul style="list-style-type: none"> ●少林寺拳法部 ●水泳部 ●ソフトテニス部 ●卓球部 ●ダンス部 Zero ●バスケットボール部 (男子) ●バスケットボール部 (女子) 	<ul style="list-style-type: none"> ●バドミントン部 ●バレーボール部 ●フットサル部 ●ヨット部 ●ラグビー部
医学部 文化部連合会 所属団体 (加盟17団体)	<ul style="list-style-type: none"> ●We x Medicine (旧社会医学研究会) ●ACLS研究会 ●音楽部 ●茶道部 ●写真部 ●手話サークル・あしながおじさん 	<ul style="list-style-type: none"> ●医学部学生赤十字奉仕団 ●ちちんぷいぷい (小児病棟ボランティア) ●DJ部 ●東洋医学研究会 ●福浦倶楽部 (軽音楽部) ●福浦絃楽舎 	<ul style="list-style-type: none"> ●分子医学研究会 ●Hepburn's (アカペラ) ●Yokohama Medical Klavier ●外科学技研究会 ●美術愛好会
文化系サークル (加盟2団体)	<ul style="list-style-type: none"> ■しゃかりきバンダ ■解部道場 		

金沢八景キャンパス

横浜駅から約20分。
コンパクトで緑豊かなキャンパス。

■ 国際総合科学部 ■ データサイエンス学部 ■ 医学部(1年次)

京浜急行線「金沢八景駅」から徒歩5分という好立地に、
緑に囲まれたキャンパスがあります。
コンパクトにまとまったキャンパスでは、アットホームな雰囲気の中、
学生たちが勉学やサークル活動に励んでいます。
正門から続く銀杏並木は、春夏秋冬でさまざまな表情を見せ、
訪れた人たちの心を和ませてくれます。
落ち着いた雰囲気が漂うキャンパスは、
映画やドラマの撮影にも使われます。



理学系研究棟

国際総合科学部理学系の実験室、演習室や研究室があります。



YCUスクエア

2016年春に完成した「YCUスクエア」は、YCUの新たなシンボル。白を基調とした明るく開放的なデザインで、地域の人と学生、教員が積極的に活動・交流するスペースとして活用されています。



銀杏並木

1948年(昭和23年)に横浜医科大学予科(医学部医学科の前身)の学生たちが植えたものです。



時計台

YCUのシンボルとなるオブジェです。敷地内の中央に位置し、学生たちが待ち合わせの場所としても利用しています。



市大交流プラザ(いちょうの館)

YCU創立75周年記念事業の一つとして、卒業生からの寄付金などをもとに建設。広く市民の方々や企業の皆様と学生、卒業生、教職員が相互に交流を深め、さまざまな情報を発信していく場として活用されています。



第2グラウンド

全面に人工芝が敷かれた多目的グラウンドとテニスのハードコート3面からなる第2グラウンドでは、主に運動部が活動しています。週末には地域開放も行っており、市民の方々に広く利用されています。



保健管理センター

すべての学生、教職員の健康増進、疾病の予防や心身の不調などに、医師・保健師・看護師・臨床心理士が各キャンパスで対応しています。急なケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談だけでなく、人間関係や学業などさまざまな悩み・心配ごとまで、あらゆる相談に応じています。



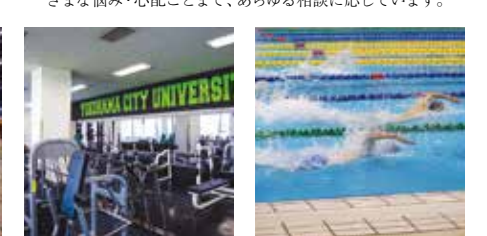
シーガルセンター

約700席の食堂をはじめ、売店やホール、スタジオ、談話室など、学生生活を充実させるさまざまな施設が揃っています。



総合体育館

アリーナに加えて、空手・剣道場、柔道場、温水プール、トレーニングルームを備えた体育館です。学生の課外活動や、各種イベントに活用されています。



トレーニングルーム

温水プール

アクセス

横浜駅から約20分 / 品川駅から約40分 / 羽田空港から約40分

福浦キャンパス

大学附属病院と隣接。
医療現場に近いキャンパス。

■ 医学部 (2年次以上)

シーサイドラインの「市大医学部駅」とキャンパスが直結されたアクセスの良さ。
キャンパスは大学附属病院と隣接しており、早くから医療現場を体験することができます。
また、サッカー、野球などが可能なグラウンドのほかテニスコートが3面、体育館、サークル棟を完備し、充実した運動設備に恵まれています。



先端医科学研究センター

がんや生活習慣病等の克服に向けた最先端の医科学研究を行う共同実験施設等が整備され、その成果を市民に還元できるよう研究開発が行われます。



基礎研究棟

臨床医学・基礎医学を担当する教員の研究室があります。附属病院での診察と並行して、臨床・基礎分野での研究が行われています。

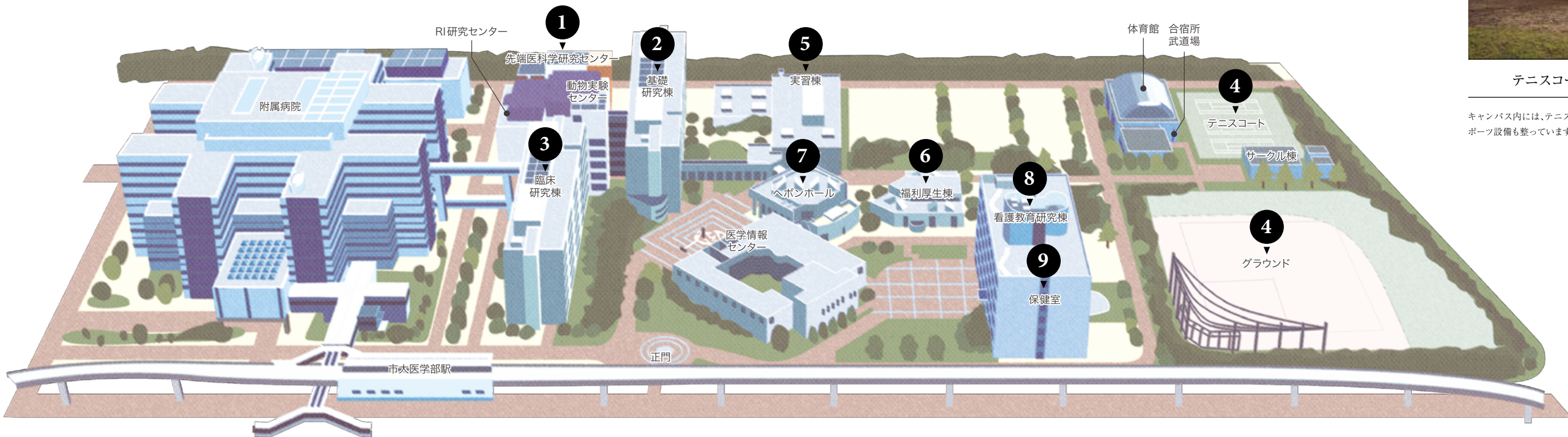


臨床研究棟



テニスコート・グラウンド

キャンパス内には、テニスコートのほかグラウンドなどのスポーツ設備も整っています。



実習棟

医学科学の実習を行うための施設。実習室は「病理・寄生虫実習室」「組織実習室」「解剖実習室」などが設置されています。



福利厚生棟

カフェテリア方式の食堂をはじめ、購買では医学書・看護専門書や、日用雑貨、旅行取扱まで幅広く取り揃えています。



ヘボンホール (講義棟1F)

横浜近代医療の歴史は、アメリカ人のヘボン博士の横浜における開業医活動から始まりました。その功績を称える趣旨で医学科講義棟1Fの多目的ホールを「ヘボンホール」と名付けました。



看護教育研究棟

多くの講義室のほかに、領域毎の看護学実習室があり、講義や演習をはじめさまざまな催しに利用されています。また、棟内には食堂やラウンジがあり、ランチタイムや講義の合間にほっとひと息ついたり、おしゃべりしたりと楽しく過ごすスペースが用意されています。



保健室

看護師が常駐しており、ケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談に応じています。

アクセス

シーサイドライン「市大医学部駅」直結。京浜急行線「金沢八景駅」より約10分

教育の特徴
グローバル教育
国際総合科学部
データサイエンス学部
医学部
大学院/研究施設
キャリアサポート/学生支援
キャンパスライフ
入試情報/学費・奨学金

入試情報

2018年度入試制度および募集人員

学部	学系・学科	一般選抜		特別選抜									計
		前	後	公募推薦入試	指定校推薦入試	特別推薦入試	AO入試	海外帰国生入試	国際バカロレア入試	科学オリンピック入試	外国人留学生入試	社会人入試	
国際総合科学部	国際教養学系	前 85名	A方式 55名 B方式 30名	10名	30名	—	15名	若干名	若干名	—	若干名	若干名	140名
	国際都市学系	前 75名	A方式 50名 B方式 25名	10名	25名	—	10名	若干名	若干名	—	若干名	若干名	120名
	経営科学系	前180名	A方式120名 B方式 60名	15名	50名	—	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	250名
	理学系	前 80名	A方式 50名 B方式 30名	15名	40名	—	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	140名
	計		420名	50名	145名	—	35名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	650名
データサイエンス学部	データサイエンス学科	前 40名 後 5名	—	10名	—	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	60名
	計		45名	—	10名	—	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	60名
医学部	医学科	前 85名	一般 60名 地域 20名 指定 5名	—	—	地域 5名	—	—	—	—	—	—	90名
	看護学科	70名	—	30名	—	—	—	—	—	—	—	—	100名
	計		155名	—	30名	5名	—	—	—	—	—	—	190名
合計		620名	50名	185名	5名	40名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	900名	

(医学部医学科募集枠) 一般:一般枠 地域:地域医療枠 指定:神奈川県指定診療科枠
※神奈川県指定診療科枠の継続については、今後、文部科学省の認可を受ける必要があるため、詳細については、必ず学生募集要項で確認してください。

2018年度入試日程 ※9月~12月は2017年、1月~3月は2018年

■大学入試センター試験

区分	出願期間	試験日
大学入試センター試験	10月上旬	1月 13日(土)・14日(日)

■一般選抜

区分	出願期間	試験日	合格発表日
前期日程	1月 22日(月) ~ 1月 31日(水)	2月 25日(日)・26日(月)	3月 9日(金)
後期日程	1月 22日(月) ~ 1月 31日(水)	3月 12日(月)	3月 20日(火)

■特別選抜

区分	出願期間	試験日	合格発表日
AO入試 [国際総合科学部]	9月 4日(月) ~ 6日(水)	1次 書類審査	1次 9月 29日(金)
		2次	2次 10月 14日(土)
		3次	3次 10月 24日(火)
AO入試 [データサイエンス学部]	10月 16日(月) ~ 18日(水)	1次 書類審査	1次 11月 7日(火)
		2次	2次 11月 18日(土)
		3次	3次 11月 28日(火)
海外帰国生入試	9月 11日(月) ~ 15日(金)	10月 7日(土)	10月 24日(火)
国際バカロレア入試	9月 11日(月) ~ 15日(金)	10月 7日(土)	10月 24日(火)
科学オリンピック入試	9月 11日(月) ~ 15日(金)	10月 7日(土)	10月 24日(火)
外国人留学生入試	9月 11日(月) ~ 15日(金)	10月 7日(土)	10月 24日(火)
社会人入試	9月 11日(月) ~ 15日(金)	10月 7日(土)	10月 24日(火)
指定校推薦入試	11月 1日(水) ~ 6日(月)	11月 18日(土)	11月 28日(火)
公募推薦入試	1月 9日(火) ~ 19日(金)	〈大学入試センター試験〉	2月 7日(水)
特別推薦入試	11月 6日(月) ~ 8日(水)	1次 書類審査	1次 11月 17日(金)
		2次	2次 12月 9日(土)
		3次	3次 12月 15日(金)

2018年度 特別選抜 入試概要 ※詳細は必ず各募集要項で確認してください

●国際総合科学部 (国際教養学系・国際都市学系・経営科学系・理学系) ◆必須

入試区分	概要	選抜方法
公募推薦入試	横浜市立大学を第1志望とし、出身学校長の推薦を受け、大学入試センター試験において本学の指定する教科・科目のすべてを受験した人を対象とした入試です。卒業見込の人に加え前年3月に卒業した人の出願も認めます。	◆書類審査 ◆大学入試センター試験成績 5(6)教科7(8)科目
指定校推薦入試	横浜市立大学を第1志望とし、本学への入学実績に基づき本学国際総合科学部が指定する高等学校に在籍している人を対象とした入試です。	◆書類審査 ◆面接
AO入試	横浜市立大学を第1志望とし、国際総合科学部での勉学を強く希望する人を対象とした「自己推薦」による入試です。高校生から社会人まで、大学入学資格を持つ人を広く対象として独自の個性や資質などを備えた人を選抜するため実施します。	□第1次選考(書類審査) ◆プレゼンテーション(発表)概要1 ◆プレゼンテーション(発表)概要2 ◆英語資格のスコア・級 ◆調査書 等 □第2次選考 ◆面接
海外帰国生入試	外国の高等学校で学んだ邦人等を対象に実施する入試です。日本とは異なる教育制度の元で修得した科目の修得内容や外国滞在経験により培われた国際的感覚などを評価します。	◆小論文 ◆面接
国際バカロレア入試	国際バカロレア(1B)資格を取得した(または取得見込)邦人等を対象とした入試です。1B資格の取得地は日本国内・国外を問いません。	◆小論文 ◆面接
科学オリンピック入試 (経営科学系・理学系のみ実施)	科学オリンピック・コンテスト(全国物理コンテスト、化学グランプリ、日本生物学オリンピック、または日本数学オリンピック)の最初のステージの成績が平均点以上の人を対象とした入試です。コンテスト参加等を通じて培われた科学的資質を評価します。※経営科学系は、日本科学オリンピックのみが対象。	◆小論文 ◆面接
外国人留学生入試	日本国以外の学校教育制度による12年の課程を修了(または修了見込)し、その国において大学入学資格を有する外国人を対象として実施します。日本留学試験で一定以上の成績を修めていることも条件となります。	◆小論文 ◆面接
社会人入試	大学入学資格を持ち、満25歳以上の人を対象として実施します。	◆小論文 ◆面接

●データサイエンス学部 (データサイエンス学科) ◆必須

入試区分	概要	選抜方法
指定校推薦入試	横浜市立大学を第1志望とし、本学への入学実績に基づき本学データサイエンス学部が指定する高等学校に在籍している人を対象とした入試です。	◆書類審査 ◆面接
AO入試	横浜市立大学を第1志望とし、データサイエンス学部での勉学を強く希望する人を対象とした「自己推薦」による入試です。高校生から社会人まで、大学入学資格を持つ人を広く対象として独自の個性や資質などを備えた人を選抜するため実施します。	□第1次選考(書類審査) ◆プレゼンテーション(発表)概要1 ◆プレゼンテーション(発表)概要2 ◆英語資格のスコア・級 ◆調査書 等 □第2次選考 ◆面接 □第3次選考 ◆大学入試センター試験成績 4(5)教科6(7)科目
海外帰国生入試	外国の高等学校で学んだ邦人等を対象に実施する入試です。日本とは異なる教育制度の元で修得した科目の修得内容や外国滞在経験により培われた国際的感覚などを評価します。	◆総合問題 ◆面接
国際バカロレア入試	国際バカロレア(1B)資格を取得した(または取得見込)邦人等を対象とした入試です。1B資格の取得地は日本国内・国外を問いません。	◆総合問題 ◆面接
科学オリンピック入試	「日本科学オリンピック 予選」でBランク以上の成績を修めた人を対象とした入試です。コンテスト参加等を通じて培われた科学的資質を評価します。	◆総合問題 ◆面接
外国人留学生入試	日本国以外の学校教育制度による12年の課程を修了(または修了見込)し、その国において大学入学資格を有する外国人を対象として実施します。日本留学試験で一定以上の成績を修めていることも条件となります。	◆総合問題 ◆面接
社会人入試	大学入学資格を持ち、満25歳以上の人を対象として実施します。	◆総合問題 ◆面接

●医学部 (医学科) ◆必須

入試区分	概要	選抜方法
特別推薦入試	横浜市立高等学校および本学医学科への合格実績を有する神奈川県内の公私立高校在籍者の中から、特別に推薦された者を対象とし、書類審査、多面的な面接および大学入試センター試験の成績により、人物・学業成績ともに優秀な者を選抜します。	□第1次選考(書類審査) ◆高等学校の成績 ◆英語資格のスコア・級 ◆志願理由書の内容 等 □第2次選考(面接審査) ◆MMI※の手法による多面的な面接 □第3次選考 ◆大学入試センター試験成績 5教科7科目

※Multiple Mini Interview

●医学部 (看護学科) ◆必須

入試区分	概要	選抜方法
指定校推薦入試	横浜市立大学を第1志望とし、本学看護学科が指定する高等学校に在籍している人を対象とした入試です。卒業後は横浜市内を中心とした地域医療へ積極的に貢献できる人の入学を期待する制度です。	◆書類審査 ◆面接

入試情報

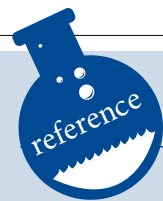
2018年度 特別選抜 出願要件〔英語資格〕 ※詳細は必ず各募集要項で確認してください

以下の各入試において、出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書の提出が必要となります。

入試区分	国際総合科学部				データサイエンス学部	医学部	
	国際教養学系	国際都市学系	経営科学系	理学系	データサイエンス学科	医学科	看護学科
指定校推薦入試	B	B	C	B	B	—	C
特別推薦入試	—	—	—	—	—	B	—
AO入試	B	B	B or A※1	B	B	—	—
海外帰国生入試	A	A	A	B	A	—	—
国際バカロレア入試	A	A	A	B	A	—	—
科学オリンピック入試	—	—	B	B	B	—	—
外国人留学生入試	A	A	B	B	B	—	—
社会人入試	A※2	A※2	A※2	A※2	A※2	—	—

※1.所定の数学(商業含む)4科目履修の現役・既卒1年目はB、それ以外はA ※2.GTECは除く

基準	試験の種類 TOEFL-PBT (TOEFL-iBT)	TOEIC (L&R)	GTEC for STUDENTS	英検	IELTS (アカデミック・モジュール各パート)
A	500 (61)	600	700	準1級	5.0 (4.5)
B	460 (48)	500	600	2級	4.5 (4.0)
C	417 (35)	400	500	準2級	4.0 (3.5)



科学オリンピック入試の対象となるコンテスト一覧

□詳細は各コンテストのWebサイトを確認してください

●全国物理コンテスト URL: <http://www.jpoh.jp>

物理の面白さと楽しさを体験してもらうことを目的とする全国規模のコンテスト。
第1チャレンジでは、「理論問題コンテスト」と「実験課題レポート」が出題され、SSからDDまでの9段階で評価される。
上位約100名が第2チャレンジに進むことができる。

●化学グランプリ URL: <http://gp.csj.jp>

日本全国の高校生以下の者を対象として、化学の実力を競い合う場として1999年より毎年開催。
一次選考・二次選考があり、上位約80名程度が二次選考に進むことができる。

●日本生物学オリンピック URL: <http://www.jbo-info.jp>

生物学の面白さや楽しさを体験してもらうことを目的とする全国規模のコンテスト。
予選・本選・代表選抜試験があり、予選では高校レベルの知識や応用力を試す問題が中心に出題され、約80名が本選に進むことができる。

●日本数学オリンピック URL: <http://www.imojp.org>

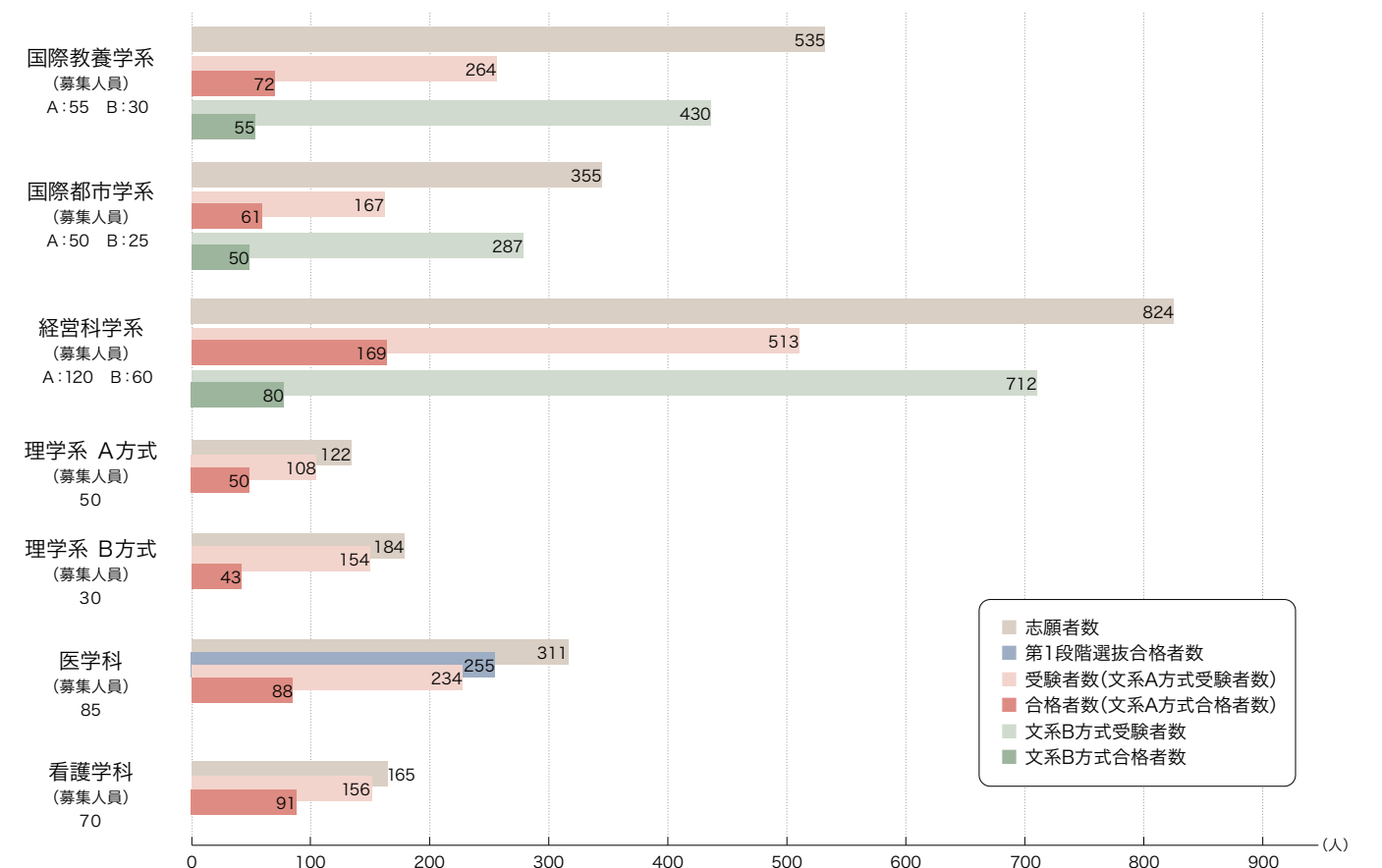
数学オリンピックは、全ての国の数学的才能に恵まれた若者を見出し、その才能を伸ばす手助けをし、また、世界の若者たちが国際交流を深め、情報交換を行うことを目的としている。
日本数学オリンピックは、日本代表を選考するために実施され、予選とそれに続く本選があり、予選は成績順に約200名をAランク(予選合格)者、Aランク者を含めて上位50%までをBランク者、それ以下をCランク者と定めている。

2017年度 一般選抜 入試結果〔入試実施実況〕

上段(女子)、下段(現役)は内数

学部	学系・学科	募集人員	志願者数	志願倍率	第1段階選抜合格者数	受験者数		合格者数 ※追加合格者数を含む		追加合格者数	入学者数
						上段	下段	上段	下段		
国際総合科学部	国際教養学系	A方式	55	535 (373) (468)	6.3	—	264 (192) (235)	127	72 (50) (67)	0	91 (64) (82)
		B方式	30				430 (305) (381)		55 (41) (48)		
	国際都市学系	A方式	50	355 (218) (311)	4.7	—	167 (111) (148)	111	61 (39) (57)	0	92 (60) (82)
		B方式	25				287 (179) (251)		50 (32) (43)		
	経営科学系	A方式	120	824 (370) (672)	4.6	—	513 (239) (426)	249	169 (95) (142)	0	200 (105) (169)
		B方式	60				712 (321) (591)		80 (31) (70)		
	理学系	A方式	50	122 (55) (80)	2.4	—	108 (47) (74)	—	50 (21) (33)	0	43 (19) (30)
		B方式	30	184 (80) (127)	6.1	—	154 (67) (108)		43 (14) (23)		0
	計		420	2,020 (1,096) (1,658)	4.8	—	1,691 (919) (1,405)	—	580 (323) (483)	0	466 (262) (386)
	医学部	医学科	85	311 (121) (165)	3.7	255	234 (95) (123)	—	88 (30) (50)	2	85 (28) (48)
		看護学科	70	165 (153) (130)	2.4	—	156 (147) (124)	—	91 (86) (71)	2	76 (73) (60)
		計	155	476 (274) (295)	3.1	255	390 (242) (247)	—	179 (116) (121)	4	161 (101) (108)
合計		575	2,496 (1,370) (1,953)	4.3	255	2,081 (1,161) (1,652)	—	759 (439) (604)	4	627 (363) (494)	

※参考> 文系学系においてA・B方式とも合格基準に達した者の人数は、国際教養学系25人、国際都市学系22人、経営科学系44人



入試情報

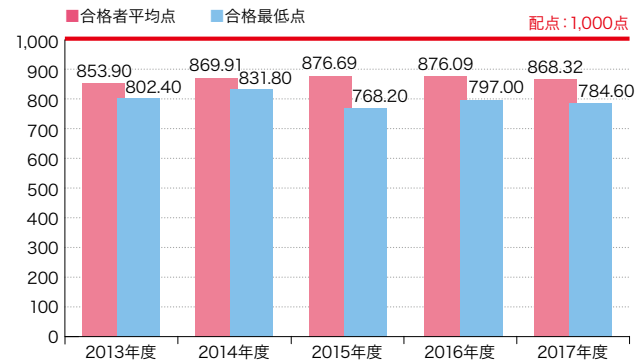
2017年度 一般選抜 入試結果〔得点集計〕

【医学部 医学科】第1段階選抜 合格最低点・合格者平均点

年度	志願者数	合格者数	センター試験得点(得点率)		配点
			合格最低点	合格者平均点	
2017年度	311	255	784.60 (78.5%)	868.32 (86.8%)	1,000

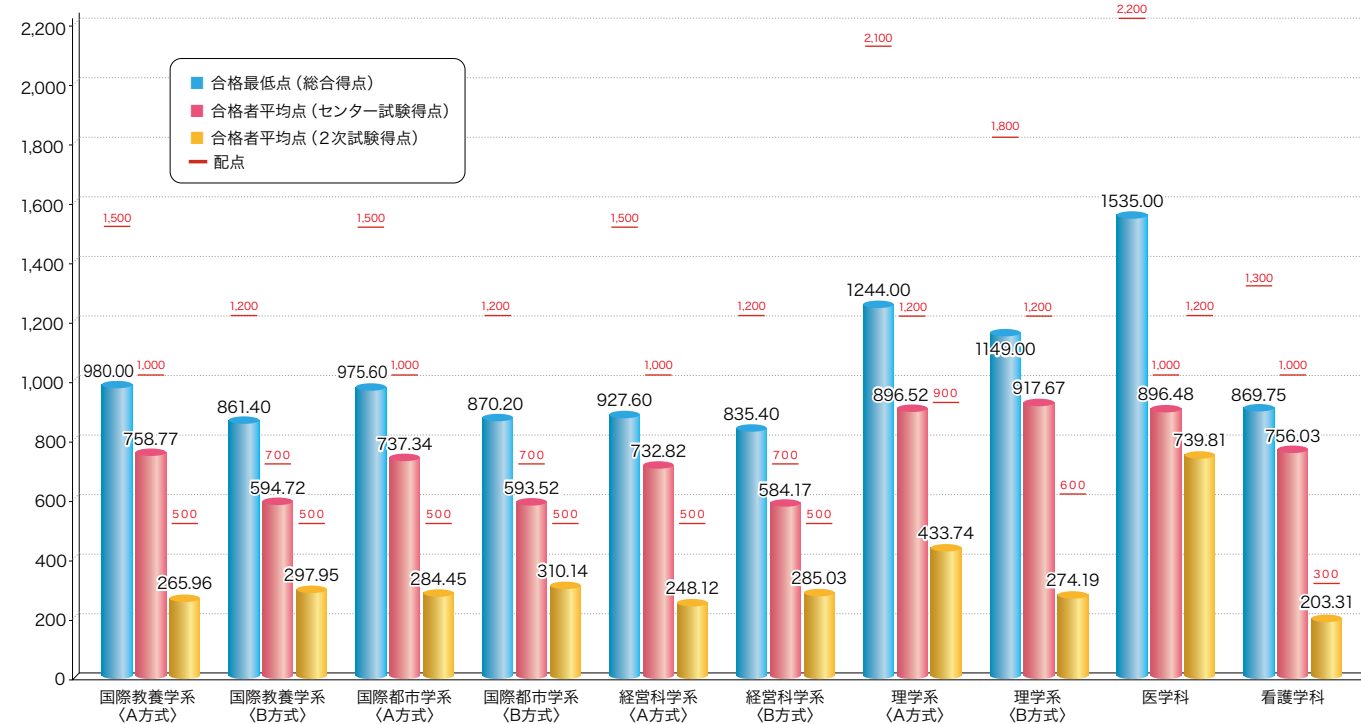
【参考】

2016年度	336	255	797.00 (79.7%)	876.09 (87.6%)	1,000
2015年度	324	270	768.20 (76.8%)	876.69 (87.7%)	1,000
2014年度	377	270	831.80 (83.2%)	869.91 (87.0%)	1,000
2013年度	419	297	802.40 (80.2%)	853.90 (85.4%)	1,000

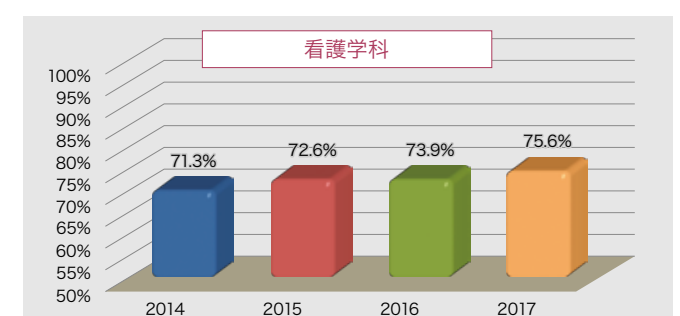
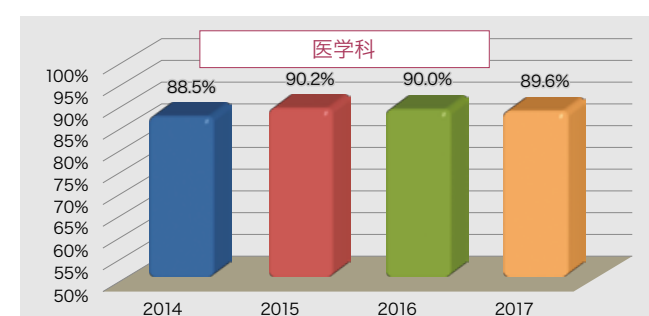
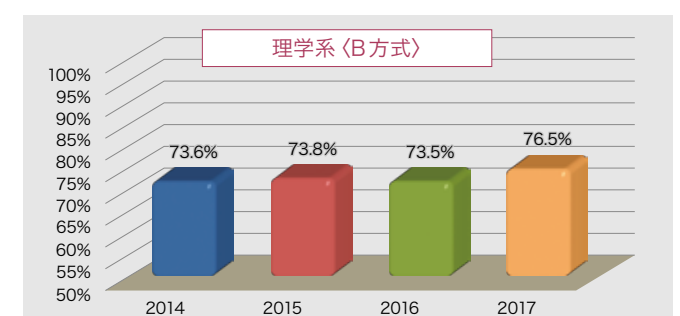
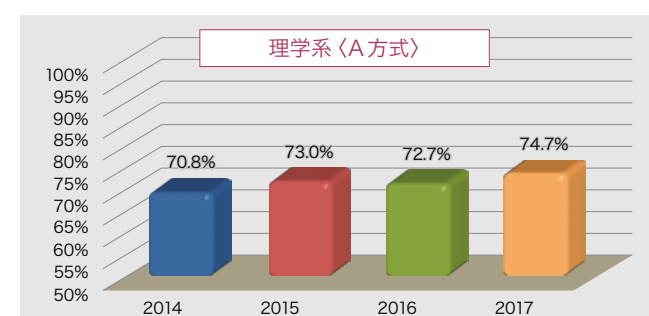
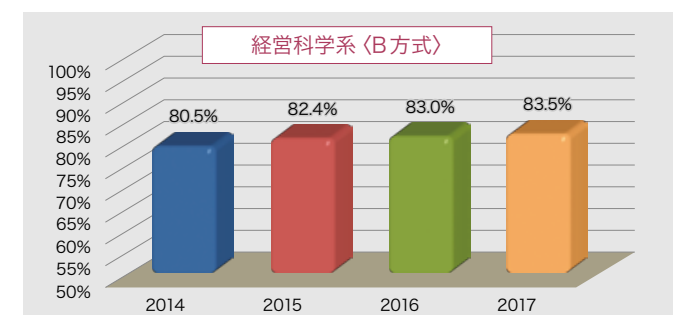
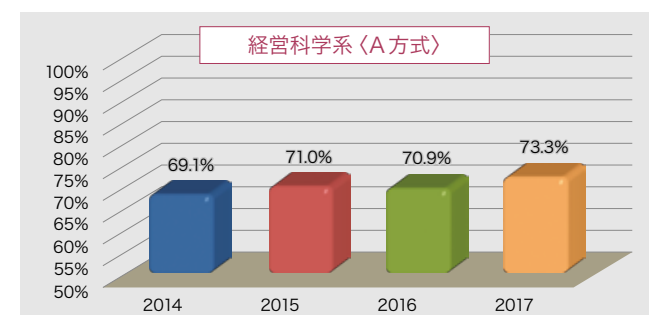
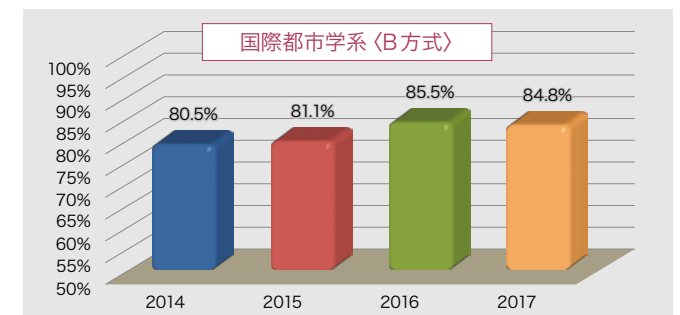
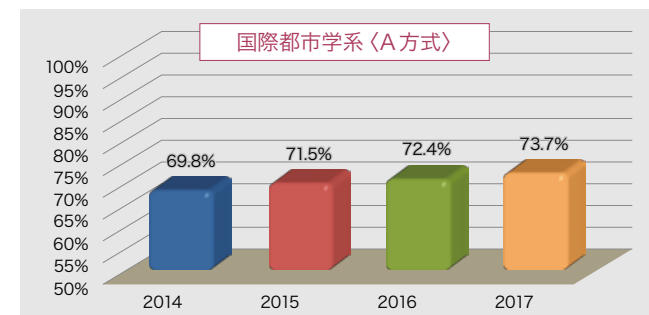
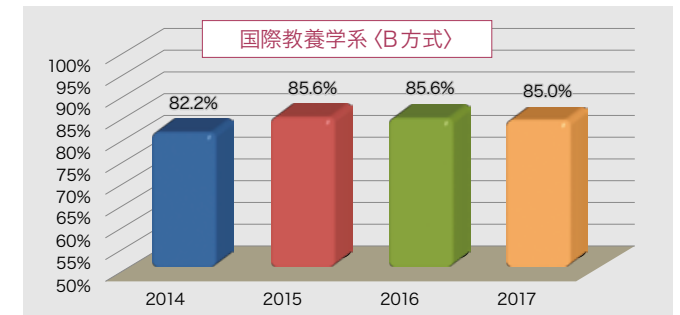
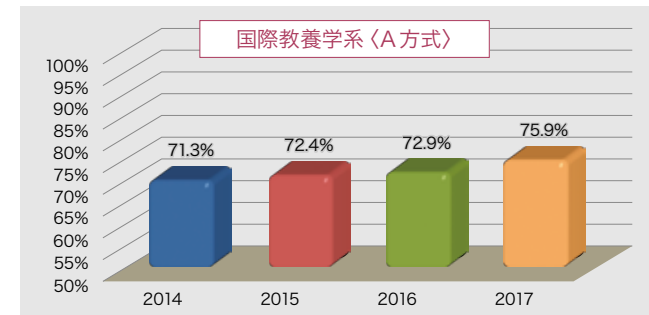


合格最低点・合格者平均点

学部	学系・学科	合格最低点		合格者平均点				
		総合		センター試験		2次試験		
		得点(得点率)	配点	得点(得点率)	配点	得点(得点率)	配点	
国際総合科学部	国際教養学系	A方式	980.00 (65.3%)	1,500	758.77 (75.9%)	1,000	265.96 (53.2%)	500
		B方式	861.40 (71.8%)	1,200	594.72 (85.0%)	700	297.95 (59.6%)	500
	国際都市学系	A方式	975.60 (65.0%)	1,500	737.34 (73.7%)	1,000	284.45 (56.9%)	500
		B方式	870.20 (72.5%)	1,200	593.52 (84.8%)	700	310.14 (62.0%)	500
	経営科学系	A方式	927.60 (61.8%)	1,500	732.82 (73.3%)	1,000	248.12 (49.6%)	500
		B方式	835.40 (69.6%)	1,200	584.17 (83.5%)	700	285.03 (57.0%)	500
	理学系	A方式	1244.00 (59.2%)	2,100	896.52 (74.7%)	1,200	433.74 (48.2%)	900
		B方式	1149.00 (63.8%)	1,800	917.67 (76.5%)	1,200	274.19 (45.7%)	600
医学部	医学科	1535.00 (69.8%)	2,200	896.48 (89.6%)	1,000	739.81 (61.7%)	1,200	
	看護学科	896.75 (69.0%)	1,300	756.03 (75.6%)	1,000	203.31 (67.8%)	300	



大学入試センター試験 合格者平均得点率推移



入試情報

2017年度 特別選抜 入試結果

(女子)は内数

特別推薦

学部	学科	募集人員	志願者数	志願倍率	第1次選考合格者数	受験者数	第2次選考合格者数	最終合格者数	入学者数
医学部	医学科	5	21 (11)	4.2	16 (8)	16 (8)	16 (8)	5 (3)	5 (3)
	合計	5	21 (11)	4.2	16 (8)	16 (8)	16 (8)	5 (3)	5 (3)

(女子)〈現役〉は内数

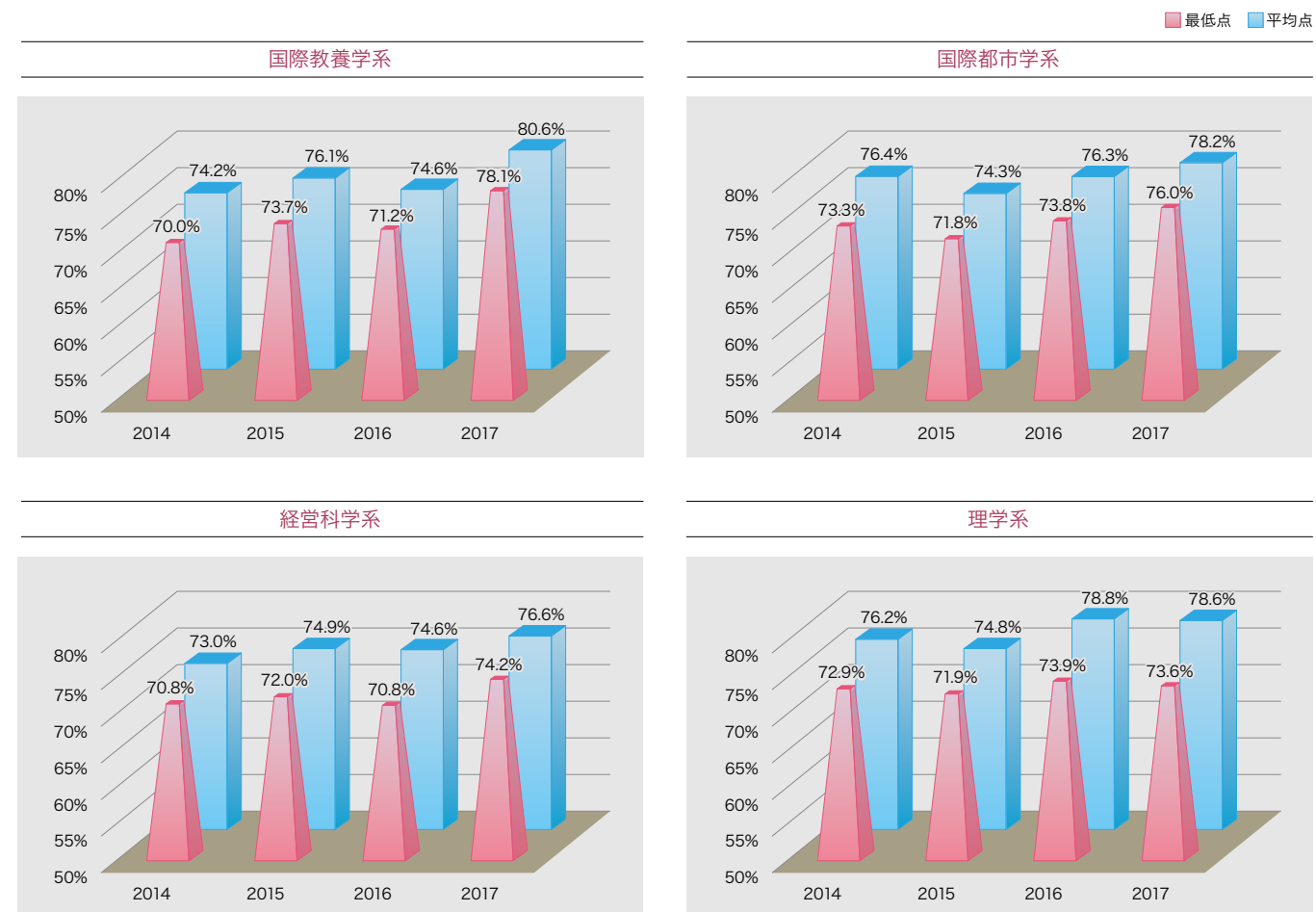
公募推薦

学部	学系	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
国際総合科学部	国際教養学系	10	104 (83) (100)	10.4	104 (83) (100)	12 (8) (11)	12 (8) (11)
	国際都市学系	10	65 (50) (63)	6.5	65 (50) (63)	14 (9) (14)	14 (9) (14)
	経営科学系	15	104 (51) (92)	6.9	104 (51) (92)	30 (9) (23)	30 (9) (23)
	理学系	15	56 (35) (44)	3.7	56 (35) (44)	17 (11) (13)	17 (11) (13)
	合計	50	329 (219) (299)	6.6	329 (219) (299)	73 (37) (61)	73 (37) (61)

■ 合格者平均点・最低点

学系	募集人員	合格者数	センター試験得点 (得点率)		
			センター試験	合格者平均点	合格最低点
国際教養学系	10	12	1,000	806.15 (80.6%)	780.60 (78.1%)
国際都市学系	10	14	1,000	781.87 (78.2%)	760.20 (76.0%)
経営科学系	15	30	1,000	766.41 (76.6%)	742.20 (74.2%)
理学系	15	17	1,000	785.75 (78.6%)	736.20 (73.6%)

公募推薦合格者平均点・最低点推移 (得点率)



(女子)は内数

指定校推薦

学部	学系・学科	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
国際総合科学部	国際教養学系	30	34 (29)	1.1	34 (29)	34 (29)	34 (29)
	国際都市学系	25	34 (30)	1.4	34 (30)	34 (30)	34 (30)
	経営科学系	50	46 (33)	0.9	46 (33)	46 (33)	46 (33)
	理学系	40	50 (29)	1.3	50 (29)	50 (29)	50 (29)
合計	145	164 (121)	1.1	164 (121)	164 (121)	164 (121)	
医学部	看護学科	30	25 (25)	0.8	25 (25)	25 (25)	25 (25)
	合計	30	25 (25)	0.8	25 (25)	25 (25)	25 (25)
合計	175	189 (146)	1.1	189 (146)	189 (146)	189 (146)	

(女子)〈現役〉は内数

AO

学部	学系	募集人員	志願者数	志願倍率	第1次選考合格者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際総合科学部	国際教養学系	15	86 (71) (77)	5.7	33	31 (29) (29)	16 (15) (15)	16 (15) (15)
	国際都市学系	10	71 (56) (64)	7.1	24	23 (18) (22)	10 (6) (9)	10 (6) (9)
	経営科学系	5	13 (7) (11)	2.6	10	9 (6) (8)	5 (4) (4)	5 (4) (4)
	理学系	5	17 (11) (15)	3.4	11	10 (7) (9)	5 (4) (5)	5 (4) (5)
	合計	35	187 (145) (167)	5.3	78	73 (60) (68)	36 (29) (33)	36 (29) (33)

(女子)は内数

海外帰国生

学部	学系	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際総合科学部	国際教養学系	若干名	25 (16)	20 (13)	7 (7)	5 (5)
	国際都市学系	若干名	24 (11)	13 (5)	5 (3)	1 (1)
	経営科学系	若干名	22 (4)	14 (2)	9 (1)	4 (0)
	理学系	若干名	14 (10)	10 (8)	3 (3)	1 (1)
	合計	若干名	85 (41)	57 (28)	24 (14)	11 (7)

(女子)は内数

国際バカロレア

学部	学系	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際総合科学部	国際教養学系	若干名	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)
	国際都市学系	若干名	3 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
	経営科学系	若干名	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
	理学系	若干名	4 (3)	4 (3)	3 (3)	1 (1)
	合計	若干名	10 (6)	8 (6)	5 (4)	1 (1)

(女子)〈現役〉は内数

科学オリンピック

学部	学系	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際総合科学部	経営科学系	若干名	0 (0) (0)	0 (0) (0)	0 (0) (0)	0 (0) (0)
	理学系	若干名	6 (3) (6)	6 (3) (6)	5 (2) (5)	4 (2) (4)
	合計	若干名	6 (3) (6)	6 (3) (6)	5 (2) (5)	4 (2) (4)

(女子)は内数

外国人留学生

学部	学系	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際総合科学部	国際教養学系	若干名	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	国際都市学系	若干名	2 (2)	2 (2)	1 (1)	0 (0)
	経営科学系	若干名	3 (3)	3 (3)	1 (1)	0 (0)
	理学系	若干名	4 (1)	3 (1)	2 (0)	0 (0)
	合計	若干名	10 (7)	9 (7)	5 (3)	1 (1)

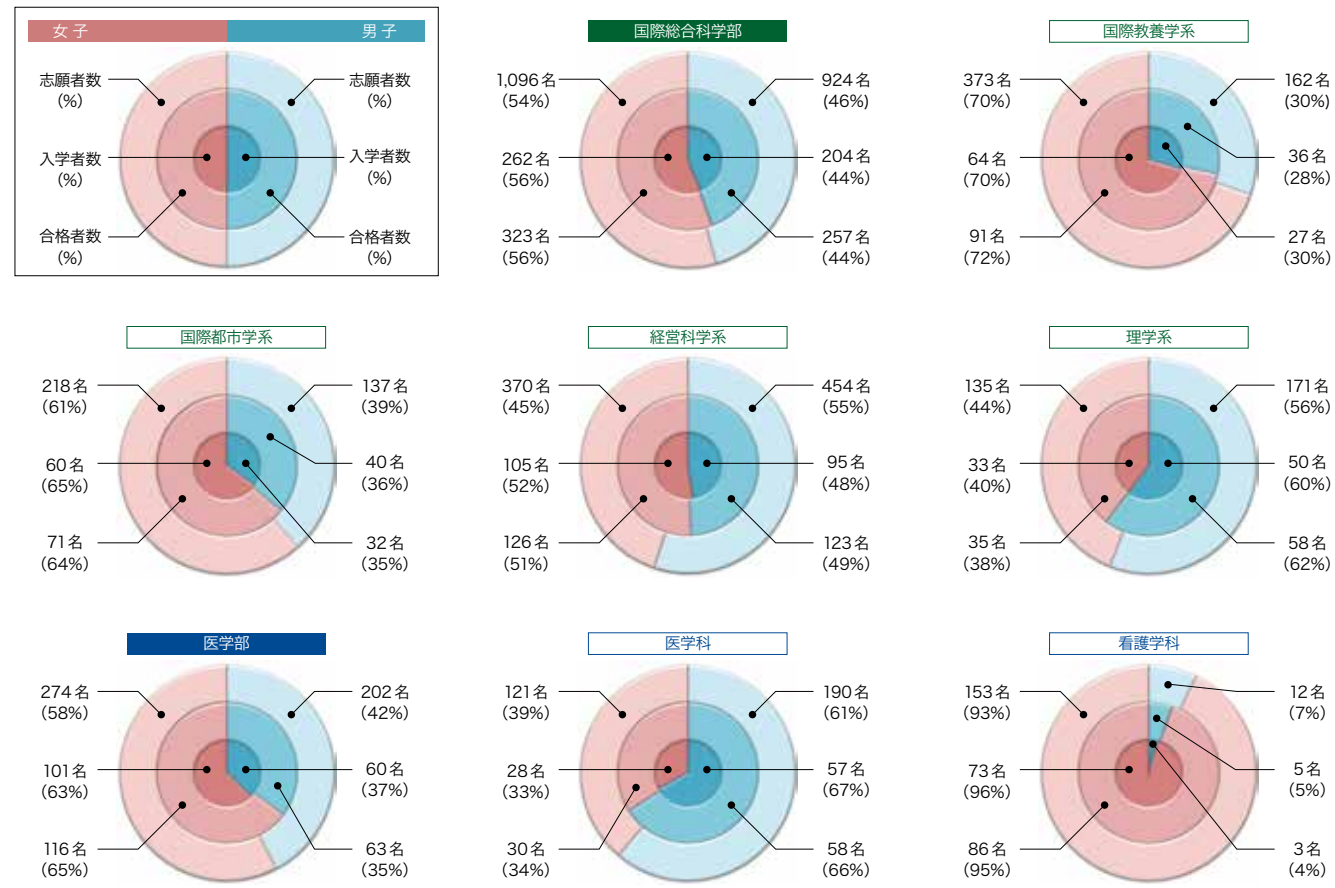
(女子)は内数

社会人

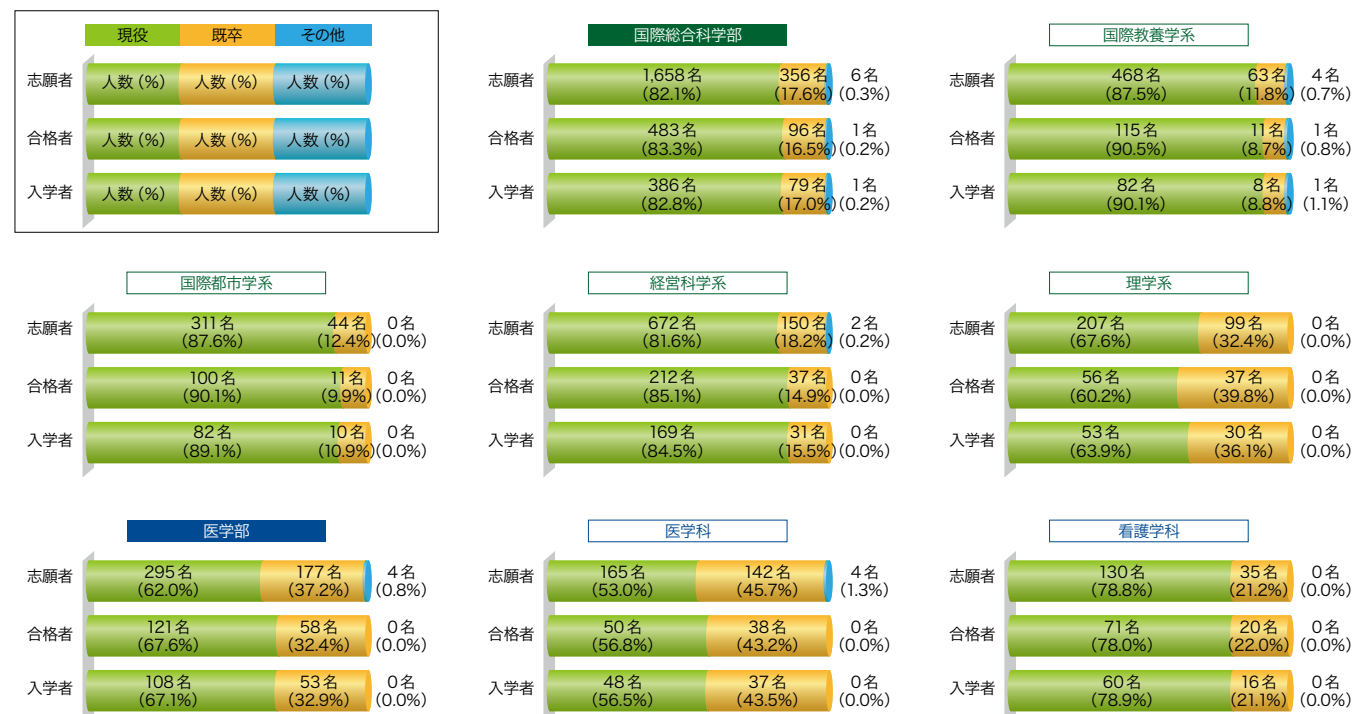
学部	学系	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際総合科学部	国際教養学系	若干名	3 (1)	3 (1)	2 (0)	1 (0)
	国際都市学系	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	経営科学系	若干名	2 (1)	2 (1)	1 (0)	1 (0)
	理学系	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	若干名	5 (2)	5 (2)	3 (0)	2 (0)

入試情報

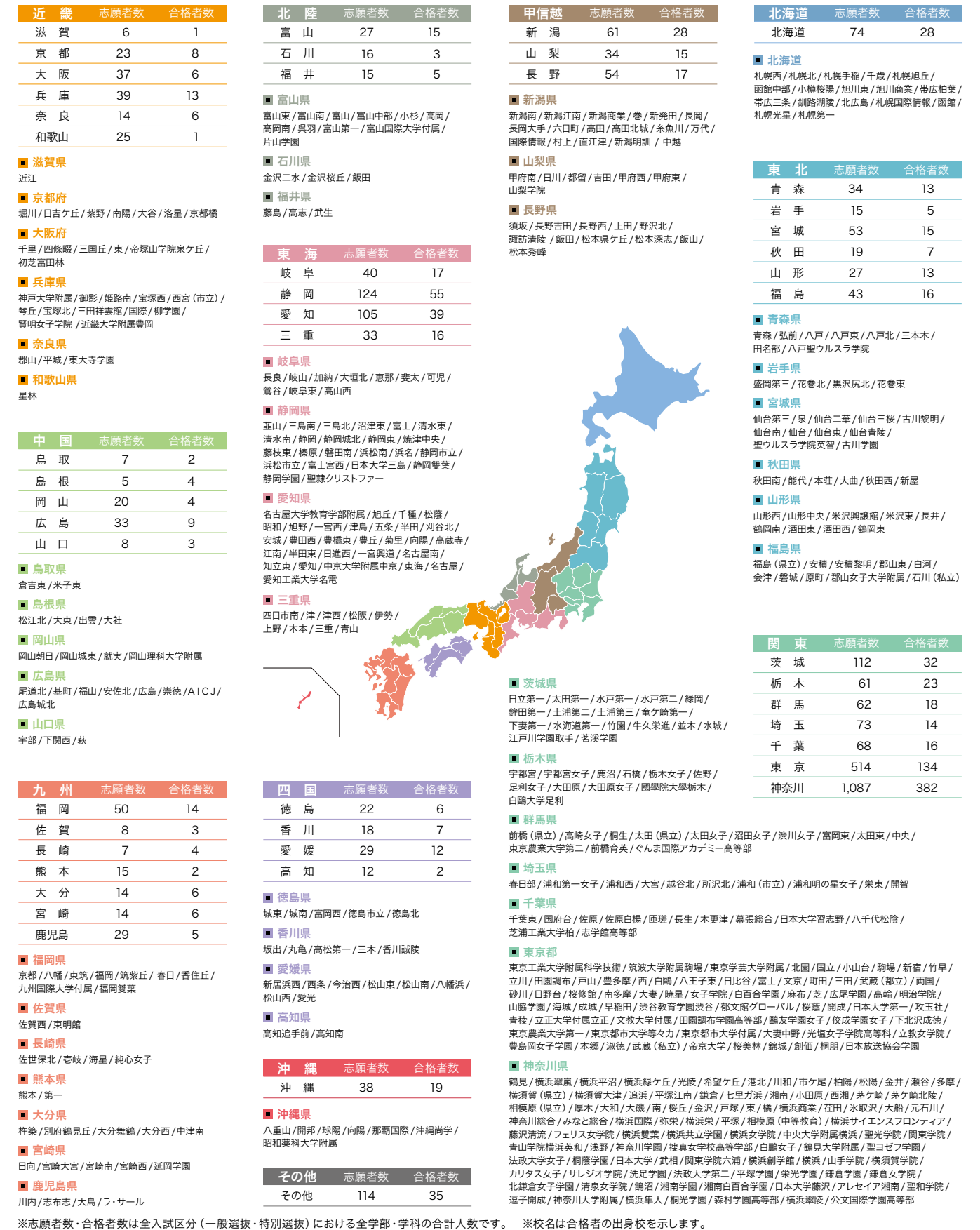
2017年度 一般選抜 入試結果〔男女別集計〕



2017年度 一般選抜 入試結果〔現役・既卒別集計〕



2017年度入試結果〔都道府県別集計〕



教育の特徴
グローバル教育
国際総合科学部
データサイエンス学部
医学部
大学院/研究施設
キャリアサポート/学生支援
キャンパスライフ
入試情報/学費/奨学金

学費・奨学金

学費等

◆は毎年納入となります。(2017年度実績/単位:円)

学部・学科	国際総合科学部		医学部医学科		医学部看護学科		データサイエンス学部 (2018年4月開設予定)※1		
	市内※2	市外	市内※2	市外	市内※2	市外	市内※2	市外	
項目									
学費	入学金	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000
	施設設備費(初年度のみ)	25,000	50,000	150,000	200,000	25,000	50,000	25,000	50,000
	授業料※3◆	557,400		573,000		557,400		557,400	
	実験実習費(2年次以降)※3◆	16,700 (理学系のコースのみ)		35,000		16,700		16,700	
諸会費	学術研究会会費	1,000		1,000		1,000		1,000	
	後援会会費	50,000		50,000		50,000		50,000	
	進交会(同窓会)入会費	5,000		5,000		5,000		5,000	
	自治会入会費	3,000		3,000		3,000		3,000	
	自治会会費	12,000		18,000		12,000		12,000	
保険料※6	学生教育研究災害傷害保険 保険料※4	3,300(4年間)		4,800(6年間)		—		3,300(4年間)	
	学生教育研究災害傷害保険 付帯学生生活総合保険 保険料※5	補償内容により 36,790~80,310(4年間)		57,208~(6年間) [一人暮らし学生用] 49,020~(6年間) [自宅学生用]		—		補償内容により 36,790~80,310(4年間)	
	日本看護学校協議会共済会 保険料	—		—		7,000(1年間)		—	
	生活協同組合出資金※7	30,000		30,000		30,000		30,000	
初年度納付金合計※8	794,400	960,400	941,000	1,132,000	794,400	960,400	794,400	960,400	
入学時納付金合計※9	237,000	403,000	368,000	559,000	237,000	403,000	237,000	403,000	

- ※1.2018年4月開設予定のデータサイエンス学部の学費等については予定額です。
- ※2.入学区分の「市内」とは、入学の日の1年以上前(2017年4月1日)から引き続き本人またはその扶養義務者が横浜市内に住居を有する住所に該当します。
- ※3.本学入学後に授業料・実験実習費が改定された場合は、改定後の授業料・実験実習費が適用されます。なお、授業料は分納(5月・10月)です。
- ※4.被保険者が正課、学校行事、学内での課外活動、届出をした学外での課外活動中に傷害を受けた場合に対象となります。
- 任意加入ですが、授業等で実習を行う場合、受入先から加入を求められる場合があります。
- ※5.学校の内外を問わず、学生自身のケガのほか、他人に対する賠償事故や臨床実習中における事故などを補償します。
- ※6.保険料は入学後のお支払いとなります。
- ※7.生活協同組合に加入する際は、出資金が必要で(出資金は、卒業または退学時に返還されます)。
- ※8.「初年度納付金合計」は、保険料・生活協同組合出資金を除いた合計金額です。
- ※9.「入学時納付金合計」は、入学金・施設設備費・諸会費の合計金額です。

諸会費とは

YCUでは、入学者の皆さんに学生生活の充実、福利厚生への向上、教育・研究活動の援助を目的とした活動を行う各団体(学術研究会、後援会、進交会、自治会)への加入をお願いしています。加入すると、各団体が行っているさまざまな支援(課外活動、就職関係、資格取得関係、留学関係、研究関係など)を受けることができます。例えば、キャンパス内へのベンチの設置や学内のICT環境の整備などが後援会の助成により行われています。



奨学金・減免

教育の機会均等と優秀な人材の育成を図るため、以下の奨学金制度を取り扱っています(2017年度実績)。

● 日本学生支援機構奨学金 (貸与型/全学生の約30%が受給)

日本学生支援機構(旧日本育英会)が行う貸与型の奨学金です。申請方法は高等学校在学中の「予約採用」と、大学入学後の「在学定期採用」、家計が急変した場合の「緊急・応急採用」の3種類があります。

種別	貸与月額(いずれかを選択)(M:修士・博士前期、D:博士・博士後期)	
第一種(無利子)	学部	30,000円、45,000円(自宅生)、51,000円(自宅外生)
	大学院	M: 50,000円、88,000円、D: 80,000円、122,000円
第二種(有利子)	学部	30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円
	大学院	50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円

● 各種団体奨学金 (給付型・貸与型など/全学生の約2%が受給)

地方自治体や財団法人等各種団体が、学業・人物ともに優秀で経済支援が必要な方を対象に、給付または貸与する奨学金です。申請要件・募集時期は奨学金ごとに異なります。

● 授業料の減免

経済的理由により、授業料納付が著しく困難な方の年間授業料が減額・免除される制度です。家計基準や学業成績等を審査の上、経済的困窮度の高い方から順に全額・半額などの減免金額を決定します(年度審査)。突発的な経済的困窮時に授業料を免除する緊急応急対応型もあります。

● 災害見舞金

火災・地震・風水害により著しい被害を受けた学生に対しては、所定の審査の上、100,000円を限度(被害の程度により異なる)とした災害見舞金を給付します。申請期限は事由発生後60日以内です。

(参考) 奨学金手続フロー

時期(予定)	日本学生支援機構奨学金 (大学入学後に申し込む場合)	各種団体奨学金	
		給付型(推薦人数に限りがある)	貸与型 or 給付型(推薦人数の制限なし)
2月中旬以降		本学Webサイトで必要書類の通知確認 出願準備開始	
4月上旬	奨学金ガイダンスに参加	期日までに必要書類を大学窓口 (金沢八景キャンパスは学生担当)へ提出	掲示板、本学Webサイトの一覧表で 希望の団体が「募集中」か確認
4月中旬	書類等の準備	書類選考結果通知 学内面接 (書類選考通過者のみ) 学内推薦者結果通知	希望する奨学金の募集要項 ダウンロード (YCUポータルサイトまたは団体Webサイト) 期限までに必要書類を指定の提出先へ提出
4月下旬	指定期限内に応募書類を大学へ提出 インターネット上で申込み入力	各団体の応募書類受領・作成 大学窓口へ提出 (学内選考通過者のみ)	※4月以降随時募集されます
5月以降	選考期間		各団体で選考(書類・面接) 選考結果通知
6月以降	結果通知・採用手続		

奨励制度・学長賞

● 学業奨励 (選出制)

学修意欲向上および教育研究の活性化を図るため、前年度成績優秀な2年次以上の学部生を対象に、学業奨励金を給付する制度を設置しています。対象者は大学より通知されます。

名称	対象者	奨励金(/年)
伊藤雅俊奨学金制度	経営学コース・会計学コース 3名(各学年両コース合わせて1名)	500,000円
成績優秀者特待生制度	国際総合科学部(各コース) 36名(各学年1名)	300,000円
	医学部(医学科・看護学科) 16名(各学年2名)	

● 学長賞・学長奨励賞 (応募制)

学術、スポーツ、社会活動および文化活動などの分野において学生の範となる活躍をし、本学の名譽を高め、学内の士氣を高揚した者(個人・団体)に対して贈られる賞です。受賞者には後援会より副賞(2016年実績 ▶学長賞 50,000円 ▶学長奨励賞 20,000円)を授与しています。2016年は、応募総数25件に対し、厳正なる審査の結果、学長賞に個人2件、学長奨励賞に個人5件、団体2件が選出されました。

■ 授業・単位に関するQ&A

Q.1 カリキュラム内容の説明にてくる各種用語の意味を教えてください。

A

■ セメスター制

1年を2つのセメスター(学期)に分け、原則として学期毎に単位の認定を行います。また、セメスター毎に、週1コマ2単位科目と週3コマ3単位科目を併存させるなど、本学では柔軟な授業単位の採用しています。

■ クォーター科目

通常の授業期間(15週)の半分で授業を行う科目(国際総合科学部専門教養科目の一部)。通常の半期科目であれば、週1回の授業内容を週2回のペースで行います。

■ ゼミ

ゼミナール(演習)の略。おおむね5~20人程度の少人数で担当教員を囲んで、テーマを掘り下げながら勉強していく授業形態のこと。学生主体で研究発表とディスカッションを中心に進めていきます。

■ 単位

すべての科目には、学修量の目安となる「単位数」が決められています。週1コマ(1コマの授業時間は90分)の授業を1学期(前期または後期)行うと、原則として1単位または2単位が与えられます。なお、単位は授業時間外学修(自習)を組み合わせたことを前提に成り立っています。

■ カリキュラム

大学が用意したさまざまな授業科目の総称。ただし、それらの科目は高校時代のように、あらかじめ時間割が決まっているものではなく、学生自らが時間割を組みます。通常、学期始めに自分が学ぶべき科目を選択し、大学に申請・登録(履修登録)を行います。

■ TOEFL

英語を母国語としない人々の英語力を測る試験。おもに、米国・カナダの大学に留学を希望する外国人学生が、その大学での授業についていける英語力を有しているかを評価するために、実施されています。ちなみに留学するために必要なのはTOEFL iBT 79点以上といわれています。

■ 単位互換制度

単位互換とは、大学が相互に単位互換協定を締結し、これらの大学に所属する学生が、他の大学の授業科目を履修し、そこで取得した単位を所属する大学の単位として認める制度です。本学(学部)では市内11大学との間で、大学院では神奈川県内25大学の間で単位互換を行っています。

■ 単位認定制度

他大学で取得した単位を自大学の単位として認める制度です。本学(学部)では、30単位以内を基本に学則で定められた単位数を超えない範囲で認定されることがあります。

■ インターンシップ

学生が在学中に自らの学修内容や将来の進路などに関連した企業や団体などで就業体験を行うことです。

Q.2 国際総合科学部での2年進級時の学系変更には、定員はあるのですか?

A

設備や人員などの教育環境上の制約がありますので、学系には定員を設けています。各学系の志願者数が定員上限以内であれば、所定の科目を修得していることを条件に変更先の学系で受け入れます。志願者数が上限を上回った場合には、所定の科目の成績によって選抜します。(選抜により変更が認められない場合は、入試学系での進級になります。)

Q.3 学系およびコースの変更は認められますか?

A

2年次前期で学系・コース選択をした後も、一定の条件の下で他の学系・コースへの変更は可能です。

Q.4 教員免許状は取得できますか?

A

国際総合科学部・データサイエンス学部で、所定の科目を履修し、教育実習などを行うと英語・数学・理科の中学校教諭一種および高等学校教諭一種の免許状を取得できます。ただし、学科・学系ごとに取得できる免許状の教科が異なります。また、生命ナノシステム科学研究科と生命医科学研究科では、理科の第一種免許状を持っている方は、所定の科目を履修することで、理科の中学校教諭専修および高等学校教諭専修の免許状を取得することができます。

学系	取得可能な免許教科
国際教養学系	英語
国際都市学系	英語
経営科学系	英語(他の学系に比べ、卒業に必要な科目以外に多くの科目を履修する必要があります)
理学系	理科、数学(数学の免許状は、理学系物質科学コースで取得可能です)※

※数学の免許状が取得できるのは、データサイエンス学部のみとなる可能性があります。

Q.5 医学部看護学科では、保健師の受験資格を得ることはできますか?

A

一定の条件の元で可能です。看護学科では、保健師国家試験受験資格は選択制となっており、学年の概ね3割を上限としています。保健師国家試験受験資格を希望する人は、大学卒業に必要な所定の単位に加えて、保健師教育課程の所定の単位を履修する必要があります。なお、定員を超える希望者があった場合は選抜となります。

Q.6 教科書などのテキスト代はどのくらいかかりますか?

A

学年や学部によって異なりますが、目安として1年次前期に購入が必要なテキストは以下のとおりです。

教科書・テキスト等	金額
プラクティカル・イングリッシュ	約15,000円
教養ゼミ指定	約10,000円~30,000円
参考書	約1,000円~20,000円
推薦図書	約10,000円
合計金額	約36,000円~75,000円

Q.7 大学を卒業するために必要なことは何ですか?

A

大学に定められた期間(原則として4年間、医学科は6年間)在学し、必要な授業科目を履修することが必要です。卒業に必要な授業科目の履修については、各学科で定められています。各授業科目には、内容に応じて単位数が設定されており、卒業に必要な科目を履修し、単位を修得していきます。

学部・学系	単位数
国際総合科学部	124単位
データサイエンス学部	124単位
医学部医学科	201単位
医学部看護学科	124単位

■ 入試・その他に関するQ&A

Q.1 合格に必要なセンター試験の得点率の目安はどのくらいですか?

A

年度により異なりますが、2017年度公募推薦入試および一般選抜の合格最低点・合格者平均点を掲載していますのでそちらを参考にしてください。

P.110~113

Q.2 2次試験の会場はどこですか? また、試験会場の下見はできますか?

A

本学の2次試験は、すべて金沢八景キャンパスで行います。試験会場の確認については、各試験日前日の13時以降に学内の掲示板で試験室の位置を確認することができます。ただし、試験を実施する建物への立ち入りはできません。



Q.3 キャンパス見学はできますか?

A

金沢八景キャンパスは自由に見学することができます。ただし、校舎内への立ち入りや、授業の見学は原則としてご遠慮いただいています。複数名での見学を希望される場合や、個別のご相談を希望される場合は、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。なお、福浦キャンパス(医学部)は、構内の見学はご遠慮いただいています。福浦キャンパス内の見学を希望される場合は、夏のオープンキャンパス、秋の大学祭などの一般公開イベントにお越しください。

P.121



Q.4 入学手続きの際に、授業料の納入は必要ですか?

A

いいえ。授業料の納入は、入学後(5月と10月)になります。入学手続きの際に納入が必要なのは、入学金・施設設備費・諸会費です。

P.116

Q.5 入学手続き時納付金の返還制度はありますか?

A

入学手続き後、やむを得ない事情により入学できなくなった場合、所定の期日までに入学辞退の申し出を行えば、入学金以外の既納付金を返還します。

Q.6 横浜市内在住者に対する受験の際の特別措置等がありますか?

A

出願から合否判定まで、受験生の住所・居住地による特別措置等はありません。ただし、横浜市内在住者については、入学金および施設設備費の金額が割引になります。

Q.7 身体に障害がありますが、入試の際に自動車での入構や車椅子での受験など、障害等の状況に応じた配慮をうけることができますか?

A

入学後の対応を含めて、出願前の事前相談を承ります。障害者手帳や診断書、大学入試センター試験の配慮事項決定通知(出願している場合)などをもとに、本学での対応可能な配慮事項を検討して回答いたします。

Q.8 受験の際に宿泊施設は紹介してもらえますか?

A

横浜市立大学生協同組合(生協)で、受験生のための宿泊先を紹介しています。受験宿泊に最適な大学近くの提携ホテルにあらかじめ部屋を予約していますので、安心して入試に専念できます。通常料金よりも安く、受験日2週間前まで申し込みを受け付けます。ただし、例年1月初旬頃から満室になることもありますので、早めに生協Webサイトをご覧ください。メール・郵便・FAXでお申し込みください。

横浜市立大学生協 Webサイト <http://www.univcoop.jp/ycu/>




Q.9 在学生の保護者を対象とした学生生活の説明会や相談会がありますか?

A

本学では毎年、在学生の保護者を対象に「保護者説明会」を開催しています。金沢八景・福浦の各キャンパスでの開催に加え、地方でも順次開催しています。本学の取り組みや学生生活、留学、また就職支援などについてご理解いただく機会としています。個別のご相談もお受けしていますので、ぜひご参加ください。

学生募集要項等の請求方法

■ テレメールで請求する

願書・資料の請求方法  インターネットか自動音声応答電話でご請求ください。

1 テレメールにアクセスしてください

パソコン・スマホ・ケータイなら  <http://telemail.jp>

自動音声応答電話なら  IP電話 **050-8601-0101** 24時間受付

※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。
※住所・氏名等の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声がお届けできないことがあります。

ご希望の資料の資料請求番号を入力してください

上記のバーコードからアクセスした場合、資料請求番号の入力は不要

2

資料名	資料請求番号	料金(送料含)	発送開始予定
入学者選抜要項	582620	180円	6月下旬
AO入試学生募集要項	582610	180円	7月下旬
一般選抜第2次試験問題・解説集	562580	180円	7月下旬
一般選抜/公募推薦学生募集要項(国際総合科学部)	562280	215円	11月上旬
一般選抜学生募集要項(データサイエンス学部)	623600	215円	11月上旬
一般選抜学生募集要項(医学部 医学科)	582280	180円	11月上旬
一般選抜学生募集要項(医学部 看護学科)	582480	140円	11月上旬

※料金はお届けする資料に同封の支払方法に従い、資料到着後1週間以内に表示料金をお支払いください。
支払い方法は「ゆうちょ銀行 郵便局での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い(携帯電話通話料金と一緒のお支払い)」「クレジットカード払い」がご利用になれます。
なお、支払いに際して手数料が別途必要になります(ケータイ払い、クレジットカード払いは50円。コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円)。
料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

3 ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください

※テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。
※資料請求終了および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。


4 資料は1~2日で届きます

※発送開始日より前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
※予約受付の資料を除き、おおむね1~2日で資料が届きます。ただし受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。また発送開始日が変更になる可能性もあります。
なお、5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問合せ・お申し出先 **テレメールカスタマーセンター** IP電話 **050-8601-0102**
(受付時間 9:30~18:00) ※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

■ 「モバっちょ」で請求する

スマホ・ケータイ・パソコンから請求できます。
下記URLにアクセスするか、スマホ・ケータイで右のバーコードを読み取ってください。

資料請求サイト  <http://djcm-b.jp/yokohama-cu2/>

◇入学者選抜要項・各種学生募集要項：各200円
(料金の支払い方法)

請求時払い 携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。(支払手数料は別途50円必要です。)
※携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払えない場合があります。その場合は、コンビニ後払いを選択してください。

後払い 資料到着後、コンビニでお支払いください。(支払手数料は別途126円必要です。)

「モバっちょ」での請求方法についてのお問合せ先 **大学情報センター株式会社** モバっちょカスタマーセンター ☎ **050-3540-5005** (平日10:00~18:00)

「モバっちょ」

■ 直接受け取る

金沢八景キャンパス正門守衛所にて、募集要項等各種案内書を24時間受け取ることができます。
※配布開始日はテレメールの発送開始に準じます。

知る見る学ぶYCU

YCUでは、受験生はもちろん、高校1・2年生、保護者の皆様に向けたさまざまな情報発信を行っています。
オープンキャンパスや大学祭、全国で開催される進学相談会で皆様のご参加をお待ちしています。

■ オープンキャンパス ※事前のご予約をお願いしています。予約方法および最終のプログラムにつきましてはWebサイトにてご確認ください。

夏のオープンキャンパス

8/8(火) 国際総合科学部(理系)・データサイエンス学部
▶ 金沢八景キャンパス
●学部・学系説明会 ●入試説明会 ●AO入試説明会 ●研究室見学 ●模擬授業 ●入試相談コーナー ●キャンパスツアー ●学生による相談コーナー など

8/9(水) 国際総合科学部(文系)・データサイエンス学部
▶ 金沢八景キャンパス
●学部・学系説明会 ●入試説明会 ●AO入試説明会 ●模擬授業 ●入試相談コーナー ●キャンパスツアー ●学生による相談コーナー など

8/19(土) 医学部 医学科
▶ 福浦キャンパス
●学科説明会 ●入試説明会 など

8/26(土) 医学部 看護学科
▶ 福浦キャンパス
●学科説明会 ●入試説明会 ●模擬授業 ●専門領域の展示コーナー ●キャンパスツアー ●学生による相談コーナー など

進学説明会

6/25(日) 夏の進学説明会
▶ 金沢八景キャンパス

9/30(土) 秋の進学説明会
▶ 金沢八景キャンパス

■ 大学祭 2つの大学祭で《YCU》の雰囲気を楽しんでください

浜大祭 **11/3(金)~5(日)**
▶ 金沢八景キャンパス

Yokohama Medical Festival **11/11(土)~12(日)**
▶ 福浦キャンパス

■ 進学相談会

北海道	札幌*	8月 25日(金)	札幌パークホテル
	札幌*	11月 10日(金)	札幌パークホテル
青森県	八戸*	9月 4日(月)	八戸プラザアーバンホール
宮城県	仙台*	9月 7日(木)	仙台サンプラザホール
秋田県	秋田*	9月 1日(金)	アルヴェ
福島県	郡山*	9月 12日(火)	郡山ビューホテルアネックス
茨城県	水戸*	9月 26日(火)	水戸プラザホテル
栃木県	宇都宮*	9月 6日(水)	マロニエプラザ
群馬県	高崎*	9月 22日(金)	高崎アリーナ
埼玉県	大宮*	10月 2日(月)	大宮ソニックシティ
	大宮*	11月 13日(月)	大宮ソニックシティ
千葉県	津田沼*	7月 9日(日)	東京アカデミー津田沼校【看護学科対象】
	池袋	6月 18日(日)	サンシャインシティ
東京都	新宿	6月 18日(日)	新宿エルタワー【看護学科対象】
	御茶ノ水*	6月 25日(日)	御茶ノ水トライエッジカンファレンス【医学科対象】
	池袋*	7月 8日(土)	東京アカデミー池袋校【看護学科対象】
	池袋	7月 9日(日)	サンシャインシティ【留学生対象】
	有楽町	7月 16日(日)	東京国際フォーラム
	池袋	7月 17日(月)	サンシャインシティ
	丸の内	7月 17日(月)	JPタワーホテル【医学科対象】
	有明	7月 22日(土)	東京ビッグサイト
	有明	8月 23日(水)	東京ビッグサイト
	新宿*	9月 16日(土)	新宿エルタワー
神奈川県	新宿*	10月 12日(木)	新宿NSビル
	新宿*	11月 11日(土)	新宿NSビル
	横浜*	7月 1日(土)	東京アカデミー横浜校【看護学科対象】
	横浜	7月 10日(月)	パシフィコ横浜
	横浜	7月 15日(土)	横浜新都市ホール【理学系対象】
	横浜	7月 30日(日)	パシフィコ横浜
	横浜	9月 2日(土)	横浜新都市ホール
	横浜	10月 1日(日)	パシフィコ横浜
	横浜	10月 11日(水)	横浜新都市ホール
	横浜	11月 15日(水)	横浜新都市ホール
新潟県	新潟	7月 30日(日)	朱鷺メッセ
新潟県	新潟*	9月 13日(水)	朱鷺メッセ
	松本*	9月 5日(火)	ホテルブエナビスタ
長野県	長野*	9月 6日(水)	ホテルメトロポリタン長野
	長野*	12月 12日(火)	ホテルメトロポリタン長野
富山県	松本*	12月 13日(水)	ホテルブエナビスタ
	富山*	9月 19日(火)	ANAクラウンプラザホテル富山
石川県	金沢*	9月 20日(水)	金沢駅までなしドーム
福井県	福井*	9月 26日(火)	フェニックス・プラザ
	名古屋	7月 15日(土)	ポートメッセなごや
愛知県	名古屋	7月 16日(日)	名古屋国際会議場
	名古屋	7月 23日(日)	吹上ホール
	名古屋	8月 20日(日)	名古屋国際会議場
	名古屋*	9月 23日(土)	ウインクあいち
	京都府	京都*	9月 27日(水)
大阪府	大阪	7月 9日(日)	コングレコンベンションセンター
	大阪	7月 23日(日)	大阪国際会議場
岡山県	岡山	9月 3日(日)	岡山コンベンションセンター
	岡山	9月 23日(日)	岡山コンベンションセンター
広島県	広島	7月 9日(日)	NTTクレドホール
	広島	7月 17日(月)	TKPガーデンシティ広島
山口県	山口*	12月 12日(火)	山口市民会館
	徳島	9月 19日(火)	あわぎんホール
香川県	高松	9月 24日(日)	サンポート高松
愛媛県	松山*	9月 6日(水)	松山市総合コミュニティセンター体育館
高知県	高知	9月 22日(金)	ザ・クラウンパレス新阪急高知
	博多	7月 16日(日)	TKPカンファレンスシティ
福岡県	博多	9月 2日(土)	JR博多シティ会議室Aミュージアム9F
	長崎	9月 12日(火)	長崎新聞文化ホール
熊本県	熊本*	9月 14日(木)	ホテル日航熊本
大分県	大分*	9月 20日(水)	トキハ会館
宮崎県	宮崎*	9月 27日(水)	MRT micc
鹿児島県	鹿児島*	9月 13日(水)	ジェイドガーデンパレス
沖縄県	沖縄*	12月 7日(木)	NBC(日本ブライダルセンター)

※開催都市名に*がついている相談会は資料参加となります。
※日程・会場等は変更になる場合があります。また、この他の日程・会場が追加になる場合もあります。詳細は本学Webサイトにてご確認ください。

スマホ・ケータイで **YCUの各種情報をチェック!**

「がんばれ国公立大学受験生!!」サイトから、入試をはじめとする本学の情報を見ることができます。
メールマガジンの登録をすれば、本学からのお知らせが自動的に配信されます。
情報サイトの利用料もメールマガジンの登録料も無料(通信料は除く)です。ぜひご利用ください!

<http://ycu.jp/>